

12月27日(木)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月27日(木)06時56分33秒

今年も

数日でおしまい。

また、新しい年がやってくる。

新しい年が来ると、6巡目の誕生日が近くなる。

日記も今日でおしまい。

今年も有難うございました。

よいお年をお迎えください。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

12月26日(水)曇・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月26日(水)06時45分24秒

先日

巡礼の仲間のNさんに「太刀魚」をいただいた。
沼津で釣り船にに乗って釣ったそう。

近くの魚屋でも売っていた。やや高めだった。
あまり食べたことがない魚。レシピを見ると、
刺身・塩焼き・煮つけ・唐揚げ、と何でもOKのようだ。

塩焼きと煮つけで食べた。白身で淡泊な魚なので煮つけが
美味しかった。難を言えばやや骨っぽい。子供は注意ですね。
魚は大好きなので、Nさんには感謝・多謝です。
ご馳走様でした。





12月25日(火)晴・13度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月25日(火)05時23分13秒

先日の

伊豆ウオークで、三島・スカイウオークを下から仰いだ。
この位置から見る方は少ないだろう。

頭の上でワイワイガヤガヤ、皆さんが橋を渡っている。
まさか下から見られているとは思わないだろう。

北側のステーションまで歩いて到着。
出店とか多く賑やか。逆コースは特にチェックもないので

渡ろうと思えば渡れそうだった。
この日は、弩ピーカンで富士山は美しかったです。



12月24日(月)曇・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月24日(月)13時37分53秒

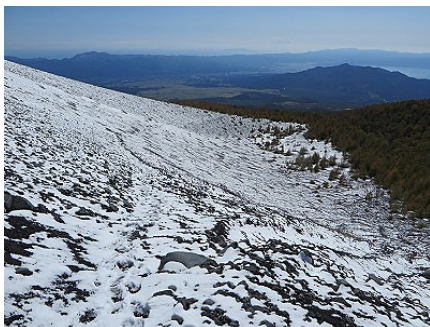
21日は

富士山宝永山・2352m峰でした。天気は無風快晴。
雪は前回より多かったです。入山は5名。登頂は3名でした。

いつもの幕岩から流れる沢の橋から出発。天気はサイコー。
上り易い沢をグングン上る。幕岩から雪が多くなる。御殿庭
下は東面の日陰で雪が多かった。

訓練で雪山初心者のGにラッセル体験をして貰う。御殿庭着。
風はない。11時10分、2352m着。前回よりイイ時間だった。
忘年会があるのですぐ下山。雪が多いので歩き易い。幕岩まで
1時間だった。

今日は、カメラが不調で写真が撮れず残念だった。





12月20日(木)晴・14度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月20日(木)10時16分16秒

昨日は

12月度・伊豆ウオーキングでした。
コースは、三嶋大社～田舎道～スカイウオーク下～スカイウオーク
～林道～R1。天気は晴れ・低温。参加は16名。

本来は伊豆方面だったが、気温が低い時期に大変な箱根越えを決めた。
下土狩駅から歩いて三嶋大社に集合。全員揃って出発。山田川を渡り
山田小学校方面に向かう。天気は良く、気温は低い。真っ白な富士山が
大きい。

三島市民農園から田舎道を上り、三島霊園着。更に田舎道を進む。
広大な畑で何やら収穫をしている。レタスの収穫だった。一つ
ひとつ、手作業の作業だからなかなかの作業。

更に田舎道を進み山田川上流を上る。前方上空にスカイウオークが見え
た。
橋を渡る人声が聞こえた。スカイウオークをこの位置から見た方は少ない
だろう。ウオーク北側のテラスで休憩。平日だが人は多い。数年で300
万人
を突破したそうだが人気がある。

橋から山間部を辿り山田川源流から三島・箱根の里林道に出る。時間は1

1時

30近いので、ここで終了し忘年会の「湯郷」に向かった。



12月17日(月)雨・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月17日(月)09時26分21秒

12日

は、12月度・伊豆八十八札所巡礼でした。コースは、稲取港～三十二番・善慶院～山越え～河津・小峯堂（横道）。天気は午前・小雨、午後曇り。参加は25名。午後から、結願祝いと忘年会。

9:30、11月最終の稲取港から出発。9時止む雨はまだ降っていた。10分程で三十二番・善慶院着。大住職が玄関の入り口でタバコをふかしていた。

息子さん夫婦が気持ち良く迎え入れてくれた本堂でお勤め。これが今年最後のお勤めだった。終了後、見高入谷から山を越えて河津に向かう。雨が止んで来た。途端に暑くなった。ドッグランの宿前で合羽を脱いだ。

峠を下り河津着。予定は、三十四番・三養院までだったが、午後から結願祝いと忘年会があるので終了。バスで今井浜の「舟戸の番屋」に向かった。番屋の露天風呂は素晴らしかった。





12月11日(火)曇・14度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月11日(火)06時40分39秒

つづき

悪天候もあって頂上の登山者は少なかった。
それでも当日は風がなく有難かった。山の風は
最悪である。

雪が少ないだけに下降は神経を使う。兎に角、アイゼンは
歩き難い。頂上から少し下り、真教寺尾根分岐に向かう。
僅かに足跡があった。

真教寺尾根は鎖場が延々と続く。厳しい壁が多い。
県界尾根と真教寺尾根はどちらが難しいか議論になるが、
私は後者が難しいと思う。

県界は確かに急で長い鎖場は少ない。こちらの良さは
直接頂上に上れること。真教寺は、露出度が多く高い。
この時期は、鎖が凍り手袋が滑り要注意。こまめに手袋の
氷を落として降りる。

岩に雪が乗っていてアイゼンを掛けるフット・ホールドが
分からなく苦勞する。鎖も雪に埋まるから、今後はますます
困難になる。緊張の1時間で鎖場が終わった。

とたんに空腹を感じた。12時35分だった。2015年は、
大体同じ場所で11時40分だったから、やっぱり1時間遅れ
だった。水分不足で胃が重かった。水分を多くしてお茶漬けを
強引に流し込む。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/581.pdf

雪は止み明るくなった。樹間に北岳が見えた。真っ白だった。牛首山を
上り返し長い長い下りで15時33分林道着。約4時間掛かった。昼食
時間・パーティーの力もあるが、下降は秋と同時間だった。

気温はまだ低く、相方の髪の毛はまだ凍っていた。若いアベックがいた。
女性はミニスカートの生足で、いかにも寒そうだった。温泉なしで帰る。

この時期、ハッで最も困難なコースを歩いてイイ訓練だった。最も訓練
のつもりだったが、殆ど、本番でした。





12月10日(月)晴・14度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月10日(月)06時25分57秒

昨日は

赤岳・県界尾根～赤岳～真教寺尾根でした。天気は雪。
標高差＝1239m。参加は2名。

林道終点発6：15。天気は曇りで上部はガスっている。
県界尾根取り付きの沢は荒れていた。ガラガラの崩壊地
を上る。もっと良いルートがあるか??

雪が降って来た。見る間に積もって行く。最初の鎖場下で

アイゼンを履きヤッケも付けた。このタイミングは非常に良かった。

新雪は柔らかく固まっているので、足場が分からなく非常に歩き難い。上部の鎖も埋まっていた掘り出す。11:12頂上着。約5H掛かった。前回2015年10月は、約4時間だった。やっぱり冬は何かと時間が掛かる。

頂上でアイゼンを履いていない若者がいた。新雪の下はガジガジの氷だからアイゼンを履かないのは考えられない。「アイゼンを履いた方がイイのでは??」と声を掛けた。多分、アイゼンを持っていなかったのではないかと。上りは出来ても、下降が問題である。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

12月6日(木)曇・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月6日(木)06時37分19秒

当HP

のブロバイダーのヤフージオティーズが突然、業務停止を発表したのが約1ヶ月前。終了は来年の3月末。

その後もHPを続けるなら、その間に新しいブロバイダーを選び、全ての情報を移動させなければならない。HPの容量次第だが、当HPは半端な情報ではないので、移動は大変な労力を費やす。

そもそも、何十年も続けて来たブロバイダーが突然、止めま〜すってありか。言う方は簡単だが、言われた方は茫然自失。これはある意味犯罪。損害賠償の対象になりうる。

と言っても、約款・定款には「予告なしで業務停止する場合があります」とあるから何も言えない訳。何故やめるのか??やっぱり儲からない!!普通、何でもそうだが、利益があり儲かっている事業を手放す訳はない。

恐らく推測だが、最近はこの情報媒体が多く、HPは後退しているのではないか。

ヤフーの場合は、他のブロに比べて料金はやや高い。ユーザーが最近の安いブロに流れれば業務は成り立たなくなる。・・・ではないか。

ともあれ、引っ越しは悪戦苦闘。新しいブロに何回も何時間も問い合わせ

ても

明快な方策はない。そもそもブロが、あまりHPのことを知らない。
URLを一括移動のソフトはあるようだ。他、PDFの一括移動はあるの
か。

とかとかで当分、「苦悩」は続きそうです。何方か、有効な手立てがあり
ましたら、
ご教授をお願いいたします（笑い）





12月4日(火)曇・16度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年12月4日(火)06時54分32秒
会報

11・12月号を纏めました。
プリンターが不調で地図が90度横です。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>





11月30日(金)晴・14度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月30日(金)06時54分24秒

写真は

伊豆八十八札所、三十三番・正定寺（しょうじょうじ・稲取）境内にある石仏。

最初の三像の年代は、寛文10年と読める。
寛文は、万治のあと、延宝の前、1661年～1673年。
従って、約347年前の1671年だろうか。

三枚目の石仏は、海の強風に永い間、晒されたためか、

右側が随分風化している。
これは蓮の花を持った珍しいものです。

石仏は本来、境内にあったのではなく、散逸を防ぐため、各所
にあったものを集めたものです。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

11月29日(木)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月29日(木)06時34分21秒

昨日は

11月度・伊豆ジオパーク一周ウォークでした。
コースは、伊豆堂ヶ島～浮島～燈明ヶ崎～田子（昼食）～
大田子～今山・西伊豆歩道～安良里。天気＝無風快晴高温。
距離＝16km（ただし、上り下り多い）参加＝14名。

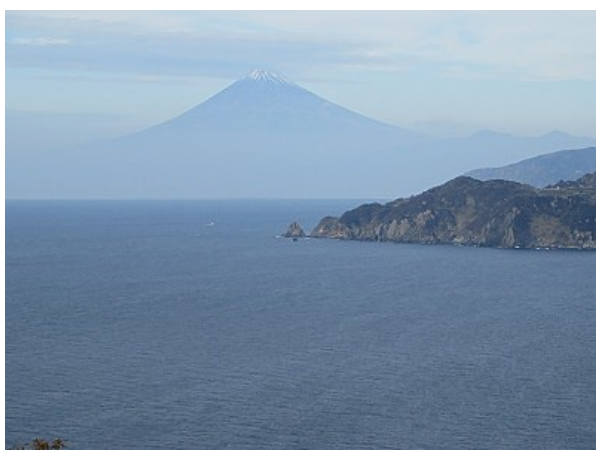
前回最終の堂ヶ島から出発。天気は良い。風もなくトンビが
ヒュルリ。一周して浮島に向かう。途中、三四郎島のトンボ口
を俯瞰するが、時間的に引き潮でなく見れなかった。

浮島湾を一周して燈明ヶ崎に向かう。途中の岩場の岬はスリル
がある。海が美しい。椿園を通過し、燈明ヶ崎に立つ。風がなく
高温で汗ビッショリ。11月末にしては、暑過ぎる。

田子に降りて港の公園で昼食。立派なトイレがある。釣り人が多い。
午後は大田子から今山・西伊豆歩道に入る。この辺りは、西伊豆で
最も静かな所だ。

今山登山口まで厳しい上り。山も先日の台風で荒れていた。登山口
から下り道になる。正面に富士山が大きい。海拔0mの富士山は
随分尖っていた。長い長いトラバース道で安良里着。少し前まで
港にあった、歌手K山のクルーザーは、火災で既になかった。

今回はここで終了。なかなか厳しいウォークだったが、大いに満足でした。



11月27日(火)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月27日(火)05時37分22秒

下山し

みくりが池温泉（小屋）に入る。ここの名称は末尾に山荘・小屋・ヒュッテがつかないようだ。部屋は個室だったが大部屋でなく、二段ベットだった。

大部屋なら皆でワイワイ出来るのだが、二段ベットでは空間がなく何もできない。期待していただけにガッカリ。この辺は幹事（リーダー）の感覚と交渉次第。安くない金額の利用だけに完璧な対応を求められる。

夕食まで時間があつた。が、自販機のビア販売がなかった。あると思ってなにも持参しなかったので手持無沙汰。夕食は18時から。小屋は本日が今年最終日。

実は最終日は、酒類が無料で振舞われる。宿代金は9700-。昨今、北ALPSの小屋代金は9900-が多い。200-安く酒類無料はリーズナブル（手頃・妥当）だろう。

夕食、開宴にあたりオーナーの挨拶があつた。小柄だったが感じが良い方だった。全員にジョッキの生ビアが配られ乾杯。ちなみに生は一杯=500-と誰かが言っていた。普段、あまりビアはやらないが、風呂上がりで2杯やってしまった。

つづく





11月26日(月)晴・14度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月26日(月)06時03分1秒

先週末は

立山・雄山(3003m)でした。コースは、室堂～
一ノ越～雄山～一ノ越～みくりが池温泉。標高差=570m
天気=上部強風・晴

長泉発6:00。室堂発12:31。本来スキーだったが、
あまりの少雪で登山に変更。確かに雪は少なかった。これでは
スキーは出来ない。滑っている方のいるが、板がかわいそう。

一ノ越に向かう。立山が大きい。下部は風がなかった。この時期の晴天はラッキー。半年ぶりの雪山。雪がキュキュキュと喜んでいる。気分はサイコーだった。

一ノ越着。一気に上って来たので息は荒い。風が強くなって来た。全装備を纏う。雄山に上る。雪が少なく岩が露出し、アイゼンで歩き難い。何処かの若い衆が、喜んでいるのか、気合を入れているのか、奇声を上げて上っていた。ちょっと迷惑。

強風の中、神社着。雪稜を辿り14:50頂上着。時間切れで大汝山は断念。それでもこの時期、3000mに上れたことは大きな喜び。富士山・槍・剣の展望が素晴らしい。軽く休憩し下山。下りはスイスイ速い。

途中で甘い梅酒が美味しかった。長い下降で16:28、みくりが池温泉着。立山が夕日に染まり感動的。山荘はこの日が今年営業最終日で特別なプレゼンがある。これは楽しみだった。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

11月22日(木)雨・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月22日(木)04時34分1秒

昨日は

「まったりハイキング」で富士山でした。
コースは、御殿場口二合目～ニッ塚上塚（4名）～幕岩上（昼食）
～下部道～二合目。天気は快晴（上塚強風）。参加は13名。

「まったりハイキング」は、正にまったり・のんびり・ゆったり
のハイキングで、厳しい山を引退した方が対象のハイキング。従って
なるべく上りがない、平坦もしくは下りのコースで実施（笑い）だから、
少し元気者は相当の荷物を背負って行かないと退屈を感じてしまう。

二合目に集合。天気は快晴。ただ、風が強い。ニッ塚コルから4名のみ
上塚に上る。風が強い。上空には翌日の悪天候を示すヒコーキ雲が
長い。程なく上塚着。新雪の富士がイイ。昨日降ったようだ。

駆け下りて皆と合流し幕岩上の風がない場所で昼食。豪華だった。
メはうどん鍋。太麺だったので、やや時間が掛かった。細麺が良い
ようだ。

午後は幕岩下から下部道を経て二合目着。既に紅葉は終わり、冬枯れ
の梢が美しく、ナナカマドの赤い実が蒼穹に映えていた。この時期、
この辺りは、冬ぶらりと訪ねるのにイイところです。



11月21日(水)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月21日(水)06時10分46秒

昨日

白菜と大根を初収穫した。

ダイコンはまだ小さい。

白菜は、このところの好天で2.5kgあった。

スーパーで白菜を見たら、四分の一で@88-だった。

まだまだ、野菜の価格は高い。

ダイコンは豚汁に使いました。

真っ白で綺麗で柔らかく甘く、美味しかったです。

これから、寒さと共に、更に美味しくなりますね。





11月20日(火)晴・14度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月20日(火)05時54分8秒

位牌岳

で気になった事があった。

ブナ観察木には、アルミ製のブナ観察木であることを表示したプレートを付けてある。ブナ観察の必要性を皆さんに知って貰うためのアピールでもある。

勿論、このプレートを付けるにあたり、ブナの負担にならないよう、取り付けに配慮し、森林管理署の許可も得ている。

ところが今回、位牌岳頂上の観察木のプレートは無かった。2000年から観察を続けているが、こんなことは初めてだった。

前岳とか他の木は問題なかった。台風ですっ飛んだか、故意によるものか不明。取り付けは、しっかりしているので、飛んだは考え難い。故意なら器物損壊になる。問題があれば連絡をいただきたいが・・・。



11月19日(月)曇・15度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月19日(月)06時48分20秒

土曜日は

愛鷹連峰・位牌岳（北尾根経由）で、ブナ観察でした。
ブナ観察は、2001年から続けている。
春は葉の活力度、秋は実の結実度を五段階で観察する。

何故、ブナ観察なのか。

50年前、越前岳頂上はブナの大木が生い茂り、展望が悪い山だった。ところが、30年前ごろから、ブナ枯れが始まり最後は全て枯死してしまった。

原因はハッキリしない。ブナ虫（ブナの葉を食べる昆虫の食害）
大気汚染（製紙工場などの汚染物質、東名高速などの排気ガス）
酸性雨・オーバーユース（過剰登山者の根の踏みつぶし）など。

そして、ブナ枯死の経緯観察が必要の結果に至り観察が始まった。
要するに、お山をもっと注意深く関心を持とうということだ。
その後、目立った大きな枯死は見られない。ある意味、枯死木は
枯れるだけ枯れて、現状を維持しているかもしれない。

20年程度の観察では、安易な結論は出ない。今後も観察を続ける
必要はある。ただ、嬉しいのは、位牌岳～前岳間には、200本
以上のブナ幼木（10～30年位）が元気に育っていることだ。

お山が健康なら、下界の人間も問題はない。ブナ元気度は人間の
健康の証でもある。





11月16日(金)晴・13度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月16日(金)04時52分57秒

昨日のつづき

東泉院裏からミカン畑道を上り、東泉院墓所を通過し新白田トンネルを抜ける。この道は、防災用の道と聞いた。R135は、ほぼ海拔0mで災害時は使えなくなる。そのため標高約300mに迂回ルートを作ったという。

トンネルを抜けると稲取が一望できる。伊豆バイオパーク分岐から稲取高校脇を通過し、ようやくR135の陸橋を渡る。急な下りで

やれやれである。更に急坂をころげるように下れば、伊豆急行ガードでその下が稲取港。港越しに33番札所・正定寺の「黒大仏」が見えた。

本来、順打ちなら、31番・東泉院の次は32番・善應院だが、33番が稲取の奥にあり、河津方面に向かうのに再び戻って来るので、先に33番にお参りする訳。

寺は法事だったので、黒大仏前でお勤め。外もなかなか気持ち良かった。墓所には、古いが素晴らしい石仏が鎮座していた。この石仏は一見の価値がある。

今回の巡礼はここで終了。程よい疲労感でバスに揺られる。今年の巡礼もあと一回でお終い。早いものである。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

11月15日(木)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月15日(木)06時11分17秒

昨日は

11月度・伊豆八十八札所巡礼でした。コースは、伊豆大川駅～旧道～30番・自性院～片瀬白田～31番・東泉院～山越え～稲取～33番・正定寺。天気・晴れ。参加は28名。距離＝約15km。

前回最終の伊豆大川駅から出発。天気はまあまあ。旧道を進む。途中、江戸城改修時使用するはずだった、「ぼなき石」（ぼやき石）と呼ばれる大きな石がある。何らかの事情で運搬が出来ず放置されたものだ。

・・・大川地区の旧下田街道脇に江戸城修築の際、運び残された『ぼなき石』と呼ばれる築城石があります。この石は250cm、東側小口幅121cm・高さ122cmの安山岩で城郭用の天端石といわれています。上部には「羽柴左衛門大夫口」と刻まれており、安芸広島城主福島正則がこの地域に採石丁場を設けその役を果たしていたことがうかがえます・・・ネットから

1時間半で30番・自性院着。参道のコスモスは既に終わっていた。31番。東泉院に向かう。片瀬白田海岸まで下り。海岸の大きな松が松くい虫にやられ悲惨だった。

白田川を渡る。北に天城連峰が連なる。ひときわ尖った峰が万三郎岳・1406mがよく分かった。以前、海拔0mのここから上ったことがある。万三郎岳最大標高差で、累計標高差は約1500mになる。丹沢で登山中亡くなったMと二人だった。

東泉院でお勤め後昼食。ただ、事前に聞いていなかったが、12:30で終わって下さいに慌ててしまった。午後は標高約300mの山越えで稲取に向かう。本来、R135を歩けばよいが、先にある黒根トンネルに歩道がなく危険で歩けない。日本の歩行者無視の道路行政だ。電車利用の手もあるが、「完全歩き巡礼」の我々にその選択はない。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

11月13日(火)曇・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月13日(火)06時51分59秒

秩父巡礼つづき

2日目(11/7・水)＝宿「美あさ」の車で前日最終の巴川橋まで世間話をしながら送って貰う。92歳の母がいる。ボケてはいないが、施設には絶対入る気持ちはないので対応が難しい。また、男子子供が無く、後継ぎがないのでポチポチ、断捨離・周辺整理を考えてるなど。

物凄く丁寧な方で、出発する我々を頭を下げていつまでも見送ってくれた。荒川の橋を渡る。深い溪谷で朝日の紅葉が素晴らしい。田舎道に入り、26番・久昌寺着。境内に灌漑用の大きな池が広がる素敵な寺だった。池にはカモが数羽。

山を下って再び荒川を渡り対岸に移り、27番・円融寺。続いて28番・大淵寺。次の29番・橋立堂は武甲山の登山口が近い。観音堂の後ろは石灰岩の壁だった。受付の奥には、県天然記念物の鍾乳洞がある。入場料200円で潜る。天井が低く頭を数回打った。なかなか興味深い洞だった。

高台の感じの良い道を進めば29番・長泉寺。親しげな名称だが、「ちょうせんじ」と読む。観音堂には「秩父三千女」の額がある。読み方を寺坊主に聞いたが「分からない」だった(??!!)今日の宿は寺のすぐ近く。2名リタイヤで宿に向かった。

今日の予定はここまでだったが時間があるので歩を進める。高台の道で眼下に秩父鉄道が伸びる。帰りはこれに乗る予定。未知の土地で電車に乗るのは楽しい。

つづく



11月12日(月)曇・16歩

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月12日(月)05時30分9秒

昨日は

千代田区のTOKYO・TUCで、JAZZの
NICKI・PARROTTライブがあり行って来た。

東京でのJAZZ詣では久しぶり。以前は、オスカー・
ピーターソン、ソニー・ロリンズ、MJQなど聞きに
行ったことがある。

日曜日なので車で行った。ところがどうだろう、予想通り首都高
はガラガラで渋滞はゼロ。こんなことってあるだろうか??!!
渋滞ゼロは正月に経験したことがあるが、普段では初めて。
燃費が上がっているから、外出を控えてる??!!

TUCビルはすぐ分かった。ナビは有難い。1回目は
16:00~、2回目は18:00から。価格は2ステージ
で13000~。1時間で6500~。なかなかイイ価格。

それでも既に入り口に長蛇の列。彼女の人気が伺えた。
16:00開演。客は100名くらい。若い方は少ない。
1曲目は知らない曲。ニッキとピアノのデュオ。ニッキ
の唄はなかった。次にギターが加わり、4曲目にTsが
入った。

半分くらい知らない曲だった。チラシにはスイングジャズと
ボサノバだったが、ボサノバは殆ど無かった。その辺はジャズ
特有・独特(??!!)なモノで、その日の気分次第で、やって
みなければ分からない。

ニッキは現在50歳といわれるが、CDジャケット写真のイメージ
で見ると、少し老けた感じだった。髪は短くブロンド長髪で
なかった。背丈は中ヒールで私より少し低い。165~8くらいか。
中肉でチャイナドレスみたいなのを着ていた。声はややハスキーで
痺れる。

営業もあるだろうが、物凄くフレンドリーで気軽にサイン・写真・会話に
応じていた。私はベースを弾く右手指を見せて貰った。人差し指にタコ

があると思ったが、赤いマニキュアの指は繊細で綺麗だった。彼女の指を観察し触ったのは、恐らく私だけだったでしょう。ま、本当はデートし一杯やりたかったですが・・・。（笑い）

ともあれ、2018・11/11は、楽しい一日でした！！



11月9日(金)晴・18度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月9日(金)09時35分0秒

6～8日は

秩父三十四ヶ所観音巡礼でした。6日＝18番・神門寺～24番・法泉寺、7日＝24番・法泉寺～29番・長泉院～秩父鉄道・武州日野駅、8日＝日野駅～30番・法雲寺～両神村・小森橋まで。天気は、小雨・曇り・曇り。参加は10名。

6日、昨年秋最終の法泉寺から出発。天気は雨～小雨。18番から22番・童子堂は近い。童子堂には他のバスツアー20名がいた。観音堂は古いが立派。

次の23番・音楽寺は山の上。音楽に関係ある寺かと思ったが、必ずしもそうでなかった。ただ、音楽関係者がヒットを祈願してお参りするとネットにはあった。

この日最後の法泉寺は、やや遠かった。道を間違え30分ロス。ご朱印締め切りの16時が迫っていた。サポーターが飛ばし何とか間に合った。しかし、16時を過ぎて来た方もいて、一旦帰った係りは戻って来た。

この日の宿は「美あさ」。安価だが非常にいい宿だった。御主人の話では、最近大変なので、近い将来閉めたいといった。こんなイイ宿がなくなるのは残念です。

つづく





11月5日(月)曇・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月5日(月)06時47分38秒
十二ヶ岳

報告書、纏めました。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/1-55.pdf



11月2日

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月2日(金)07時51分25秒

ご連絡の方

申し訳ありません。手違いで削除してしまいました。
もう一度、お願い致します。

ごとう

11月2日(金)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月2日(金)07時26分58秒

つづき

鬼ヶ岳からT君は一人旅で鍵掛峠に向かった。峠まで約1H。
ただ、標高は1500m。鬼は1738m。だから、下山道の一部と考えれば、それ程の負担ではないだろう。

オジ・オバ班は、鬼から下山。昼食後、雪頭ヶ岳の上りがキツイ。
パンダみたいな白黒の犬を連れたオジサンが上って来た。雑種と
いった。先日の富士山もそうだが、本来、動物を山に連れ込むのは
御法度だ。犬は雑菌が多い。山岳動物に影響が大きい。それを知らない
愛犬家が多い。

雪頭からの展望は超素晴らしい。これ程の富士山の展望は少ない。
午後になり、いくらか富士山が良くなった。昨年12月上った
バリの鬼ヶ岳南尾根を思い出した。「鬼の壁」が凄かった。

この時期、マツムシソウが沢山咲いていた。グングン下る。
長い下り。膝がガクガク。林道終点手前でT君から携帯。
駐車場近くに下ったと報告。速い。

14:15、我々も駐車場着。これから私はまだ一仕事。文化洞
駐車場に車を取りに行く。実は朝、根場に小型自転車を置いといた。
約4Kmを飛ばす。前方に見た方がいた。鬼で会った東京の二人
だった。バスもあるが時間が合わず歩きだった。登山靴で舗装平坦道
1Hはキツイ。

車を回収して戻り、皆を乗せ再び文化洞に向かったが、二人はまだ駐車場

手前を歩いていた。改めて機械（自転車）の威力を認識。この時期、紅葉もマアマアでイイ山でした。



11月1日(木)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年11月1日(木)06時21分37秒

今朝は良く冷えた。11月に相応しいね。

つづき

11:00、十二ヶ岳に着いた。何処かの中年男女が昼食だった。富士山をバックに記念撮影。ただ、逆光で御山はイマイチ。当方も昼食時間だが、まだイヤな所が残っているので歩を進める。

下ったすぐの所にグズグズの岩場がある。落石に要注意。ここをしのげば、後はそれ程問題はない。稜線は先日の24号台風の爪跡が酷かった。かなり太い樹齢50年(??)位のモミの木が、何本か根こそぎ倒れていた。

殆どがモミの木だった。何故か。モミは常緑樹で秋でも枝葉が豊かに茂っている。それ故に風当たりが相当強いのだ。他のブナ等は、既に葉を落とし風当たりは弱い。それに意外と根が浅い。山岳は岩が多くあまり根を張れないのも一因だろう。

いずれにしても、貴重なモミ大木が何本も倒れたのは残念。12:15、鬼ヶ岳に着いた。出発から4時間。時間的には悪くない。ここで昼食。最高の展望。古い表現なら日本晴れ。このところの好天で南ALPSは雪がなく真っ黒だった。

先ほどの東京の男女が来た。昼は済ませたという。名古屋に住んでいたが、この辺りは素晴らしいと言い、根場(ねんば)に下った。

我々もここから、鍵掛峠経由根場か、直に根場に下るか決めなければならない。何回も来ている者は前者はパス。初見参の25歳のTは後者を選択した。

つづく



10月31日(木)快晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月31日(水)08時28分49秒

昨日は

御坂・毛無山～十二ヶ岳～鬼ヶ岳（最高峰・1738m）～
（鍵掛峠）でした。天気は無風快晴。参加は5名。
標高差＝約838m（ただし、上り・下り多い）

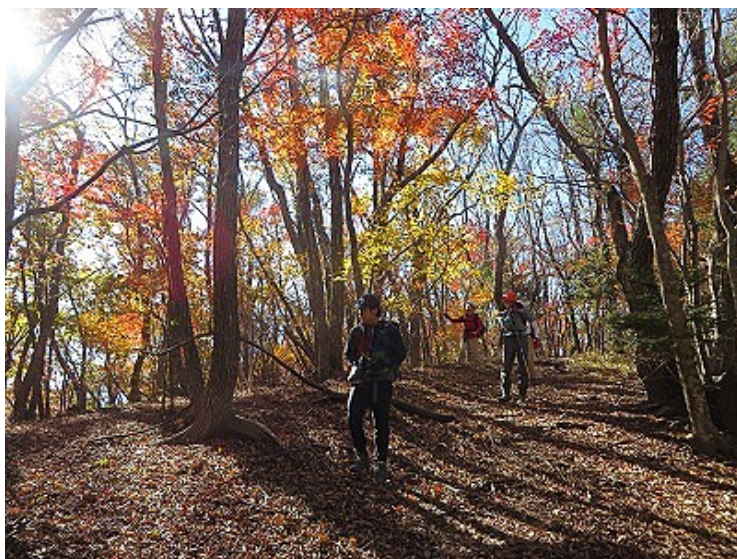
8:10、文化洞トンネル西の駐車場発。天気はサイコー。気温は暑からず寒からず。「三浦家」が多い墓地からトンネル上の登山道に乗る。毛無山まで急な上り。先日の台風24号の倒木が多い。

毛無山の標高は丁度1500m。富士山が大きい。ここから、十二ヶ岳まで、上ったり下ったり縦走が始まる。ただ途中、何峰か分からない峰もある。

十一ヶ岳から大きく下る。太いロープが長く下がっている。下り切ると、キレット（切戸）でアルミ製の吊橋が20m程架かっている。揺れながら楽しみながら、かつ、こわごわと渡る。

渡り切ると、十二ヶ岳の上りが始まる。約150mの岩場の厳しい上り。全体的に岩が脆いので落石に注意。十一ヶ岳を二人下って来た。東京の中年の男女だった。「ヨロ・レイホ～」とエールを送る。この方とは結局、最後まで前後した。

つづく





10月29日(月)晴・15度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月29日(月)06時43分31秒

昨日は

静岡市・清水区市役所で安全登山講習会が開催されました。テーマは「山での病気」。講師は、全国連盟で医師の沼田久美子氏。

病気は怪我と違い下界でも難しい。怪我はある程度素人でも対処可能だが、病気は分からない。条件が悪い、山ではなお更な事。

山岳での三大死因は、

外傷 滑落、転落
心臓疾患 心筋梗塞、大動脈解離、不整脈
寒冷障害 雪崩、低体温症

最近の傾向は、登山者の高齢化で脳・心臓・肺などの疾患が多い。
それらは、生活習慣改善である程度向上する。
山での病気予防は、当たり前だが、下界の生活改善から始まる。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

10月26日(金)曇・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月26日(金)06時09分0秒

つづき

室岩洞を後にしR136を歩く。道沿いには、なかなか素敵な彫像がある。現在は長泉町に在住する松崎出身の堤氏の一門が製作したようだ。

坂を下って松崎浜に到着。夏は海水浴場だが、当日は閑散としていた。以前、ここで何処かのオバサマが、さくら貝を拾っていた。キレイな貝だった。

右手にホテルが二つある。大きい方が伊東園、小ぶりがまつぎ荘。後者は以前、国民宿舎で「日本一」と評判をとった宿。ここで昼食を摂る。

いただいたのは「海鮮丼」1000円。酢飯で美味しかった。時々、こうして地元の料理を食べるのは楽しい。以前は、温泉もよく入った。

午後はすぐ脇の弁天島を周回した。写真・下がそれだが、奇岩・巨岩が素晴らしかった。

つづく



10月25日(木)晴・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月25日(木)06時13分3秒

昨日は

10月度・伊豆ジオパーク一周ウォーキングでした。
コースは石部（いしぶ）～岩地浜～萩谷崎～室岩洞～
松崎港～まつざき荘（昼食）～弁天島～亀甲岩（かめごういわ）
～沢田公園～堂ヶ島。天気は無風・晴・やや暑。距離＝約15km。
参加は12名。

順番なら河津だったが、桜の時期に行きたいので、西伊豆に変更。
石部から出発。この地は棚田で有名。八十八札所も1ヶ寺ある。
天気は良い。

R136を進み岩地浜を歩く。波は穏やか。釣り人が一人いた。
再び国道に上がり、萩谷崎に降りる。海からの富士山が切り立っ
ている。なかなかのスポット。

三度、136に上がり室岩洞に下る。昭和のはじめまで「伊豆石」
を切り出していたという。中にはキレイな貯水が二ヶ所あった。
暗くて天井が低く、頭をゴツツンコ。

洞を出た場所に、切り出した石を船で運搬する断崖があった。
また大昔、噴火時溶岩が海に流れ、冷やされ固まった縞模様が
俯瞰出来た。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

10月24日(水)曇・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月24日(水)05時03分15秒

犬の

名前は、「マット」だった。
聞けば、マッターホルンとツエルマットから
つけたという。

犬種は、難しい名前で見えきれなかった。
例のアルプスにいる大型犬に似ていた。

ちなみに、この種の大型犬は短命で、早いものは

6年くらいという。



10月23日(火)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月23日(火)04時41分36秒

宝永山

2352m峰から来た道を降りる。
台風24号で飛ばされた例の道標は、誰かが持ち上げた
ようで、ピーク下に転がっていた。

下から2パーティ、3名上って来た。1名は単独、2名は
親子だった。聞けば親子は、宝永山まで上り、御殿場口を
下るといった。靴はズックだったので、雪の状態をアドバイス
した。

御殿庭に下って行く。ここの風景は何度見ても美しく気持ち良い。
2名、庭内で昼食だった。前方の登山道に登山者と何かがいた。
近づいてみたら、何かは大型犬だった。声を掛けたら登山者は
昔の山仲間のY君だった。

Y君とはM労山で一緒だった。ただ、在籍は長くなかったので、
山はあまり行っていない。彼の父親が私が勤めていた会社で一緒に
何かとお声がけをして貰った。そんな縁があった。

つづく





10月22日(月)晴・12度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月22日(月)04時56分55秒

昨日は

富士山・宝永山2352m峰でした。天気は無風快晴。
標高差=1012m。

当初、富士山頂予定だったが、前夜の降雪でタイヤは夏用で
道路が問題で宝永山に変更した。10月のこの時期で、
これほどの降雪は、近年あまり記憶がない。

朝、拙宅付近からの富士山は感動的だった。車を飛ばし幕岩から流れる沢の橋に到着。ここから上ると、標高差は1000mを越える。トレに丁度良い標高差。

台風24号でやや荒れた沢を上る。上部の滝に立派な角を持った大きな雄鹿がこちらを俯瞰していた。先日、伊豆でバイクに鹿が衝突してドライバーが亡くなったが、こんな鹿に襲われたら、ひとたまりのないだろう。

幕岩をパスしてバリルートを上る。今まで通ったことがないルートで新鮮味があった。2時間ほどニッ塚からの道に合流する。上の夫婦を追い越す。御殿庭着。初雪が美しかった。

少し食べて、2352m峰に向かう。真っ新な雪をサクサクと上る。半年ぶりの雪だった。気持ちが良い。今年も冬がやって来たのだ。

この日は登山者が多かった。最高の天気で雪を求めやって来たのだろう。御殿庭に下り昼食。風がなく暖かい。雪は大分融けて来た。唐松の黄葉が素晴らしい。

ブラブラ下り橋着。いい山でした。





10月19日(金)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月19日(金)06時37分38秒

今年は

柿が豊作でした。
柿はヨーグルトと良く合います。

秋の味覚は、美味しいですね。



+





[返信・引用](#)
[編集済](#)

10月18日(木)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月18日(木)05時51分7秒

昨日は

山梨・小檜山（こならやま・1713m）でした。
天気は高曇り。標高差＝883m。参加は6名。

変わった名称の、保健農園ホテル・フフから出発。
広大なブドウ畑の小高い丘にある。健康を整える宿泊設備
のようだ。思わず微笑んでしまいそうな名前で泊まってみたくなる。

駐車場先の動物除けゲートから出発。上で植林木伐採をしていた。
小一時間で舗装道路が終わると、山道になる。岩が多い登山道。
道は「母恋し道」と呼ばれていた。反対には「父恋し道」が
ある。こちらは岩場があるコース。

所々、先日の台風の倒木があったが、早くもきれいに片付けられて
いた。紅葉が始まった唐松林を上る。黄色はあるが赤がないので
イマイチ。程なく、父恋し道と合流。頂上までは15分。

頂上着。素晴らしい展望の山だが、ガスが掛かりハッキリしない。
東屋で昼食。5度くらいで手がかじかみ寒い。明るくなりガスが
飛び展望が得られた。ただ、富士山は見えなかった。

記念写真で下山。下りは速い。林道に出てブラブラ下る。塩山で

ワイナリーに寄って皆さんは試飲。ドライバーには、健康ドリンク2本のサービスがある。何と優しいこと。

天気はハッキリしませんでしたでしたが、手軽なハイキングでした。



10月17日(水)晴・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月17日(水)04時26分34秒

昨日

スーパーに行ったら、入り口に「タイ焼き屋」さんがいた。

眼は、まあまあだったが、「臭い・香り」に反応してしまった。いい香りが漂って来た訳。

思わず、ニヶ買ってしまった。ニヶは「メデタイ・メデタイ」である。何がそうなのか明日判明しますが・・・。

人間の美味しさの感覚は、意外だが、舌より鼻（臭い・香り）だそうです。鼻のイイ方は、美味しさをより感じる事が出来る。悪い方は、鼻音痴でよろしくないようだ。

タイ焼きは、普通のモノにした。最近、妙に凝ったモノがあるが、やっぱり普通のアンコがよろしい。焼いていたオジサンも「そだねッ」と賛同してくれました。（笑い）





[返信・引用](#)

10月16日(火)晴・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月16日(火)08時07分56秒

庭の

メダカちゃん水槽に入れてある、ホテイ草の花が咲いた。
なかなか、
キレイな色です。



10月15日(月)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月15日(月)05時19分0秒

週末は、悪天候で登山は断念。

伊豆八十八札所＝二十八番札所・大江院（伊豆高原）には、明治45年4月に作られた、伊豆札所のご朱印帳がある。

一般的に、ご朱印帳などは、本人が亡くなられた時、一緒に燃やされる。ところが、現住職の三代前のオバアさまの浅香トミさんが残した朱印帳は、何故か残った。

勿論、残すか残さないかは自身の意志なので、何方でも構わない。ただ、当時として残ったのは珍しく、大きな遺産となった。その頃、道路は今ほど完璧でなく、道中は困難を極めたと思われる。

しかも女性である。現在、私たちが行っている巡礼は、月1回で約2年掛かる。当時、1ヶ月以上掛かったようだ。日記があれば更に興味深いことがうかがえるのだが・・・。





Re: 10月12日(金)雨・16度

[返信・引用](#)

投稿者: 鈴木@下田市 投稿日: 2018年10月15日(月)01時22分51秒

> [No. 3515\[元記事へ\]](#)

2時間弱で伊豆大川の龍豊院着。本堂でお勤め。気持ち良かった。
> 帰りに挨拶に行くと、住職が出て来て笑顔で見送ってくれた。> 温かい住職だった。

お疲れ様でした。浅井住職さんは、私の恩師（故人）の弟さんです。
平地がほとんどない大川の地には、田んぼがありません。でも集落として成り立っているんですね。

炭焼きなどの山仕事を中心産業だったのでしょうか。

ともかく、お疲れ様でした。

10月12日(金)雨・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月12日(金)06時08分59秒

つづき

旧道を進む。20代の前半の頃、サイクリングで伊豆一周を行ったが、旧道を通ったか記憶はない。ただ、外浦付近のR135が未舗装だったように思う。婆娑羅峠は確実に未舗装だった記憶はある。

2時間弱で伊豆大川の龍豊院着。本堂でお勤め。気持ち良かった。帰りに挨拶に行くと、住職が出て来て笑顔で見送ってくれた。温かい住職だった。

今回はここで終了。約16km。暑くてやや疲れしました。次回も頑張りましょう。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

10月11日(木)晴・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月11日(木)06時54分49秒

昨日は

10月度・伊豆八十八巡礼でした。コースは、小室山～伊豆高原～28番・大江院～八幡宮・来宮神社(昼食)～旧道^29番・龍豊院。天気は晴れ・高温。距離＝約16km。参加は28名。

前回最終の小室山地先から出発。R135から古道に入る。台風の影響は少なく、何とか歩けた。再びR135に出て、伊豆高原を目指す。日差しが強く、とても暑かった。半ズボンが良かったと思った。

途中、神祇大社(じんぎたいしゃ)に寄る。八百万の神全てを祀ってあるそう。更に進み、ようやく28番・大江院着。大住職は、まあまあお元気だった。住職にも入っていただき、記念撮影。

本堂でお勤め後、奥の八幡宮・来宮神社で昼食。日陰は気持ち良かった。午後は、R135旧道を歩き、29番・龍豊院に向かった。午後も相変わらず、暑かったです。

つづく



10月9日(火)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月9日(火)05時37分35秒
会報

「れいほう」10月号です。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/1-27.pdf





[返信・引用](#)
[編集済](#)

10月8日(月)晴・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月8日(月)06時21分18秒
つづき

天狗岳・西尾根の翌日、瑞牆山カンマンボロン・コースでした。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/1-25.pdf





10月7日(日)台風・18度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月7日(日)05時12分34秒

つづき

西天狗を下り、東天狗に向かう。
2名は、東天狗にいつも上っているのでパス。
3名が上った。

中山峠に降りる。冬に比べ、ゴロタ岩が多く歩き難い。
黒百合ヒュッテに着いた。
ヒュッテも冬に比べると、みずぼらしく冴えない。

3名の男女がいた。

聞けば唐沢鉱泉を6：30に出たという。

我々より3時間早かった。人は、どうしたらそんなにユックリ歩けるものかと考えてしまった。

ヒュッテから唐沢分岐まで更に歩き難い。

オーバーユースとゴロタ岩が最悪。冬はそれらが雪で埋まり、高速道路の如くスイスイと歩けるのだが。

分岐からは少し良くなる。渋の湯に比べ、登山者が少ないからだ。沢を渡って唐沢着。

来る時、停電で静かだったが、通電したようで自家発電が唸っていた。

帰路、尖石（とがりいし）温泉に寄って、次の瑞牆山に向かった。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

10月6日(土)曇・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月6日(土)06時03分0秒

つづき

第一展望台から少し下り、本峰の上りになる。
大きな岩がゴロゴロして、隙間を縫うように上る。
背後に第一展望台が、ピョンと尖っている。

厳しい上りだが、上る程に気持ちが高ぶる。
やがて頂上に達した。
登山者は一人で昼食中。我々も昼にする。

登山で嬉しいのは食べる事。また、山の食事は美味しい。
昨夜漬けたキュウリの糠味噌がサイコー。ビアに合う。
タマゴ3ヶ使った卵焼きを振舞う。少し甘くて行ける。

天狗岳は西天狗と東天狗のツインピークから成る。
西を下り東に向かう。コル(鞍部)に超大型ビデオを
構えた人が何人かいた。

聞けば、NHKの職員でビデオ撮影の研修という。
一人リーダーがいて、研修者がビデオを構えていた。
何を撮影しているか見たら、コケモモだった。

つづく



10月5日(金)曇・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月5日(金)03時57分26秒

3・4は、

天狗岳西尾根、瑞牆山カンマンボロン・コースでした。
天気は3日・晴れ、4日・曇り午後から小雨。
参加は、3日=5名、4日=6名。

3日、天狗岳西尾根は早朝発で寝不足。体調は最悪。
唐沢鉱泉から9:30出発。台風24号の影響で
精進湖道路が通行止め。本栖湖経由で来たので時間
が掛かった。このように遅い出発は気合が入らない。

側道から西尾根に乗る。早くも下山する方がいた。
聞けば、昨夜は根石岳山荘泊といった。早いはずだ。
巨木が登山道を塞いでいた。台風の影響だった。

不調だがそれなりに上る。南が赤岳が、先日の阿弥陀が
次第に大きくなった。第一展望台に何人かいた。集合
写真を撮って貰った。

つづく





10月3日(水)

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月2日(火)11時44分51秒
赤岳鉱泉・行者小屋

16時間前？

台風24号による影響と被害のお知らせです。

昨日から今朝にかけて降り続いた雨により、美濃戸口から入っていちばん最初の橋が流されてしまいました。

川幅が 10m から 30m まで広がって林道が消失してしまいました。
人も車も通行が出来ない状況です。

北沢登山道も濁流により、2箇所の橋が流されてしまいました。
人が通行出来る状況ではありません。

改めて自然の猛威を思い知らされました。
しかしながら、人的被害が無かったことが不幸中の幸いでした。

明日から茅野市始め関係機関のご協力により、本格的な復旧作業が始まります。

僕たち小屋番も最善を尽くして、北沢登山道をまた安全に快適に歩けるように復旧します！

自然災害になんか絶対に負けないぜ！

赤岳鉱泉・行者小屋小屋番のチームワークと不屈の精神で、この危機を一日でも早く改善しますので、今しばらくお待ちください！！

Mさんのフェースブックから転載しました。

[返信・引用](#)

[編集済](#)

10月2日(火)晴・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年10月2日(火)05時41分7秒

台風は

凄まじかった。雨は少なく風が凄かった。
夜半、風の音で目が覚めた。
ゴーゴー・ガーガー・ガガガガガガ・・・。

波状的に強い風が襲う。
通りを強風が抜けて行く。
空き缶が、カラカラと飛んで行く。

結局、塀が傾き、柿の木が傾き、夏ミカンの木が傾き
畑はメチャメチャ。特に畑は壊滅状態。

ハクサイ・ダイコンなど、数センチの育ち、これからの
ところだった。

温室でなく露天の畑は、周りに建物がない風の通り道。

長い時間強風にさらされると小さく柔らかい苗は、ひとたまりのない。ハクサイの苗は、8月下旬から育てたモノ。

この時期の台風は最悪。ガッカリしてしまった。
途方に暮れる・・・とは、このことだ。まあ、アマチュアの野菜作りだからまだイイが、プロの方は大きな痛手だろう。

豊かな実りは天候次第。神仏に五穀豊穰を祈願することはよく理解出来ますね。

その後、三島市一部・清水町が停電で交差点に警官が手旗でした。





9月30日(日)台風・18度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月30日(日)05時56分9秒
また、台風です。

阿弥陀岳、山行報告を纏めました。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/1-1-1-1.pdf





9月29日(土)曇・18度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月29日(土)05時42分16秒

26日のつづき

若い衆三人とテラスで休んでいると、〇さんもやって来た。厳しい上りで足が震えていたというが、気が付かなかった。若い衆にも〇さんの年齢を伝えると驚いた。

テラスからひと上りで阿弥陀岳着。4時間ちょっとで、まあまあのタイム。南稜は直接頂上に上れるので気分はサイコー。好天もあいまって、多くの登山者で賑わっている。

頂上出口にアベック（古い！！）が座っていた。突然現れた
闖入者に驚いた様子。誰かが「南稜・南稜」といつていた。
頂上には阿弥陀様が祀ってある。手を合わせ「安全登山」に
感謝。

〇さんもやって来て一緒に休憩。軽く食べる。御小屋尾根
から沢山上って来る。下山は、御小屋にするか、中央稜に
するか考えた。キノコを採るなら御小屋尾根。スッキリ
下るなら中央稜。

結局、中央稜を下った。上部は梅茸の採取地といわれる。
下って行くと、下から何人か上って来た。一人はキノコ
採りだったが、収穫はナシといった。

中央稜の上部は可なり急。半分から歩き易い道。下り
切って沢で昼食。静かでいい。駐車場に着くと、諏訪の
方が、ジゴボウ（鼻猪口）を沢山採って来た。御小屋尾根
を下ったそうだ。やっぱりね・・・だった。

今回もいい山だった、ハッは近くていい山。有難いデス。





9月28日(金)晴・17度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月28日(金)05時02分26秒

つづき

正定寺を辞し、「どんつく神社」に寄った。
ここの神社の祭りは有名。

どんつく神社に奉納されている3mもある男性シンボルの形のご神体の御輿(みこし)を、女性たちが担いで町の中を練り歩く。夫婦和合、子孫繁栄を願うもの。どん太鼓、海上パレード、花火大会など多彩な催し物も行われる。なお、ご神体はふだんも公開されています。(ネットから)

ただ、ご神体は覗けなかった。坂道を上り、稲取灯台に着く。余り大きくなかった。岬なのでモーレツな風。温泉街を通過し海岸を辿る。ここにちょっと色っぽい銅像があった。再びR135に上がる。

上がった先に、土産物屋「徳造丸」がある。着くとトコロテンの無料サービスがサッと出て来る。店員さんは愛想が良い。昼食にする。途中で焼魚も出て来た。

午後はR135を進み今井浜に降りる。空が次第に暗くなり突然、大粒の雨が降って来た。皆さんカッパを着て傘を差す。今井浜海岸を進む。波が荒い。それでもサーファーが2名いた。危険ではないだろうか。

更に進み河津に到着。予定より30分早い。ここまでとする。バスに乗れば温かく幸せ。2ヶ月振りのウオークだったが、皆様よく歩きました。来月は下田に向かいます。





9月27日(木)雨・18度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月27日(木)02時45分48秒

このところ、天気が良くないね。

昨日は、伊豆ジオパーク一周ウォーキングでした。
コースは、片瀬白田駅～東泉院～新片瀬トンネル～稲取
～稲取灯台～徳造丸(昼食)～今井浜～河津。天気は、
曇～13:30雨。距離=約15km。参加は16名。

7・8月休講で、二ヶ月ぶりのウォーキング。懐かしい
面々が揃った。出る言葉は「久しぶり」「元気だった」。
6月最終地の片瀬白田駅から出発。

風が強かったが、雨の心配はなかった。八十八札所の
東泉院に寄った。金田祥道住職は元気だった。しばし
交流。寺の裏から新白田トンネルを目指す。

標高差約300m=約1Hの上り。モーレツな暑さでは
参ってしまうが、昨日はイイ風が吹き、ゆっくり上れば
問題はなかった。

トンネルを潜り稲取に下る。海は強風で波頭が立っていた。
漁港を通過し、やはり八十八札所の正定寺前の公園で休憩。
寺の「黒大仏」が静かに見下ろしていた。

つづく



9月26日(水)曇・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月25日(火)16時05分57秒

つづき

三峰のルンゼに着いた。
水が少し流れていた。状態が良いのでザイルは出さなかった。
もう少し季節が進むと、ベルグラ（氷）が張り悪くなる。

ルンゼは、火山特有の岩。一枚岩にこぶし大の岩がボコボコと出ている。岩は長年浸食され、しっかりしているので安定している・快適に上る。最近、岩らしい岩をやっていないので、思わずハイテンションになった。

ルンゼを抜けて再び南稜に出て、安定した所で大休憩。目を凝らすと赤岳と中岳頂上に登山者が溢れていた。皆、山が好きなのだ。そのうち、女性一名が入った、若い衆が三名上って来た。聞けば、三名は別々の所に住み、山行時、道の駅とかで集合し来るそうだ。

所属山岳会はなし。特に必要性は感じていないようだ。そのような時代なのか。下山後、会った諏訪の若い衆も無所属で、山行時だけ仲間と上るという。

我々の時代は下山後、飲んだりも大事にしたが、現在はそのようなしがらみは嫌われるかも知れない。これでは、山岳会が声を大に組織拡大・拡大と叫んでも、なかなか入会者は増えない。理屈ではない、そんな時代なのだと思います。

つづく（この日記は25日書きました）





9月25日(火)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月25日(火)05時51分11秒

つづき

気持ち良い南稜の登山道を上る。
全く荒れていない。
何故、こんなにキレイなのか不思議だ。

強いていえば、バリエーション故、登山者が少ないことか。
周りは柵の森が延々と続く。
目障りなのは、柵茸盗難防止のワイヤーがあることだ。

下を見ながら上っていて、ハッと気が付いたら、何処かのオジサンが立っていた。朝、舟山十字路で駐車場を指示してくれた方だった。

我々より早く出ていたが追いついた。休憩中で何かを食べていた。挨拶をして年齢を確認したら、「1940年生まれ」だった。私よりかなり多かった。

聞けば、本宅は藤沢で別荘がこちらにあるそうだ。南稜はいつも上っているという。しかも単独である。登山は60歳からという。失礼だがこの年齢で、よくやるな~と思った。三峰のルンゼはザイルなしで上るのか??そこまでは聞かなかった。

更に聞くと一時、長泉に住んでいたことがあったそうだ。お名前はOさんだった。前後しながら再び上り出す。立場山を過ぎ、青ナギを越えて無名峰に着いた。阿弥陀岳が大迫力で迫る。天気は良く秋空が高かった。ここに若者が3名いた。

彼らは三峰まで行くと、ルンゼでなく、正面の岩尾根で遊んでいた。ただ、最後まで上る気はないようだ。そんな訳で我々が今日のトップに立った。今日の南稜は、3パーティー・6名だった。

つづく





9月24日(月)晴・22度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月24日(月)05時10分50秒

昨日は

八ッ・阿弥陀岳(2805m)南稜～中央稜でした。
天気は晴れ。コースは、舟山十字路～
南稜～阿弥陀岳～中央稜。標高差=1185m。

舟山十字路発5:45。物凄い車の数。ほとんどが「キノコ採り」。
キノコのオジサンと話しながら出発。
最近人は多くて採れないという。「両手くらい」と聞けば、「片手
がいいところ」だった。ただ、実際は殆どゼロ。

オジサンに南稜の近道を教えて貰った。この道は、キノコ道だ。堰堤の下を通り、急登をこなすと南稜に出た。本来のルートに比べると三分の一だろう。

山には、「チンチロ・チンチロ」鈴の音が響く。キノコ採りだ。何処かのオジサンが上から降りて来た。聞けば、「全く駄目」と言いながらも、「松茸」を一本見せてくれた。

ここで採れるのは本来「梅茸」（つがだけ）。しかし、オジサンのは本当の「松茸」だった。イイ香りが漂った。「松茸ご飯」ですかと聞いたら、「お吸い物」がイイと答えた。

つづく





9月21日(金)雨・14度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月21日(金)07時00分22秒

先週の

土日は、伊豆長岡温泉「いづみ荘」で、日本勤労者山岳会全国連盟主催・静岡県連主管の「全国ハイキング集会」が開催され、北は北海道、南は福岡まで約150名が集まり、2日間、熱い討議を重ねた。

1日目＝13時開会。基調報告後、北海道大学教授・島村英紀先生「火山の恵みと危険性」の講演。
15:00～分散会討議、18:00～夕食・交流会と続いた。

交流会では、最後に私も指揮で「静岡（他の県名でもOK）県連の歌を合唱して、一日目を終えた。

一年に一度くらいは、全国の仲間とひざを突き合わせの話し合いも良いものですね。



9月20日(木)曇・15度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月20日(木)02時33分13秒
旧聞で

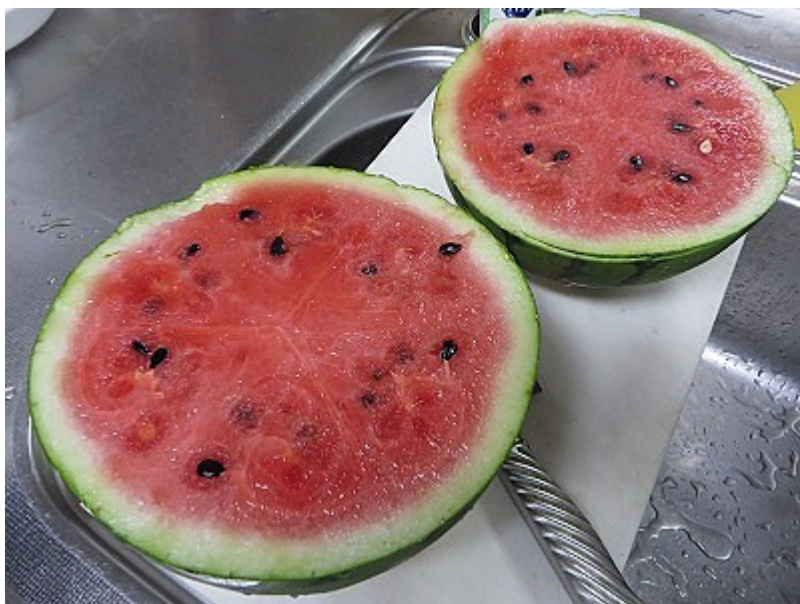
恐縮ですが、先日、最後のスイカを収穫した。
一週間ほど転がして置き食べた。

甘くて美味しかった。スイカはサイコーですね。

全部食べないで、四分の一は、ラブ（トイプードル・愛犬）に残した。

朝食時、少しづつあげる。
スイカは、大好物のようだ。
犬は先に美味しいものを食べるようだ。

スイカが終わると夏もホントに終わりだね。





9月19日(水)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月19日(水)06時23分5秒

つづき

伊豆二十七番札所・東林寺は伊東市内の西端にある。
市内では大きなお寺。
傷んだ山門・鐘楼・本堂・厠・住職住居などを直し綺麗になった。

本堂でお勤め。現在、お勤めは、

1. 開経偈(かいきょうげ)
2. 奉納経祈願文
3. 懺悔文(ざんげもん)
4. 三帰(さんき)
5. 三境(さんきょう・経本では、土へんがない文字)
6. 十善戒
7. 般若心経
8. ご本尊真言
9. 光明真言
10. 大師宝号
11. 舎利禮文(しゃりらいもん)
12. 十句観音経
13. 回向文

これで約20分掛かる。お経は25名前後で合唱するが、ピッタリ合うと気持ちが良い。また、本堂の作りで良く響く寺もあるが、そうでない場合もある。

以前はよく住職が出てきて合唱・法話してくれたが、最近は、ご朱印ブーム・

ご朱印女子とか観光化したためか、めったに顔を出さなくなってしまったことは残念だ。

寺で記念写真を撮り、伊豆高原に向けて再び歩き15時終了。二か月

振りの巡礼だったのか皆様、ややお疲れの様子だったが、程よい疲れが気持ち良かったです。



9月18日(火)晴・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月18日(火)07時13分8秒

つづき

宇佐美から伊東市内に入る。
道路右には、大きなヤシの木がある。
左先が、サンハトヤホテル。大きく立派な建物。

看板に「海底温泉」とあるが、まさかアクアラングで
入る訳ではないでしょうね。HPで調べたら、要するに
水族館の温泉だった。ただ、大人＝2000ーは高いね。

この日の昼食は、伊東マリンタウンで外食だった。
2年で外食は2～3回。皆さん、弁当を作らず楽だの感想。
ここの売りは、「アジフライ」。安価で美味しい。

ほぼ全員、「アジフライ」を注文。
出来る間、地ビールを二杯もやってしまった。
温かいアジフライは美味しかった。掛けるものは、
ソース派と醤油派に分かれる。やっぱり、醤油でしょう。

午後は、市内を歩き東海館を見学し、松川を遡り、
二十七番札所・東林寺に到着。寺は各所をリフォームし
綺麗な寺になっていた。

つづく





9月15日(土)雨・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月15日(土)06時26分54秒

つづき

御石ヶ浜トンネルを無事抜けて、新宇佐美トンネルは旧道を歩いた。旧道は緑が多く静かで別天地。国道をバイパスし宇佐美浜に降りる。

風があるためか、浜は波があった。目を凝らすと、海には何やら点々と黒い影があった。サーファーだった。

平日にも関わらず人数は多い。
商売関係の方は、案外、水曜日は休みかも知れない。
白髪の何処かのオジサンが準備体操に余念がなかった。

その脇を今度は若い美女がやって来た。
一同、思わず注目し声を掛けた。
巡礼参加のオバサンは、水着の下はどうなっていると
わざわざ手を差し出して確認。（笑い）

平和な日本のいち風景でした。





9月14日(金)雨・20度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月14日(金)06時12分24秒

つづき

伊豆八十八札所巡礼は、既に11年、6周目に入った。
1周約550km。距離は正確に測ってないので、あくまで約。
現在は、GPSがあるので正確には測れる。

1周するに約2年掛かる。以前は、4月開始、2年後の3月終了
していたが、現在は2年ではなかなか結願(けちがん)出来ない。
理由は、高齢化(??!!)。歩行は遅く、出発時間も遅くなった。
高温化で夏の巡礼が出来なくなったもある。

富士市からの参加者がいるので、早朝発は設定出来ない。
以前は、裾野市役所5時の設定もあった。夏は気温が上がらない
早朝が歩き易いのだが・・・。

バス会社の時間管理が厳しくなったこともある。バスの度重なる
事故で、以前のように長時間運行が難しくなった。昔、終了後の温泉は
2時間入っていたが現在、温泉は入らない。背景には、バス代金が高
くなったこともある。

長くやっていると、いろいろある。寺も高齢化で11年前に
比べると、無住職寺が増えた。四国は無住職寺は一寺もない。伊豆は
南伊豆・中伊豆・西伊豆で無住職が多い。

地域の高齢化・人口減・過疎化の悪循環である。小さい寺が多く、住職がいなくなると、後釜が入ってこない。寺は最低でも檀家が100軒必要といわれる。檀家が少なくなり、やっていけないので入りようがないのだ。

中伊豆のある寺は、現金収入は法事のみ。それだけでは生活は厳しく、米・野菜・魚などは、檀家から頂いているという。住職は高齢で不在になると、また無住職寺が増える。

無住職寺は訪ねても張り合いがないものです。何年か後が杞憂ですね。

つづく





9月13日(木)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月13日(木)06時22分42秒

昨日は

9月度・伊豆八十八札所巡礼でした。

コースは、網代～26番・長谷寺～宇佐美～伊東マリンパーク（昼食）
伊東市・松川～27番・東林寺～小室山地先。天気は晴・風あり。参加は
26名。距離＝約16km。

7・8月は猛暑で休講した伊豆巡礼。

久しぶりに皆さんに会う。口々に「元気だった？」「猛暑の犠牲者は？」
「また、頑張ろう」だった。

6月度終了地の網代から歩く。新網代トンネルは歩道が悪いので海岸線
を行く。網代小学校横の善修院で長谷寺のご朱印をいただく。長谷寺は
現在、無住職。以前務めていたオババは高齢で無理になったのだろうか。

お勤めを済ませ、記念写真を撮りR135を伊東に向かう。宇佐美に抜ける
に

大きなトンネルが二つある。御石ヶ沢トンネルは、旧道が使えないので、中
を
歩く。

約500mのトンネルだが、騒音・埃・風圧・振動と厳しい。全員、ランプ
とマスクで歩行。無事に抜けてホットした。伊豆を歩いてみて分かるのは、

トンネルの歩道、横断歩道が全く整備されていない。歩行者を念頭にした設計ではないのだ。

特に横断歩道は重要。一日16km歩けば各所で道路を横断する。しかし、欲しい所に横断歩道がない。車が溢れる幹線国道の横断は危険極まりない。日本の行政の貧困は、こんな所にも表れている。

つづく





9月12日(水)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月12日(水)05時31分39秒

今日は

二か月ぶりの伊豆八十八札所巡礼です。涼しくなりやっとの再開です。

富士山では、キノコを少しいただいた。
アミダケとハナイグチ。
味噌汁でいただくと美味しいキノコ。

時期的には、まだ早かった。
雨が多かった今週末辺りがイイかも。
今後、各地でキノコが最盛期を迎える。

楽しみが増えますね。





9月11日(火)曇・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月11日(火)04時55分53秒

つづき

御殿庭から2352m峰に向かう。
辺りのカラマツは、既に薄っすら紅葉していた。
カラマツは温暖化で随分大きくなった。
いずれ林になるだろう。風が強く寒い。

ここは何回来てもイイところ。
何故だろう。
やっぱり、山が大きい。

いつも新鮮で感動。

宝永山第二火口の上部には、大きな水溝があった。
次第に大きくなり、第二火口は二分されそう。
最後の上りで2352m着と思いきや、いつもの道標がない。

西側のやや下に眼を移したら、写真のように根こそぎ持って
いかれ、転がっていた。
恐らく、先日の台風21号の風にやられたのであろう。

恐ろしい風。

どの位の風が吹いたのか興味がある。
閑空で60m。標高2352mだから、もっとか??
そういえば、登山道周辺の樹木も何本か倒れていた。

NO. 1, 2 = 飛ばされた道標

NO. 3 = 以前の道標

つづく





9月10日(月)雨・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月10日(月)05時48分47秒
先週

木曜日は、富士山・宝永山2352m峰でした。
このところ、悪天候が続き、この日は唯一の晴天日。
2352m峰は、宝永山の西肩の小ピーク。

標高差が丁度1000mあり、コースは変化に富み、
訓練登山としては、丁度いい山。
家から登山口まで車で約一時間。こんな山が身近にあると
本当に有難い。

また、ここは休日でも殆ど登山者を見ない。
ある意味、穴場的コース。静かな山登りを満喫出来る。
この日は、キノコも少し採った。

つづく



9月6日(木)晴・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月6日(木)05時48分21秒

今度は地震か。

震源地は、先日通過した苦小牧に近い。

震度6強は、強烈だろう。皆様の無事を願うばかりだ。

地震は山でも経験したことがある。

一度は燕山荘2F。

東沢から登山を終え、皆で一杯やっていた。

突然の揺れ。高山の2Fだから大きな揺れでなくても、
感じは凄い。結局、楽しみにしていたオーナーのホルン
演奏会も中止で残念だった。

二度目は、東北の栗駒山。この地方は太平洋で大きな地震が
しばしば起きる。

登頂を終え駐車場に戻って来た。まだ、お昼前と記憶する。

突然大きな揺れ。アサファルトの広い駐車場が、まるで水面の
波のように波打っていた。車ですぐ避難したが、道路は大きな
岩がゴロゴロ転がっていた。

橋は道路との境が広がって渡れなかった。死者も何人か出た。
栗駒は数年後も大きな地震があり、温泉が埋没し女将が長く
見つからなかったこともあった。

最高級に恐ろしいのが、岩登り中の地震で、昔、先輩が滝谷
を登攀中、遭ったという。周りは落石の嵐で、死を覚悟した
そうさ。

昨日同様、天災地変は防げないだけに、難しく怖いですね。



9月5日(水)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月5日(水)07時12分45秒

台風一過。まだ風がある。今回は風台風。
自動車がいとも簡単にひっくり返ってしまった。
局地的に相当の風が吹いたのだろう。(その後、
ニュースで室戸岬が55・3m、美波町で50m、
関空で58.1m!!!)

乗用車・トラックは、どの程度の風力・風速で
転がるのか。

有名な話で、冒険家・登山家だった植村直巳。
彼は1984年、冬のマッキンリー(デナリ)で遭難死した。
その原因が風といわれる。

マッキンリーは北極圏の山。冬は風速100mを越す風が
吹くという。
昨日の台風の風はどの程度だったか??瞬間的に40mくらいか。
100mが如何に凄い風か分かる。

人間は風速45mで飛ばされるという。以前、NHKで人工風で
実験をしていたが、確かに50m吹くと、どうにもならない。
それが何も支点がない山岳の稜線では、計り知れない。

かつて私も富士山頂・乗鞍岳で「匍匐前進(歩行)」・・・腹這いで
肘を使って前進・・・の経験がある。
モーレツな風で立ってられないのだ。山の風は怖い。下界も同様。
いや、雨も雷も気温も、自然の猛威は怖いですね。

つづく





9月4日(火)台風・22度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月4日(火)06時04分12秒

つづき

小秀山頂上には立派な小屋があった。
まだ、新しく綺麗だった。
二ノ沢上部にも小屋があった。

両方とも新しいから最近のモノと思うが、有難いことである。
小屋にもいろいろ思い出がある。イイのもあるが、ワルいのは
鮮烈な印象として残っている。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/223.pdf

2007年秋、甲斐駒黒戸尾根から甲斐駒～北沢峠をやった。
甲斐駒で北沢隊と合流し下山。北沢隊は昨夜、仙水小屋に泊まった。
だが、夕食が部屋が空いているのも関わらず、10月20日の寒い外で
食べさせられたと苦情があった。

その仙水小屋で休憩。登山道脇には清水がガンガン流れている。
が、飲む場合「連絡しろ」と看板があった??!!
ま、それはいい。見れば小屋に入る庭に「規制線」があった。

勝手に入るなという事の様だ。管理人が出て来て、女子が
トイレ拝借を願う。しかし駄目。北沢峠でやってくれという。
お金を払うといっても駄目。峠まで普通30分は掛かる。
何ということだ。

今度はビアを下さいといった。そうしたら、やっぱり駄目。
聞けば「ビアを売って、あんたが飲んで酔って転んで怪我を
したら、訴えられる」だった??!!

その後も、スッタモンダ。写真も撮るな。小屋土地に入るな
と言いたい放題。こんな小屋はある??!!
今まで、他にも問題のある小屋はあったが、そもそも山小屋は
国から土地を借りて営業している。駄目なら何故か理由を説明すべき。

山小屋は、遭難防止・救助・自然保護・登山者指導・便宜を図る
など様々な業務があるはず。当時、この小屋は食事がいいで有名
だったが、これでは話にならない。情けなくなりますね!!

つづく





9月3日(月)曇・24度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月3日(月)05時34分5秒

つづき

第三高原から一旦下り、再登すると小秀山頂上だった。
途中、あまり馴染みがない花があった。

頂上の展望は素晴らしかった。周りは低い山で遮るものがない。
あるとすれば、遥か北にそびえる御岳山のみ。
山肌から噴火を思い出させる蒸気が上がっていた。

まだ時間は早く8時前だった。無風快晴。ただ、2000m

ある山なので、ジッとしていると寒くなった。指先も寒さでかじかんだ。秋は確実に来ているようだ。

軽く食べて下山。下りは楽で速い。途中、兜岩で若い衆に会った。話をしたら、山は昨年から始めたという。今日は平日だが休みで山に来たという。その下でも、埼玉から来たオジサンに会った。三ノ沢から来たといった。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

9月2日(日)雨・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月2日(日)06時18分24秒

つづき

小秀山登山コースは、二ノ沢・三ノ沢がある。前者は沢から兜岩下部に達する。途中、80mの夫婦滝がある。物凄い急登で岩も多い。

後者は、長い樹林帯が続き、なかなか大変。一般的には二ノ沢～頂上～三ノ沢が利用される。まだ暗い中、ランプで出発。最初は沢筋に設けられた木道を延々と上る。よくこれだけのモノを作ったと感心。流石は森林組合??!!

沢が終わると物凄い急登。無理やり作った様な道が続く。夫婦滝の上も変わらなかった。途中、「カモシカ渡り」の岩稜がある。ただ、上りは特に問題ない。

程なく、三ノ沢コースと合流。兎に角、凄い上りだった。この先に兜岩の上りが待っていた。上部は平坦な地形が続く。伸びた笹に露がベッタリで太腿から下はグッシャリだった。

第一高原～第三高原に向かうと、遥か遠方に丸い頂上が見えた。左肩には、頂上小屋が確認できた。

つづく



9月1日(土)晴・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年9月1日(土)04時55分40秒

山を50年、

1800回上っていると、近場では新しく上る山はなくなる。何でもそうだが、常に新鮮な気持ちがないと山も長続きしない。同じ山なら、季節・ルート・上る形(スキー・沢・岩)・仲間(たまには単独)を変えたり工夫が必要。

しかし、そうはいつでも限界はある。やっぱり新しい上っていない山は魅力的だ。新しい経験・新しい発見・新しい感覚が長続きの秘訣・コツ・必須事項であろう。

やっぱり、深田日本百名山(あくまで深田が選出)クラスは魅力的で素晴らしい山が多い。二百名山クラスになると、決して悪くはないのだが、どうしても「重箱の隅をつつく」的だ。

そんな中、いい山に当たると嬉しくなってしまう。今回の山旅はどうであったか??報告を致します。

1. 小秀山(1982m) 長野・岐阜県境

コースは、比較的短時間の長野側と長い岐阜側がある。短縮コースは面白くないので、今回は岐阜側から上った。山名が良い。大秀山では、おこまがしい。

登山口の乙女キャンプ場はなかなかいい所だった。地元の森林組合が管理運営している。この地はトマトの産地。受付で売っていた。窓口のオジサンは、200-を100-にしてくれた。

つづく





8月31日(金)曇・24度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月31日(金)07時51分33秒

この時期、

北海道リベンジの予定だったが、またしても、悪天候で中止。
捲土重来。来年に持ち越された。

代案は、普段上れない山＝未踏峰シリーズで、岐阜・長野を歩いた。
1、＝小秀山（こひでやま・1982m）岐阜・長野の県境の山。
御岳山の南に位置する。最高級の展望で、周りには一切山は
ない。標高は、さほど高くはないが、コースが長く大変だった。

2、=大川入山（おおかわいりやま・1908m）中津川南の長野県南部の山。

ここも標高はないが、長いコースで大変。展望は最高級。頂上付近は、見事なクマザサで覆われている。

3、風越山（かざこしやま・1699m）上松町の風越山。中津川にも同名の山がある。峠なども同名のものが多い。無名で物珍しさで訪れたが、展望はなく山らしくない山でなかった。

4、御座山（おぐらやま・2112m）長野南部・南相木村の山。頂上は岩場で展望は最高級。9月中旬はキノコ山。1982年来の再訪だった。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

8月24日(金)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月24日(金)06時54分10秒

昨夜は

イイ雨が降って、ホット一息。
今朝は涼しい。少しづつ秋に移行だろう。

アジア大会は盛り上がっている。特に水泳は凄い。
池江をはじめ、十代の頑張りが目立つ。元々、水泳は
体が大人になる前が有利といわれる。

岩崎恭子も同じで「14歳」(なったばかり)だった。
現在の日本のスポーツ界は、全体的に若人が多く活躍。
ひと昔前では考えられなかった。国が力を入れている
ことが大きい。

では、登山界はどうだろうか。登山を始めアウトドアの
場合は「経験」がものをいう。若いだけでは、解決できない
問題が多い。

まだまだ、オジ・オバが踏ん張っている。ま、地味なスポーツ
の側面もあるし、時間もお金も掛かる。今年も昨年に続き
北海道遠征したが、時間・お金は掛かる。

そんな中、後輩の(山的に。学校・職場の意味でなく)

〇嬢は若い方だが、最近では数少ない本格的志向の登山者だ。上るルートは、殆どバリエーション。従って荷物は多く30kg前後。

そもそも、登山は小屋泊ではロクなものが出来ない。冬山をはじめ、バリエーションはテン泊。従って、荷物は多くなる。まして、岩がらみだと、ロープ・金物で+10kgになる。荷物が背負えないと、イイ山は絶対出来ない。

先日、記録をめくったら、昔、歩荷訓練で50kg背負ったとあった。それだけ厳しい山をやっていた（冬の仙丈～塩見など）のだろう。今は15kgで息が上がる。（笑い）

山は、年齢をかさねても楽しめるのはイイ。ただ、日和見登山だけでは淋しい。同時に若い方には大いに頑張ってもらいたい。陰ながら応援する次第です。





8月23日(木)晴・23度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月23日(木)06時23分47秒

畑を

始めて11年。

昨日は、サツマイモの紅はるかと落花生を試掘した。
今年はとにかく雨が少なく干ばつ気味。葉物は厳しい夏だった。

それでも、根菜は少しは良い。

サツマイモは早速蒸かした。まだ、ちょっと早い感じだったが、甘かった。

落花生は、大粒を作っているが、まあまあだった。

掘りたての落花生は柔らかくキレイ。

塩味をちょっと利かせて茹でれば、サイコーのビアの友。

今夜は雨期待デス・・・。



8月22日(水)晴・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月22日(水)06時12分5秒

今日は

8月度・伊豆一周ウォーキングでしたが、猛暑で体調を崩した方が多く、中止・延期になりました。大相撲のT親方が倒れたとのことで、残暑も注意です。

1972年の西丹沢豪雨時、前夜、私は箒沢山荘にいた。当時山荘は、現在の西丹沢自然教室の上の中川川（河内川）河原にあった。

山荘でオヤジさんのギターを聞いたり、飲んだりくつろいだ。当夜、山荘近くの河原にテントを張った。気分よく寝ていたが、夜半大雨になり、テント内に水が流れていた。

物凄い雨で異常を感じた。当時、山行はバイクだった。貧乏で車は持てなかった。朝方、兎に角荷物を纏めて山を下りた。余りの豪雨で途中、御殿場の先輩宅で休ませて貰った。

豪雨は続き、西丹沢が壊滅状態になったことを知ったのは数日後だった。私も危機一髪。箒沢山荘は流失。オジサンは何とか助かった・・・。

が、顛末だが記録を調べたが、その記録が、どうしても見つからなかった。





8月21日(火)曇・23度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月21日(火)05時16分42秒

S様

御無沙汰です。益々のご活躍、頼もしい限りです。
車・古道・海外と元気イッパイですね。たまには、
お出で下さい。＼(^o^)／

金曜日は、納涼祭で先週に続き、西丹沢・権現山でした。
標高差は600mなので、遅い時間に出かける場合、丁度
良いですね。

出発地の西丹沢自然教室に係りのオバサンがいたので会話。
1972年、ここに箒沢山荘があり、七夕豪雨で流された話を知らなかった。
また、管理人のオジサンは、ギターが上手くて弾き語りを
やってくれた事も知らなかった・・・。

1972年豪雨・・・この山レコに当時の貴重な写真がある。
しかし、この写真がよく残っていました！！
<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-602921.html>

上って行くと、先週なかった、タマゴダケがありました。
それも笠が開いていたので、この一週間で成長したようです。

このキノコは、猛毒の「ベニテングダケ」に似ているので、
恐れられますが、食感はエリンゲのようで、シャキシャキ
しています。特に笠は美味しいですね。

早々に下山し、テン場探し。しかし、有料サイトは混んでいて
五月蠅く、まるで街にいるよう。結局、トイレまで5分の
某所に決定。そこは、幕営禁止地域でない。

朝は、上の集落のオババ様が散歩でやって来て、世間話を
していった。とても、イイ感じのオババ様でした。





Re: 8月20日(月)晴・23度

[返信・引用](#)

投稿者: 鈴木@下田市 投稿日: 2018年8月21日(火)02時42分54秒

> [No. 3477\[元記事へ\]](#)

たかちゃんさんへのお返事です。

> 「食中毒」の可能性が大きいと思うが・・・

私は医学の知識はありませんが、経験からして、やはり食中毒だったのでは？ と思います。

まず、嘔吐されてますからね・・・。

体が異物に大して拒否反応を示し、体外に排除した反射現象と思います。

とにかくご帰還されて、よかったです。

8月20日(月)晴・23度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2018年8月19日(日)18時07分5秒

ここ2～3日、涼しく快適だった。

つづき

結局、登山道脇にうずくまっていた私に何処かのご婦人が声を掛けてくれた。事情を説明したら、新穂高の警備隊に連絡してくれた。警備隊の車が白出沢まで来てくれると言う。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/37.pdf

うずくまっていた場所から白出沢は通常30分。しかし、1時間半掛かって戻った。更に30分待ち警備隊の車に揺られた。警備隊詰め所に着いたが一向に状況は変わらない。ソファーに横になり回復を待った。

警備隊は高山市の病院に行った方が良いと勧めたが、戻るのが大変なので、今夜は車で過ごし経過を観察した。車で何とか一夜過ごし翌朝は車が運転できるまで回復した。

上高地に下山する3名を迎えに行く途中、昨夜の民宿に寄った。女将は「そんなことなら、来てくれれば良かったのに」といってくれたが、体がそうはいかなかった。

沢渡で3名を拾い帰静。結局、何故そんなことになった??、病名は??不明だった。警備隊員は熱中症といったが、元々、暑さには強いし、その後も暑さではなんでもない。

一番考えられるのは「食中毒」。ただ、それも3名は問題なかった。やっぱり、病気は難しいと思った。今回の問題は2011年。その後は全く問題ないを考えると、やっぱり「食中毒」の可能性が大きいと思うが・・・。



8月17日(金)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月17日(金)06時23分54秒

今日は涼しい。快適。

山の事故で怖いのは、怪我もあるが病気。
病気は、素人は分かり難いので、対処が出来ない。

以前、夏、飛騨沢から槍に上った。
四人だった。夜行は厳しいので、前日は新穂高の民宿に
泊まった。従って、夕食・朝食は、皆同じモノだった・・・。

三名は小屋泊、私はテント泊。小屋代をケチった訳ではない。
あくまで訓練だ。従って、皆より荷物は、少し多く重かった。
早朝、新穂高から出発。蒸し暑く汗が流れる。

林道から巻き道を上り、穂高牧場に出る。このとき既に体調が
おかしかった。どうにも普通に歩けない。頭がクラクラする。
平衡感覚がない。

とても歩ける状態でないので、牧場で荷物を減らし置いて行く。
右俣林道を進むが状況は変わらない。そのうち、気持ちが悪くなり
嘔吐した。

白出沢に着いた。しかし、これではとても槍は無理なので、
槍が初めての三名には先に行って貰う。私は状況を観察したが
回復傾向はなかった。とにかく歩けない。嘔吐が続き、もう
出るものがなくなり、黄色の胃液だけ出る。

平衡感覚がなく、フラフラする。右手を伸ばし山側に手を
着かないと歩けない。時間はドンドン経過する。登山道脇に
うずくまっているが他の登山者は、知らん顔だった。よっぽど
へりを頼もうかと思った。

月曜日につづく



8月16日(木)雨・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月16日(木)06時29分47秒

仲間の

友人が北穂高で登山中、肩の脱臼で大変だったようだ。幸い、北穂小屋で入れて貰い、何とか下山し、その後も登山が出来たようだ。

詳細は不明だが、推測では重荷を背負うとき、肩に予想外の負担が掛かり、外れたかも知れない。肩が外れた場合、柔道整体師など、慣れた方は入れることが出来る。今回は北穂小屋に慣れた方がいたようだ。

肩の脱臼は私も辛い思い出がある。2002年、N、K、私で黒部川・上の廊下に入った。

上の廊下は二回目だった。25年前、平の渡しの先代の船長は酒飲みで酒の臭いがプンプンしていた。今回の船長は、子息で当時12歳だった。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/563.pdf

1日目は順調だった。イワナを釣って食べたりした。事故は2日目に起きた。

ちょっとした深みで泳いだNの肩が外れた。Nは、元々肩に問題があった。本来は荷物を背負わずに泳げば良かったが、それを私が怠った。先に誰か渡り、荷物にザイルを結び、荷物に捕まって渡るが、正しいやり方。荷物を背負っての泳ぎは負担が大きい。

Nの「はずれたみたい」の報告で登山は中止。慣れた方は入れることが出来るが、素人ではどうにもならない。脱臼はモーレッツに痛い。救助は急がされる。谷が深くて携帯・無線は駄目。連絡に奥黒部ヒュッテに走る。ヒュッテまで、1.5H掛かった。

ヘリ救助を依頼し、再び現場に12時戻る。現場で面倒を見てくれて他山岳会の方に、「いまさっき(11時45分ころ)」ピックアップされたと報告をいただいた。

Nは富山中央病院で治療を受け、即、退院し大町に宿泊し、翌日合流。

肩脱臼は入れば問題はない。大きな怪我でなく、不幸中の幸いだった。



8月15日(水)曇・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月15日(水)08時29分32秒

富士宮

白糸の滝の東に「バイエルン・マイスター・ビール」という、地ビール屋さんがある。店は、

【ラガー・シュテファン】

ドイツ国、南ドイツ州ティーガンジー出身

1966/03/06 生まれ

ビール醸造・麦芽技能を修行ののちビール工場に勤務しながら
ヴァイヘンシュテファン大学を修学。

ドゥーメンズ技術学校(ミュンヘン)修学、優秀成績卒業。

卒業時において専門に基づく知識人として酒売ならびに飲料
において国家政府認定のビール、飲料職人・麦芽、酵母技術者
の資格習得ビール会社設立免許取得

さん、奥さん、姑さんさんがやっている。

ビアは数種類ある。黒と他を飲んだが、黒は美味しかった。
中グラス＝750ー。

ラガーさんは、日本語堪能でフレンドリー。奥様は美人で
姑さんは優しい。レストランで軽食もOK。手製のソーセージ
を頂いたが、美味しかったデス。





8月14日(火)曇・23度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2018年8月14日(火)06時43分35秒
通っている

魚屋さんに寄ったら、「イワガキ」があった。
大きいが、案外、安い。

春に能登に行って見たものは、巨大で1500ーだった。
今回は500ーほどだが、手のひら以上ある。

勿論、天然で熱海産という。
熱海でこんな凄いモノが採れるのか??!!

兎に角、購入していただいた。
美味しかった！！クセになりそうです。
これで、猛暑を乗り切れるかな！！



8月13日(月)曇・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月13日(月)06時41分27秒

土曜日は

西丹沢・権現山(1138m)でした。
実は西丹沢には、権現山が二つあります。

今回上った権現は、西沢の南。他方は、丹沢湖の西で
標高は1018m。同山域で同名は、ややっこしい。

標高差は、558mだから約2H。暑い暑いで家に籠っていると頭・体・気持ちがおカシクなるので、この程度が丁度良い。

しかも、この山は主稜線から外れているので、訪れる人が殆どなく静か。五月蠅い藪はなく、スッキリした一本上り。

お蔭でイイ汗を掻きました。暑い夏こそ、ガンガン汗を出したいモノですね。





9月10日(金)晴・25度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月10日(金)08時20分0秒

つづき

小屋の夕食は素晴らしかった。心がこもっているというか、手作りが多かった。

やっぱり女性のオーナーは違うと思った。フキミソは、春に何と10kg収穫し作ったという。

米も美味しかった。食前酒もあった。デザートも用意されていた。

レピーターが多いのが分かる様な気がした。また、トイレがウオシュレットにも驚いた。

これは紙を燃やしている事情もあるだろうが、嬉しい限りだった。

朝日小屋の朝食も5:00だった。有難い。外は涼しくて快適。天気は良い。

既に朝日岳に取り付いているパーティーがいた。

上るほどに展望が広がる。左手に剣が顔を出した。その右手、遙か後方は白山だろう。

登山道の右手に雷鳥の親子がいた。全部で七羽だった。好天に目撃は珍しい。

無事に大きくなって欲しいものだ。

辺りは雪解けのあとに白山小桜が満開だった。白山一華も凄かった。

ひと上りで朝日岳着。2001年、蓮華温泉からスキーでやったことを思い出した。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/996.pdf

当時、蓮華温泉宿泊は100名くらいだったが、朝日をやったのは、我々だけだった。

この時テント泊だったが、蓮華温泉とトイレの件でトラブルった。下記に報告がある。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/925.pdf

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/926.pdf

周りは、白山沙参（ハクサンシャジン）が多く美しかった。釣鐘人参の高山型という。

下ると柵海新道分岐。真っ直ぐ進めば、いずれ日本海・親不知に出る。

結局、柵海新道は、夏と春2回トレースした。右に曲がれば五輪尾根で蓮華温泉に至る。

五輪尾根は次第に暑くなり、実に長かった。幸い好天気で木道は滑らなかったが、雨が降ると木道は滑り怖い。

五輪尾根を下り切って、白高地沢鉄橋を渡り、上ったり下ったりで瀬戸川鉄橋に着いた。

瀬戸川から蓮華温泉まで標高差約250mの上りは地獄だった。暑い・長い・疲れたである。

蓮華温泉が見えた。予定より1H遅かった。すかさず生とスイカをいただいた。

待たせた小谷タクシーで猿倉に向かった。

キツイ3日間だったが、充実した山旅だった。



8月9日(木)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月9日(木)06時44分17秒

つづき

朝日小屋には、12:44着いた。白馬山荘発が5:31。約7H。遊びながら来た割には、まあまあの時間だった。中には15時過ぎの方もいる。

小屋は、赤い屋根の三角の建物だった。西に前朝日、東に朝日岳のコルにある。小屋前は広い草原で気持ちが良いところ。広場はテニ場にもなっている。

西は北又ダムからイブリ山を経由する登山道が伸びる。標高差は約1500m。結構、キツイ道だ。小屋前のベンチでビアをやる。ロング缶が800-。5本やってしまった。(笑い)ベンチには続々と一期一会の仲間が集まって盛り上がる。不思議なモノで、全く初対面だが、ツマミは続々と出るしお酒もたくさん来る。

年配の方も多し。私より1歳若い方もいた。15時ころ交流会に参戦した単独の方は、何と83歳だった。しかも兵庫から車を運転して来たという。毎年、ここに来るのが楽しみで、何年も通っているそうだ。翌日、五輪尾根を下ったが、あそこを毎年よく上るものだと、感心した次第です。

1974年の記録

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/998.pdf

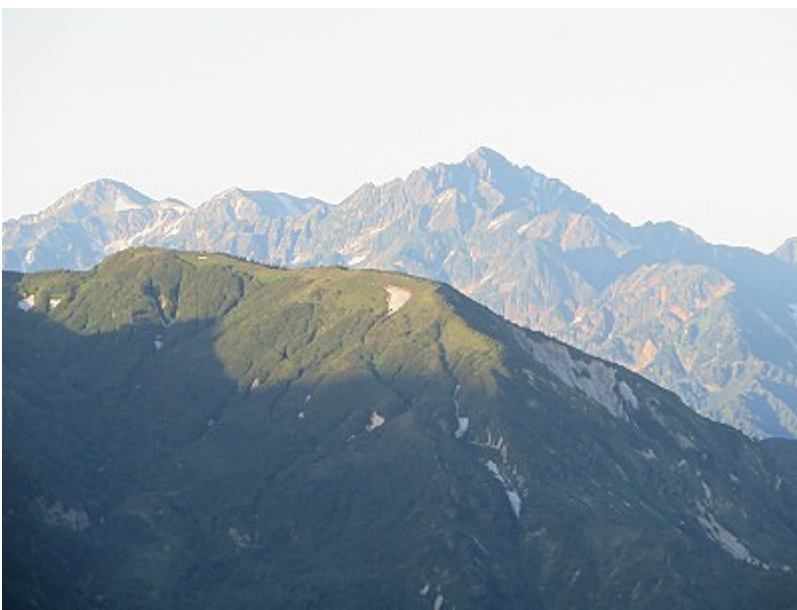
大いにやって小屋に戻る。そこで受付の清水ゆかりさんに一枚のコピーを渡した。

そのコピーは以下のものだった。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/984.pdf

清水さんは、コピーを読んで痛く感動した様子だった。44年前、実父が自然保護に燃え、その精神を受け継いだ人間が小屋を訪れてくれた……。小屋をやっていて、このような話は嬉しいことだと思った。

つづく



8月8日(水)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月8日(水)05時48分25秒

つづき

雪倉岳を下り朝日岳に向かう。赤男山のコルまで約6661mの下り。かなり急な下りだが、スキーは東面か西面か、どちらを下ったか記憶がない。

夏道はコルから赤男山西面を巻いて、朝日小屋に達する。

ただ、スキーは稜線を忠実に辿る。赤男山は急峻な山で、本当にここをスキーで上ったのかと思った。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/560.pdf

最低コルで大休憩。この辺りの花も凄い。朝日小屋からの縦走者も多い。このコースの場合、白馬からののが楽だろう。朝日からは厳しい。赤男山のトラバースは、上ったり下ったり、道も良くなく歩き難い。途中、小屋の関係者2名が木道の補修をしていた。一人はアジア系の方だった。

途中、清流が二箇所あった。小屋直前の流れで大汗を拭った。この清流はサイコーに気持ち良かった。小屋まで15分。朝日岳は今回で3回目だが、小屋に寄るのは初めてだった。

受付で先代(故人)の娘さんで、現在オーナーの清水ゆかりさんに会う。タレントみたいな名前が素晴らしい。実は今回、ゆかりさんに渡すものを持参した。1974年、初めて朝日岳に上り、親不知の縦走時、先代と因縁があったのだ。

つづく





8月7日(火)曇・24度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月7日(火)05時03分31秒

つづき

白馬山荘の朝食は5:00。最近の山小屋の朝食時間は早くなった。早出早着は登山の基本。この時間は、本当に有難い。トイレもサッと済ませ、5:31出発。天気はイイ。外は涼しい風が吹き快適。

白馬に上り三国境に下る。北面は南面とまた違う植生。三国境から柵池に下る方が多い。鉢ヶ岳は東面を巻く。ただ、スキーの場合は、稜線を忠実に詰める。巻き道は

雪解けの後で花が凄かった。ハクサンコザクラが沢山咲いていた。

巻き道が終わり、雪倉岳のコルには避難小屋がある。前回、スキーの時、ここに泊まった。懐かしかった。ドアを開くと、何処かの方が出発支度をしていた。周りは、カライトソウが目立った。赤い花が少ない山岳で見事にキレイ。

雪倉岳に上る。振り返れば白馬は遠くなった。サイコーの天気で夏山三昧。頂上には何人か休んでいた。東面を覗く。ここも、かつて蓮華温泉からスキーで来た。瀬戸川から非常に厳しい上り。3月の硬雪で滑落した方を目撃した。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page126.html

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

8月6日(月)晴・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月6日(月)06時14分1秒
つづき

バテバテで白馬山荘着。調べたら大雪渓は、2005年5月、山スキーで白馬～親不知の、いわゆる「日本海オートルート」以来だった。

厳しいのは理由があった。標高差が約1600mある。これは甲斐駒・黒戸尾根の七丈小屋まで(約1580m)とほぼ同じ。加えて、モーレツな暑さ・熱さ・温さである。

時間は約6時間。前述のスキーは、約5時間45分。年齢・夏を考えれば、まあまあの時間だった。遅い方は8時間かかるようだ。

久しぶりの山荘だった。宿泊申し込みは、あらかじめ宿泊者名簿を記入する。着替えてサッパリしサロンに向かう。以前、ピアノがあったと記憶するが、現在はエレクトーンだった。演奏を聞きたかったが、何もなかった。

さっそくビアを頂く。中ビンが一杯800円。生だったが疲れているせいかあまり甘くなかった。夕食はハンバーグで、変わり映えはなかった。Mが元会員の下土狩のIがいたという。聞けば単独で唐松から来たらしい。膝が悪くて歩けないが退会理由だったが、改善したのだろうか。

つづく

昨日、TVで弁護士で登山家の福永勝也さんのエベレスト登山をやっていた。750万掛かったそうだ。実力も大したものですね。

<https://twitter.com/fukunagakatsuya>

<https://search.yahoo.co.jp/video/search?rkf=2&ei=UTF-8&dd=1&p=%E3%82%A8%E3%83%99%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%83%88+%E7%A6%8F%E6%B0%B8%E6%B4%BB%E4%B9%9F>





[返信・引用](#)
[編集済](#)

8月3日(金)晴・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年8月3日(金)06時36分44秒

31～2は、

大雪渓～白馬～雪倉～朝日～蓮華でした。
天気は3日間晴れ、カミナリなし。参加は5名。

31日、4時長泉発。猿倉から出発。
大雪渓は久しぶり。白馬尻上から雪渓。
雪渓上は寒いくらい。雪は硬いので簡易アイゼンを使用。

雪渓上はサクサクと快適だった。
雪渓は、ねぶか平下で終了。ここから暑い。半端でなかった。
寝不足と重荷で足は重い。久しぶりにバテバテだった。
何回かスキーで上った大雪渓だが、夏は意外と厳しい。

ただ、花が素晴らしく救われる。
村営小屋から頑張って山荘着。宿泊客は多い。
知り合いに頼み個室を取った。

夜は元気者が星座・火星観察を楽しんだようだ。
こちらは早々と就寝でした。

つづく



7月31日(火)晴・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月30日(月)17時14分57秒

人は生涯

どの位、山に上るのだろうか??

先日、今西錦司が生涯1500余座山上ったと書いた。

一口に1500座というが、例えば北海道=100座、九州=100座、四国=100座上って、本州が1200座である。

考えられない、数である。

先般、私も登山回数(あくまで回数である)が1800回に達した。

では、座数はどうかになるが、恐らく、2~300いけば、イイほうだろう。

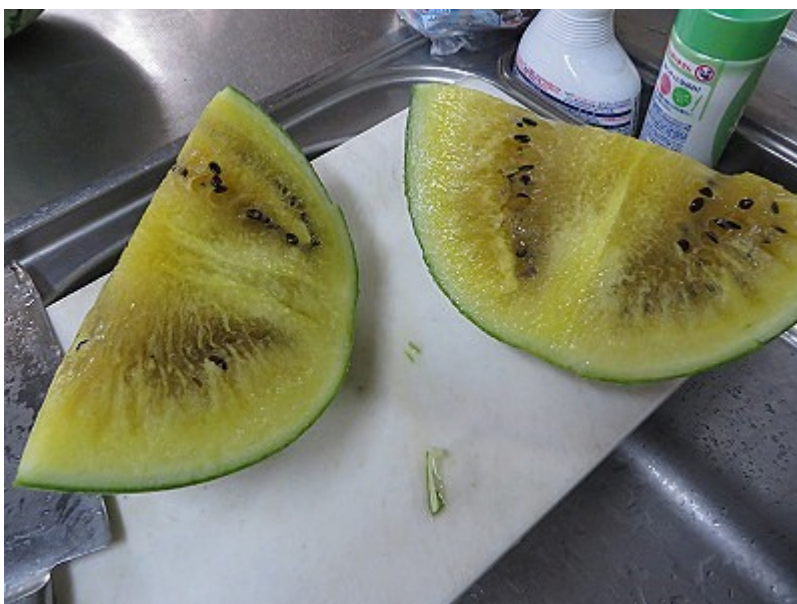
そこで今回、非常に重労働だったが、取りあえず、1965年から1972年を調べてみた。

表では、登山回数が169回で座数は、102座だった。

まだ最初だから、登山回数と座数の差は少し。今後は座数が伸びないだろう。

酷暑で野外活動がしにくい季節で、データ整理がはかどる皮肉である。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page006-1.html





7月30日(月)晴・25度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月30日(月)05時43分31秒

つづき

新宿の石井山専でグッズを物色。
欲しいものは、いろいろあったが、パンツに絞る。

モンベルコーナーでヤッケ下とパンツを購入。
値段は、なかなかイイ。
しかも、モンベル製品は、全てのものが、「割引対象外」。

勿論、石井はある程度、マージンを取っているだろう。

ただ、ネットを見ると同価格だった。

サイズのタグを見ると「L-S (Short)」になっている。
私的には、初めて見る表示だった。

要するに、短足のオジサン用のサイズだった。
今まで、ウエストサイズに合わせると、裾が長くてどうにもならない。
直すには手間が掛かるし、どにもスッキリしない。

そこで、あらかじめ裾を短めに作った・・・。
痒いところに手が届く・・・嬉しい配慮ではないか。
流石はモンベル。外国メーカーでは、そうはいかない。

モンベルは、以前もビックリした。
問い合わせコーナーが、正月の三が日営業していた。
商売はこれではなくっちゃである。

モンベルが繁盛している訳は、そんなところにあるのかな。





7月27日(金)晴・23度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月27日(金)05時48分58秒

武蔵野館で

山岳映画を堪能し、近くの「ライオン」で昼食。
店は繁盛していた。美味しいビアを二杯頂いた。

午後は山グッズの買い出しで、高田馬場「カモシカスポーツ」に行くつもりだったが、ブラブラ歩いて行くと、右手に「石井山専」という店があった。折角だから寄ってみた。

ロゴは手書きだった。ビルの8Fを全て使い、中に「モンベル」も

入っていた。さすがにトーキョーの専門店である。品数が三島・沼津とは違い選択肢は豊富。

意外だったのが、店員との雑談で、先ほど観て来た映画を知らなかった。この事実は、松本の「K」の店員も同様に知らなかった。

山の店の従業員なら、もっとアンテナが高いと思ったがそうでもなかった。はたまた、静岡からわざわざ観に行く我々がオカシイのか??!!

つづく





[返信・引用](#)

[編集済](#)

7月26日(木)雨・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月26日(木)06時14分29秒

恵みの雨です。野菜が大よろこび！！

昨日は、新宿の武蔵野館で、話題の山岳映画「クレージー・フォー・マウンテン」を観ました。

東京は数年振り、新宿に至っては、何十年振りの「お上りさん」4名だったので車で向かった。渋滞は、ややあったが、大きな問題はなく到着。ナビが有難い。

水曜日は、サービスディで料金は、通常1800ーが1000ーだった。その為か、やや混んでした。さすがに、オジ・オバが多い。ロビーから上映室に入る際、係りの男性が、いろいろ心得を説明したのには驚いた。こちらでは、まずそんなことはないが、トーキョーは何か条例でもあるのかしら??

室は小さくなく、200席くらいだろうか。座席の傾斜も余りない。スクリーンは、巨大なものでないが、小さくもない。映画が始まった。

映画は、ドキュメンタリー調かと思ったが、そうでなく、人類が如何に進歩・発展し、それが山・登山とどのように関わって来たかの説明調のものだった。

ギンギンのドキュメントとだけ思っていただけに、最後はやや退屈だった。ただ、説明調の字幕の語彙は豊富で素晴らしいモノだった。私的には、

記録映画で良かったのですが・・・。



7月24日(火)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月24日(火)06時45分16秒

昨日のつづき

ようやく頂上着。黒岳は1800m近い高山だ。展望台で昼食。富士山は雲の中。全身汗まみれで全部着替えた。

オジ・オバが4名昼食中。御坂峠から来たようだ。冷ラ（冷やしラーメン）とビアで一息。休憩中は暑くない。

ただ、虫が顔に五月蠅かった。仲間が持っていたハッカの北海道で売っているスプレーをかましたら、効果はバツグンだった。

下山は、すずらん峠の一般道が長いので、西尾根をダイレクトに下る。藪は全くなく快適に下れた。林道のノリ面も問題なかった

釈迦登山口までブラブラ下る。クワガタをまた見つけ、タマゴダケも1本追加した。産直で名物のコンニャクとブルーベリーを購入し帰途についた。

しかし、夏とはいえ、暑い山は大変ですね～。





7月23日(月)晴・25度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月23日(月)05時59分19秒

土曜日は御坂・釈迦ヶ岳～黒岳でした。

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・写真 TG

山行NO NO. 1796

日時 2018.07.21(土) 無風・快晴・高温

山域 御坂・釈迦ヶ岳(1641m)～黒岳(1792.7m) 西尾

根下降

コース 釈迦ヶ登山口8:15ーコル9:00ー釈迦ヶ岳9:25ーど

んべえ峠

10:20-黒岳 11:27~12:15-西尾根下降-林道 13:02
-登山口 13:43

標高差 上り 釈迦ヶ登山口約1100m~釈迦ヶ岳1641m) = 約
541m

どんべえ峠約1450m~黒岳1793m = 約343m

累計標高差 = 884m

下り 黒岳1793m~約1100m = 約693m

参加者 GT, KH, MM, HT = 4名

猛暑で厳しい山だった

猛暑だったが、久しぶりに釈迦~黒岳に向かった。上芦川の地産センター
でトイレ。綺麗なトイレだった。上芦川の標高は1000m近いが、
朝からモーレツに暑かった。

早くもタマゴダケ採取の車があった登山口から出発。汗が噴き出る。
途中でタマゴダケ1ヶとクワガタを発見。クワガタは逃がした。

簡単にコル着。少し風があった。花崗岩の岩っぽい尾根を上る。

荒れてなく歩き易い。ウスユキソウを愛でながら頂上着。

雲が湧いて富士は見えなかった。

どんべえ峠に向かう。ここの尾根道も歩き易くキレイ。美しいコナラ林が
続く。

(オオナラ=ミズナラ) 花は少ない。峠には車が1台あった。

黒岳の上りは、キレイな林が続き気持ち良いが、いかんせん暑かった。

大した標高差ではないが大変。

やっぱり暑さは大敵だ。

アサギマダラが飛んでいた。誰かが「頂上は、まだダラ」といって大笑い。

返す言葉は「もうじきダラ」だった。

つづく



7月20日(金)晴・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月20日(金)06時05分12秒
モロコシが

美味しい季節。例年、忍野のWさんの店で購入。
忍野は標高が約900m。昼暑くて、夜は涼しい。

そんな環境で、美味しいモロコシが出来る。
価格は、やや小ぶりが120ー、大は150ー。

それでも、この辺りのスーパーより安い。
しかも、夜露がまだ光っている朝獲り。

いつも20本購入し、周りに配ったり、もいで
冷凍で保存する。

モロコシが美味しい季節ですね。





7月19日(木)晴・24度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月19日(木)06時17分4秒

仲間が

再度、三ツ峠を目指したら、先日、咲いていなかった「レンゲショウマ」が咲いていた。

先日、訪れたのは14日(土)。それから、わずか4日。写真家の白籬史朗が、「山の花は、毎日違う」といったが、正にその通りであった。

白籬史朗

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%99%BD%E7%B1%8F%E5%8F%B2%E6%9C%97>

「レンゲショウマ」は、イイ花です。
例年、7月末開花ですが、今年は、やっぱり早いですね。

今後が楽しみデス。





7月18日(水)晴・24度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月18日(水)05時44分21秒

先日

三ッ峠山に上った。
この時期、花がなかなか良かった。

カイツウロ・クガイソウ・サラシナショウマ・クルマユリ・
ヤマオダマキ・シモツケなどなど。

レンゲショウマは、まだまだ。ツボミ状態ですね。



7月17日(火)晴・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月17日(火)04時33分28秒

15日

労山県連主催の「山筋（やまきん）ゴーゴー体操の講習会が沼津特別支援体育館でありました。

「山筋・・・」は、
file:///C:/Users/takanori%20gotou/AppData/Local/Microsoft/Windows/INetCache/IE/E60H303B/toshi07_07miyamoto.pdf

この体操は、労山の石田良恵氏が、「いつまでも山に上れる筋肉を維持・作る」を目的に考案した体操で、中高年に適している。

何でも「山に上っていても」落ちる筋肉があるそうで、それらを補助するに最適な体操という。

体育館は蒸し風呂状態で、座学1H、体操1.5Hは地獄でしたが、登山以外の筋肉の負担が結構あり、有効な体操と実感できました。

テレビを観ながら気楽に行うストレッチとして良いでしょう。





7月13日(金)晴・24度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月13日(金)08時15分23秒

パソコンは、
結局、ルーターのジャックが外れていました。(笑い)

昨日、某所で「タマゴダケ」マアマアの量、ゲットしました。
「タマゴダケ」は、早い時期に出るようで、今が旬とのことでした。

油炒めが美味しい食べ方です。



7月13日(金)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月13日(金)06時00分55秒

13日の金曜日か??!!

そんな訳でもないと思いますが、朝、メインのパソコンが「ネットワークが未接続」のメッセージ。

サブ・パソコンから発信です。

何年かに1回、こんなことがありますね。

調べてみます。

7月12日(木)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月12日(木)05時41分44秒

駒ヶ岳つづき

ガラガラの道を上る。

真っ直ぐなので効率は良い。

霧の切れ間から大沼が見えた。大きな湖だった。

噴火で川が堰き止められ出来たのだろうか。

噴火と言え、この山を大沼から見た綺麗な写真があるが、どう見ても現在の姿は半分じゃないかと思ってしまう。

つまり、富士山とか羊蹄山とかの姿で、昔は円錐形ではなかったのか。

それがあつた時、大噴火で半分飛んでしまった??!!

従つて、吹っ飛ぶ前、標高は倍の2000mあつた??!!

そんな仮説を想像しました。

簡単に9合目に着いた。あれれ、いやに早い。

というか、この山は現在、頂上は「一般の輩は」上つては駄目らしい。

そんな看板があつた。では、上つてイイのは誰??

凄い霧で頂上が何処か分からない。取りあえずロープに従つて進む。

やたら「亀裂に注意」とある。ロープ内の登山道からは意味が分からなかつた。

やがて大きな噴火口に出た。看板には昭和4年の大噴火で出来たとある。

富士山の頂上火口まではいかないが、可成り大きい。

強風で霧が飛ばされ後ろに頂上の溶岩ドームらしきものが見えた。

このまま下山では面白くないので、ロープ外をそちらに向かう。

そこで、先ほどの「亀裂」の意味が分かった。
いたるところに、噴火時出来た、長く深い火口亀裂があった。
覗くと、丁度人間が入るくらいの幅で、深さは確認できないほどだった。
これでは、落ちたら大変だ。雪が降ったらヒドンクレバスみたいで怖いだろう。
亀裂を避けながら、溶岩ドームに向かった。

つづく





7月11日(水)晴・23度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月11日(水)05時58分35秒

今日は、7月度伊豆巡礼でしたが、猛暑で延期になりました。

北海道日記・4

山行NO NO. 1802-4

日時 2018.07.03(火)曇りのち雨

山域 北海道・渡島半島(大沼)・駒ヶ岳(1131m)

コース 赤井川登山口9:20-昭和4年大噴火口10:27-頂上溶岩ドーム・最高到達点106

0m-昼食-登山口14:30-青函連絡船

標高差 上り 赤井川登山口約485m~最高到達点約1060m=575m

下り

//

芦別岳を下山。雨はザンザン降りになった。例えば、明日晴れても、幌尻の減水は2~3日必要。今回は潔く、北海道から撤退を決定。捲土重来を期す。大洗フェリーをキャンセルし、青函連絡船を予約する。

ただし、おめおめ撤退は出来ない。道南の気になる山を上りたい。本来、狩場山だったが、道西で時間が掛かる。通過道の近くが良い。結局、渡島半島・大沼の駒ヶ岳に決定。

この山は、大沼の向こうにスッキリ聳える秀麗な山。一度は上りたい山だ。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93%E9%A7%92%E3%83%>

[B6%E5%B2%B3](#)

赤井川登山口から上る。看板が面白かった。
最高地点＝馬の背まで、登山期間＝6月1日～10月31日まで、
登山出来る時間＝9：00～15：00、とあった。

要するに、頂上溶岩ドームは、上ってはいけない。期間は、余り守られないだろう。
時間も早朝登山の方もいるだろう。分からないのは終時間が15：00とは、ちと早い。

ゲートが閉まるのか。それなら、理由を明記したほうが良い。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

7月10日(火)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月10日(火)06時14分41秒

北海道日記・3

山行NO NO. 1802-3
日時 2018.07.02(月)曇りのち雨
山域 北海道・芦別岳(1726m)
コース 山部貯水池登山口7:10-鶯谷(覚太郎コース分岐)9:10
-半面山9:45-池塘-雲峰山-雪溪-芦別岳11:04-
雲峰山(昼食)
-半面山-登山口14:07
標高差 上り 登山口約325m~芦別岳1726m=約1401m
下り //

雪溪を越えて鋭峰に上る

北海道には、「深田百名山」が9峰ある。しかし、昨年上った、夕張岳(1668m)も芦別岳も百名山ではない。私は53年・1800回登山をしているが、深田百名山はそれほど興味はないし、全て上っていない。だが、夕張岳も芦別岳もイイ山だ。深田は選定に辺り、大いに悩んだだろうが、そもそも、北海道で9峰は無理がある。百名山コレクターが、仮にこの両峰を上っていなかったら、大きな忘れ物をした、ということだろう。

天気は曇りだった。貯水池駐車場から登山。宮城N Oの単独の67歳の方と交流。

労山の盛岡山友会の方だった。単独で北海道を長期で上っているようだ。動物除けの鉄製の扉を開けて上り出す。湿気が酷く、モーレツに暑く、汗が滴り落ちる。鶯谷まで2H50のコースだったが、2Hで上った。ここで大休止。

ここから半面山は、綺麗な岳樺林が続いた。

右手から涼しい風が渡って来た。目を凝らすと、ガスの合間に雪溪が見えた。

渡る風が涼しいのは、このためだった。

反面山と雲峰山のコルには池塘が広がっていた。

水芭蕉が咲いていた。

仰げば、芦別山が雲間に確認出来た。幾つもの雪溪が認められた。

そういえば昨日、とよめか荘で、地元のガイドと思しき方が、「雪溪がある」というていた。万が一があるので、今回、簡易アイゼンは用意した。池塘を越えると、いよいよ花が出て来た。

中でも、エゾイチゲ・エゾキンバイ・オオバキスミレ。シラネアオイは素晴らしかった。やっぱり、天候のリスクを負わないと、イイ花は見られない。

上からガイド登山の方、5～6名降りて来た。

ガイドは、地元も方のような。肩からザイルを下げていた。

<http://www.nekoyanagiyama.com/>

現在は、便利な世の中で、一人＝5000程度でガイドを引き受けてくれるようだ。

雲峰山を越えると芦別岳が迫って来た。

雪溪を抱えた立派な山だった。ここでも上からガイド登山のオバサマ方が降りて来た。

去年の夕張岳の話をしたら、「明日雨でも、絶対に行く」と頼もしい宣言だった。ガイドに花の名称を確認した。フレンドリーな方だった。

頂上に迫る。

下の雪溪は急だが大きなバケツ（踏み跡）があり問題なし。

上の雪溪は、やはりかなり急だが、脇の草付きを上った。

ここは積雪期は厳しい山と予想出来た。

岩場を越えて岩の頂上に立った。何も遮るものが無い絶頂だった。

北・西面は、まだまだ雪が多かった。

本州なら、3000m級の山だろう。

コースタイムは5 Hだったが、4 H掛からなかった。風が強く寒いので即、下山。盛岡の方が上って来た。聞けば、私より若かった。雲峰山で昼食。何故かビアを忘れた。

下りも花を楽しんで行く。
反面山辺りで、また雨がパラパラして来た。台風も来ているので、明日からも、好天は望めそうもない。
鶯谷から更に下ると、先ほどのオバサマ方がまだいた。
商売とはいえ、ガイドも大変である。

貯水池に降りて、公園で装備を洗った。
明日からの行動を考えた。好天が来れば、幌尻に戻りたかったが、増々悪くなるだろう。
今回は幌尻は諦め、本州に向かうことを決定。本州は少しはイイだろう。その為に大洗のフェリーはキャンセルし、代わりに青函フェリーを予約する必要がある。
ただ、本州に渡る前、少し気になる山も上りたかった。
何処にするか??気になる山は、道南の北海道(大沼)・駒ヶ岳(1131m)。
ここは、見事に秀麗な山だった。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

7月9日(月)晴・23度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2018年7月9日(月)05時42分27秒

北海道日記・2

7月1日(日)大雨・幌尻岳(額平川途中まで)

昨夜は、「とよぬか荘」泊。廃校跡。一泊二食＝4200ー、素泊り＝3000ー、大きな風呂あり、寝床は簡易ベット、夕食は二種類。野菜炒めとマトン焼肉。空いていれば、当日でもOK。全体的に親切。ただ、若い女性の係りは、天気予報を把握していなく、やや情報サービスに欠けていた。

朝起きたら雨だった。今夏、幌尻岳はこの日が山開き。小屋も同じ。登山

者は我々と単独の兵庫のオジサンとツアー客10名のみ。バスは3時発。前日、雨の場合、バスが出ない時があると「脅かされたが」良かった。林道を1時間走り、第二ゲート着。ここから登山開始になる。

約3H歩き林道終点着。本来はもう少し行けるが、今春、終点付近の橋が流されここから再出発。最初から渡渉。これまでの雨と当日の大雨でかなりの増水。結局、小屋に向かったのは、小屋管理人と我々、兵庫の方のみ。ツアーは、ここで退却。

1H程、右岸を進むと、本格的な渡渉となった。川は更に増水し股下まで浸かる。小屋番も「水が多い」と言った。何回か渡渉をして、アルミの橋を渡った。この上が厳しかった。ちょっとしたヘツリを終えた上が最悪だった。

小屋番は、太く長い棒を巧みに使い渡り切った。この流れだとストックはオモチャだ。余りの増水で危険を感じ、ザイルを出し、対岸の小屋番に投げた。ザイルで兵庫の方をやっと渡した。オジサンは身長がないので、胸下まで浸かり、途中、危ないバランスだった。ザイルがなかったら、流されていただろう。

小屋番は、「帰るなら、ここしかない」と、冷たく言った。(笑い)小屋まで約1H、まだ数回渡渉があると言う。去年はここで3名流され亡くなっている。我々だけなら行けないこともなかったが、兵庫の方を見捨てることは出来ない。また、無理も出来ない。ここで断念し小屋番と分かれ下山。下りは、いくらか楽だった。

無事、林道着。ザンザン降りの中、長い歩きで第二ゲート。ここには10畳ほどのプレハブがある。ドアを開けたら、ツアーの方がバスを待っていた。しばし交流。

バスで再び「とよぬか荘」着。ストーブをガンガン炊いて貰い、装備を乾燥させた。

これで2年連続で幌尻は敗退。ま、長い山人生では、こんなこともある。花に拘らなければ、昨年同様、天気が安定する8月がお勧めですね。



7月8日(日)曇・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月8日(日)05時21分25秒

北海道日記

6月30日(土)霧・アポイ岳(810m)標高差=740m

ビジターセンター駐車場から6:23出発。雨は降っていないが、山は深い霧。

津軽海峡半ばまで晴れていたが、北海道は駄目だった。

苫小牧からここまで陸路147kmは長い。

道内の若い衆、4名がやって来た。トイレはウォシュレット完備。

感じのいい自然林を上る。避難小屋まで、概ねトラバース。

小屋は立派で宿泊も出来る。ただ、トイレはない。あるのは携帯トイレが使えるブースだけ。

この件は、下山時、地元の関係者と会った時、話をした。

1. 携帯トイレは、ビジターで販売だが、早朝は閉まっているので購入出来ない。

2. そもそも、ブースのPRが全くないので、購入する方は少ない。

3. 近くのコンビニ・商店で携帯を販売した方が良い。など。

関係者は善処します、とのこと。避難小屋から急登が始まる。

岩混じりに尾根をグングン上る。花は春花は既に終わり。現在、端境期で夏花に移行中。一番目立ったのはキンロバイだった。8:37頂上着。

小さな祠があった。相変わらずの深い霧で展望はなし。

下山は、お花畑があるという「幌満」に下る。20分程で着いた。

春は「ヒダカソウ」が見られるらしいが、現在は少ないらしい。

原因は盗掘とハイマツの侵入と看板にあった。

珍しい花は、エゾルリムラサキだった。本土のミヤマムラサキに似ていた。ほか、アポイ固有種の、エゾコウゾリナなど。ここからトラバースで分岐に

戻る。

オジサンが2・3名やって来た。皆さん、花の情報を聞いてくる。

小屋に戻り小食。ラーメンとビアを頂いた。下から沢山上来る。

中には随分軽装で、サンダルみたいな方もいた。観光者だろう。

11:08駐車場着。次の目的地、幌尻に向かう。



7月7日(土)晴・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年7月7日(土)08時57分57秒

6月28日～7月6日

まで、2018・北海道ツアーでした。結果は、雨・雨・雨
雨でウンザリでした。今年は梅雨空けが早く、梅雨前線が北上し
北海道付近に停滞。そこに台風6号が絡み、最悪の天気だった。

6月30日(土)＝アポイ岳(910m)・・・ヒダカソウは、既に遅かっ
た。代わりにキンロバイ・エゾルリムラサキが良かった。

7月1日(日)＝幌尻岳・・・この日が幌尻山荘開き。額平川(ぬかびら)
は増水していた。

ツアー登山約10名は断念。小屋番と一緒に渡渉。しかし、段々
厳しくなる。四ノ沢上部で胸までの水に危険を感じ断念。幌尻は2年連続で
敗退。

7月2日(月)＝芦別岳(1726m)標高差は1401m。花はサイコー
だった。エゾキンバイ・エゾイチゲなど。頂上直下に雪渓二箇所。残雪期は
厳しい山。岩の絶頂は凄い展望。深田百名山ではないが、むしろ静かでイイ
じゃないか。

7月3日(火)＝大沼・駒ヶ岳(1131m)

天候回復が望めず、青函で本土に向かう。途中、気になる山に寄る。秀麗な
山。昭和4年噴火の大火口を見る。また、平原にクレータが多く注意が必要。
落ちれば脱出は困難。頂上は一般者は上れないが向かった。踏み跡は無かつ
た。

頂上溶岩ドームは、最後の部分が厳しくザイルが欲しい。事故は避けたく直
下で下山。イワブクロが凄い。

7月4日(水)＝下北・縫道石山(ぬいどういしやま・626m)

下北の怪峰・縫道石山に向かう。

アプローチが長い。途中、仏ヶ浦を遠望。しかし、登山口で雨、断念。

7月5日(木)＝北上・五葉山(1351m)

黒岩コースを上る。歩かれていなく、笹が膝まで伸びる。大沢コースと合流
するとモーレツな風。岩場で苦勞する。

頂上まで兎に角長い。ただ、シャクナゲは凄く、延々と続く。
しかも見ごろの満開。天城のような大木でなく、大きな盆栽風なシャクナゲ。
これは風が強いからだろう。兎に角、今まで見たことが無いシャクナゲ群に
は感動・感激。

7月6日（金）＝もう1峰の案はあったが、相変わらずの悪天候。それなりに
頑張ったので帰静。まだまだ、未踏の山は多い。





6月28日(木)曇・22度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月28日(木)06時16分12秒

昨日は

6月度・伊豆一周ウォーキングでした。コースは、伊豆高原駅～八幡野港～浮山温泉郷～伊豆大川（昼食）～伊豆熱川～片瀬白田駅。天気は晴、風あり。距離＝約18Km。参加は17名。

前回最終の対島の滝（たじま）入り口から出発。天気は良かった。風が強く有難い。八幡野港から浮山温泉郷に抜ける。ここは私有地なので静かに進行。

温泉郷を抜けて旧道に上がる。旧道は静か。赤沢温泉を俯瞰。海が広がる。途中、「ぼなき石」があった。江戸城築城に使う石だったが、運ぶことが出来ず、放置されたらしい。このような巨石は周辺に幾つかある。

旧道を延々と歩き、伊豆北川（ほっかわ）に下る。標高差約50m。北川には有名な、波打ち際の露天風呂がある。ただ、平日昼間はお休み。ベンチで昼食。風が強かった。午後は、再び旧道に上がる。途中、「ミカン狩り」を楽しむ。このミカンは、美味しかった。

再び伊豆熱川に下る。駅前の足湯を楽しむ。2歳の女の子が遊んでいて皆と入っていたら、帰るのがイヤとダダをこねていた。熱川は名の通りあちこちに温泉が噴き出ている。バナナ園も有名。

浜に出て海岸を歩く。砂浜が気持ち良かった。片瀬白田駅まで歩き終了。
暑く大変だったが、大汗はそれなりに気持ち良いウォーキングでした。



6月27日(水)(曇・22度)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月27日(水)05時07分41秒

今日は、

6月度・伊豆一周ウォーキングです。コースは、伊豆高原駅～八幡野港～浮島温泉郷～旧道～伊豆大川～伊豆北川（ほっかわ）～伊豆熱川～片瀬白川、辺りまで。約20km。天気は曇りですね。





6月26日(火)晴・18度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月26日(火)06時02分7秒
高名な登山家

今西錦司氏（故人）は、

<http://www.yomiuri.co.jp/local/gifu/feature/C0029771/20170618-OYTAT50027.html>

登山回数でないが、登山した山は、1552座という。
カウントの方法不明だが、ヒマラヤから低山まで、
山・岳の名前がつけば、カウントしただろう。

日本には一体、どの位山があるのだろうか??
2万5千図掲載の山は、15000座。（16667座）
という。

<http://www.jac.or.jp/oyako/b50302010.html>

それから考えれば、1552座は一割程度で、それ程多い
と思えない。しかし、多くの方の場合、近郊の山は何回も
上っているので、登山山岳数は、それ程多くはないだろう。

私は53年・1800回登山だが、現在、地域登山を纏めて
いるので、今年中には、どの程度の数が判明する。恐らく、
500座も上っていないのではないかな。

それを考えると、1552座は偉大な数字ですね。



6月25日(月)曇・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月25日(月)05時46分19秒

先週

金曜日は、梅雨の晴れ間を縫って、訓練で越前岳・杓子尾根（西尾根・勢子辻コース）でした。

この登山で、記録が残る生涯登山回数が、1800回を数えました。記録は、1965年4月が第1回として残っています。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page006-1.html

従って53年で1800回になります。年間約34回。カウントは、日帰り・宿泊・海外も1回は1回で数えます。

調べると、結婚・子供が出来たり・仕事が多忙だったり、年間5～6回の時もありました。しかし、仲間が次々、山から去って行っても、結局、止めることはなかった。（止めれなかった・・・笑い）

昔は登山記録を大学ノートに残した。ノートは40冊以上。現在はパソコンの時代だが、ノートを見れば、いつ・どこに・誰と・どのように、です。

だから、停電で電気がなくても検索は一発で出来ます。己の山行記録は大切にしたいものですね。





6月24日(日)雨・18度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月24日(日)06時36分19秒

沼津の

實川さんが、昨日(?)富士登山2000回を達成したという。
まずは、お疲れ様・ご苦労様・おめでとう、です。

先月、5月12日に實川さんに会ったとき、登山回数は、
1967回だった。

従って、2000回まで、あと33回だった。
あれから42日だから、約1日1回登山だったの
だろう。

9日間はお休みのようだ。毎日というか、同じ山に何回も
上る。それも富士山である。私にはとても出来ない偉業ですね。



6月22日(金)晴・18度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月22日(金)05時44分29秒

花シリーズ

湯元蝮草（ゆもとまむしぐさ）・・・八ヶ岳・南沢下部

最初、ランかなと思ったが、マムシ草だった。
ただ、下界のと違い、淡いクリーム色で美しい。
日光の湯元で発見され、この名前が付いたという。

<http://hanamist.sakura.ne.jp/flower/tansiyo/satoimo/yumoto.html>





6月21日(木)曇・20度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月21日(木)05時35分20秒

伊豆巡礼

24番・般若院（熱海・伊豆山）には、伊豆札所では唯一の「足湯」ある。

東光寺から長い下りで到着すると、裏入り口に設置されている。

入った後の足ふきタオルも用意されている。有難い。皆さんと「混浴」して英気を養いました。



6月20日(水)雨・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月20日(水)05時24分30秒

先日

伊豆巡礼の時、網代の商店街を流した。
途中の干物屋さんで、写真のイカの干物を購入した。

名称は「いかくち」という。
イカのどこの部位か不明だが、軽く焼いて食べた。
兎に角、美味しい。ビアの友にはサイコー。

来月、また行くので買おう。
価格は700ーでした。





6月19日(火)晴・20度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月19日(火)05時26分31秒

昨日のつづき

横岳の途中で自転車を担いだ若い衆に会った。何でハッで自転車??
ある程度、自転車に乗れる山なら分かる。

しかし、ハッでは、乗れるところは少ない。しかも、登山道は登山者で溢れている。聞けば、権現の観音平から来たという。

自転車がなくても大変な距離だ。理由は不明。一見、意味のないようなことを行うのが若者か??

親愛を込めて「大馬鹿野郎」とエールを送った。





6月18日(月)曇・18度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月18日(月)05時08分1秒

昨日は

梅雨の合間を縫って、懸案の八ヶ岳・馬蹄型縦走でした。コースは、赤岳山荘～硫黄岳～横岳～赤岳～阿弥陀岳～赤岳山荘。天気は無風快晴。参加は2名。

赤岳山荘4:50発。北沢でオサバグサ・ツバメオモト・イワカガミ・ヤツガタケキスミレを観察。鉱泉から硫黄の途中で親子を抜かす。4:30に出たという。硫黄は学生登山で100名位いた。硫黄まで3時間掛からなかった。

ただこの先に向かう方は少ない。横岳の上りでオヤマノエンドウが花盛り。ここでガイド登山者20名×2パーティー抜かす。西側斜面に今年も待望のツクモグサが沢山見られた。横岳を超えると今度はウルップソウが美しい。今回は花が素晴らしく凄い。

赤岳の上りで再びガイド登山の列。兎に角遅い。ここでも3パーティー抜かした。硫黄から赤岳まで結局、100名以上抜かした。赤岳の下りが、またまた遅い。

そもそも岩訓練をしていない方が下る訳だから埒が明かない。文三郎分岐から行者小屋に下る、殆どの登山者を尻目に阿弥陀に向かう。

ここは今年1月も来た。物凄い阿弥陀の上り。雪があったほうが楽みたい。12時頂上着。赤岳山荘から7時間だった。昼食30分で最後の御小屋尾根を下る。最低コル手前から南沢に降りて、八ヶ岳・馬蹄形縦走を完成させた。9時間半だった。完全燃焼。最高級の充実した山でした。





6月16日(土)雨・27度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月16日(土)03時20分54秒

12日つづき

天神平ロープウェイ駅には、写真の長靴が並んでいる。
悪天候時の観光客用だ。なかなか、親切で行き届いている。
ゴンドラの係りの方も、とても柔らかい。

谷川岳ベースプラザから水上の民宿「みちのく」に向かう。
宿はすぐ分かった。
上越で「みちのく」は、違和感があるが、理由を女将に聞き
そびれた。

宿は綺麗で清潔だった。
玄関で男性が何やらやっていた。聞けば、明日地元のイベント
があり、綿菓子をふるまうという。男性は宿の息子さんだった。

兎に角、風呂に飛び込む。
やや温いがサイコーの気分。上がればビアが待っている。
部屋は6畳で男性3名。やや狭い。向きは西側で西日が
まともに注いでいる。

女将に聞けば、今日は我々だけで部屋は余裕があった。
ここは、わがまま一番で、一人部屋にして貰った。
理由は、イビキもあった。

このような場合、本来は+1000-とのこと。

そんな訳で、夜は静かによく休めました。（我儘！！）



6月15日(金)曇・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月15日(金)04時58分22秒

昨夜、BSで栗城さんの追悼番組がありました。
観るのは辛かったですね。

熱海は現在、花盛り。
ジャカランダを目の前で観察できて良かった。

何でもこの花は、大木になるので、なかなか真近で見られないという。

見た木は剪定をして、大木にならないような施しだった。
ちょっと目には、トリカブトみたいな花だった。

ブーゲンビリアも弩派手に咲き誇っていました。
ちょっと、あくは強いですが。

熱海は三島から数分で一山越えただけで、別世界ですね。





6月14日(木)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月14日(木)07時20分27秒

昨日は

6月度・伊豆巡礼でした。

コースは、23番・東光寺～24番・般若院～25番・興禅寺。

天気は曇り。参加は26名。約3万歩、20Km。

前回最終の東光寺から出発。ここは平日は誰もいないらしい。

以前、若い住職との苦いやり取りを思い出した。

石仏の道を下る。皆さん、ワラビ採取に忙しい。

暑さが予想されたが、曇り日で涼しかった。

MOAで休憩して、般若院に下る。ところが、ここも誰もいない。月曜日に連絡をして参拝のの快諾を得ていたにも関わらずである。

帰って分かったことだが、急な法事が出来て出かけたそうだが、一言連絡が欲しかった。御朱印を何処かに置いても貰っても良かったのに。なるべくお礼はしたくない。再び訪れるのは大変なことだ。

熱海駅に下り、興禅寺に向かう。境内に入ると住職に呼ばれた。月曜日連絡時、寺の方は不在で係りの女性が出た。

昼食を食べさせてくれるよう依頼したが、話がうまく伝わらなかった。以前、本堂で撮らして貰ったことはある。それで住職が苦言を伝えて来た。

住職は、開口一番「あんたらは、伊豆箱根か何かの団体かね??」だった。てっきり、営業目的の業者と思ったようだ。しかし、長泉の巡礼団体で2年掛けて歩きでやってますの言葉は理解してくれた。

結局、寺は特に誰かがいたり、行事があったわけでもなさそうだが、境内でも昼食は許可がなく、錦ヶ浦で撮った。最近、伊豆の寺は何かスッキリしない。例の営業目的の巡礼屋の出現が関係しているかも知れない。

午後は、多賀から網代を歩き終了。今回は曇りで歩き易かったが、いろいろ考えさせられた巡礼だった。





6月12日(火)曇・17度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月12日(火)01時44分54秒

つづき

肩の小屋で昼食。多くの方が休んでいた。
小屋でビアを購入。350mlが、500-だった。
小1時間休み天神尾根を下山。

すぐのところに雪渓があり、皆さん滑って苦戦。
下はガラ場なので、落ちたら危険だ。
靴のエッジを使えば問題がないが、靴がズック登山靴だとエッジが効かない。

それでも何とか無事降りた。あとは、ガラガラの歩きにくい道を辿る。何年か前の一人のスキー滑降を思い出した。今はとても単独では来る気がしないが、当時は元気だった。

花はイワカガミが多かった。ただ、天神平手前に、イワウチワ・サンカヨウが奇跡的に残っていた。雪解けが遅かったのか??

天神平で記念写真を撮って下る。大きなゴンドラは、支柱の所でも揺れが少なく快適。眼下にはホウやヤマボウシが花盛り。ベースプラザで車を回収して宿に向かう。

慰霊碑前で巖剛隊が声を上げた。上げた主は、柴犬を連れた髭交じりの怖そうなオヤジだった。何でも巖剛隊は、このオヤジに、コテンパンにやられたらしい・・・。

つづく





6月11日(月)台風・15度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月11日(月)04時46分11秒

先週末は

8日(金)谷川岳・西黒尾根、10日(土)上越国境。
稲包山(1598m)でした。天気は両日晴れ。参加は
7名。

8日(金)標高差=1213m
長泉発4:30-谷川岳ベースプラザ発8:21。天気は
良かった。2名は巖剛新道で、他は西黒尾根。最初から
巖しい上りが続く。花はまあまあ。ただ、春セミが五月蠅い。

クサリ場を越えれば展望が広がる。金曜日だが多くの登山者
で賑わう。1名遅れたので、3名には先に行って貰った。遅れた
のは、6日間の九州遠征から帰ったばかりの方だった。1日しか
休んでいないので無理はない。

1名、待っていたら巖剛新道の2名上って来て合流。丁度、
良かった。上部は、ユキワリソウがたくさん咲いていた。
キレイな花だった。この時期しか見られない。

頂上下の雪田を上る。この上で先発3名と合流。
12:39頂上着。4時間だった。1名、オキの耳に向かい
他は肩の小屋で昼食。去年の秋以来だった。

つづく



6月7日(木)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月7日(木)06時16分14秒

松本は

リンゴの産地。

以前、山の帰りにリンゴ園に寄ったが、美味しいリンゴだった。初めて食べた、シナノスイーツは良かった。

乗鞍に向かう途中、オカシナ車両を発見。この車、以前、岩木山麓でも見た。リンゴ消毒用の車。丸いタンクに消毒液が入っているようだ。

異国に来ると、違う光景を経験できる。



6月6日(水)雨・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月6日(水)05時28分17秒

久しぶりの雨。

記憶と日記では、5月23日以来か。

畑がカラカラだったから、とても有難い。

乗鞍岳を下ってくると、観光センターまえの林の中に
ベニバナイチヤクソウが咲いていた。

この花は、カラマツの中に多い。

カッコウが鳴くカラッとした爽やかな高原。

イイ季節です。



6月5日(火)晴・18度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月5日(火)06時18分5秒

変わった方

といえば、この方も変わっていた。(ま、何をもって変わっているかの議論は別にして)

先の棒ストックのオジサンだが、位ヶ原から下山はバスを使わず、何と「ローラー四輪車」だった。これは、写真のような、四輪車に人間が立って乗って移動するもの。動力はないから下り専用。ブレーキはあるようだ。

カーブのバランスが難しそう。あまりスピードが出ると危ない。この方、聞けば上りもバスを使わず歩いて来たという。

変わった方でなく、努力の方かも知れないですね。





6月4日(月)晴・10度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年6月4日(月)05時59分12秒

土曜日は

トレで宝永山・2352m峰でした。
前日、降雪があり、上部は薄っすら雪が乗っていました。
下界は暑かったですが、山は寒かったです。

31日つづき

結局、棒ストックおじさんは、2名いた。
何故、棒なのか聞いた。
ハッキリした理由はないようだが、要するに「目立ちたい」
「パフォーマンス」のようだ。

しかし、どんな滑りなのか一度見たかった。
大分前、やっぱり乗鞍で革靴にカンダハーの物凄く上手い
方を見たが、変わった方が多い。

<http://trace.kinokoyama.net/gear/kandaha080328.htm>

つづく



5月31日(木)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月31日(木)06時51分31秒

つづき

位ヶ原山荘には、14:00着いた。

バスの時間は何と15:30。

時間は十分あった。

ビアは大ジョッキ（といっても、実際は中）が700円。

三杯もやってしまった。美味しいビアだったが、全然、効かないのは何故??

山からゾロゾロ降りてくる。中に先ほど滑落した方がいた。

頂上でもすれ違った方だった。話を聞いてみる。

板は写真下のエッジの付いたクロカン用だった。

細くて軽いが滑りすぎて操作は難しい。

その上、ストックが3m位の棒だった。

棒は、ようするにスキー発祥人のレルヒ少佐が使っていた棒だった。

<https://www.travel.co.jp/guide/article/15171/>

<http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/japanese-ski-origination.htm>
↓

つづく





5月30日(水)曇・15度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月30日(水)05時24分49秒

つづき

頂上下から滑降。

この雪渓を下から3名上って来た。

丁度、滑るラインを上っている。

1名上り切り、2名がまだいた。

ちょっと邪魔だったが滑降スタート。

2名を意識し邪魔ではなかったが、めったに転倒しない私が何故か大コケ。赤面ものだった。

その後は、まあまあ順調に下降したが、いかんせん雪が悪い。
下っていくほどに、例の雨溝が酷くなる。
位ヶ原手前は特に酷く、スキーにならない。

数年前、八方尾根で、同じような雨溝を経験した。
それは今回より大きなもので、全くスキーにならなかった。
その報告は、その年、各地であった。

ケガが怖いので林道手前でスキーを脱いだ。
振り返ると少し向こうの急斜面を3名滑っていたが、1名が
滑落して長い距離落ちた。また、ターンが出来ず、随分苦労
していた。この方とは、位ヶ原で会って話を聞くことが出来た。

つづく





5月29日(火)曇・15度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月29日(火)06時21分41秒

昨日のつづき

肩の雪渓を詰めて、頂上手前のコルに着いた。
向こう側のお釜は神秘的なブルーだった。
依然、天気は良く、御岳山が大きかった。

早くも滑降して来る方がいた。
頂上に向かう。
スキー靴の石畳は歩きにくい。それでも上りはまだイイが、
下りは最悪だ。

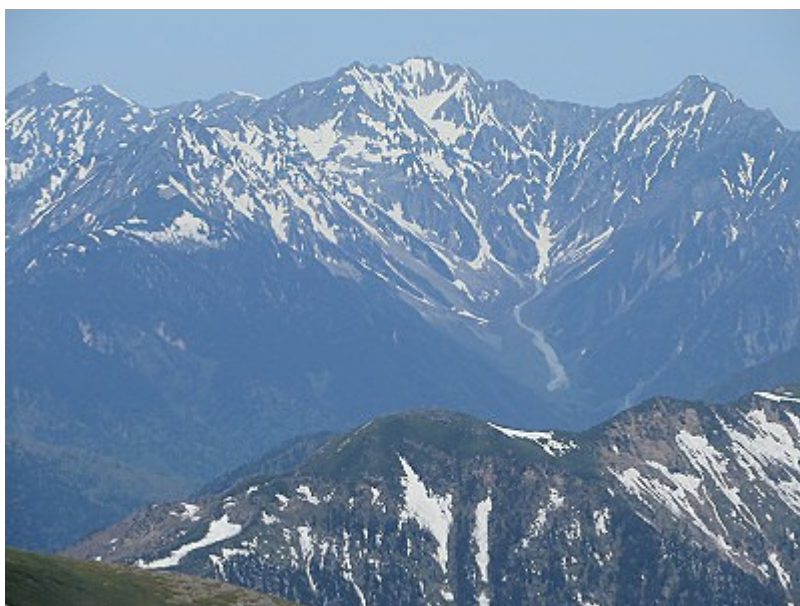
頂上の祠は閉まっていた。まだ、開山もしていないのだろう。
扉は閉まっていたが、お参りをした。現在、我が家は関係する
二件の懸案があった。

何処かのグループが変な格好で高天ヶ原方面に下って行った。
この方とは、下山後、位ヶ原で会って詳しい話を聞いた。
我々は頂上を後にして滑降に向かう。

滑降場所の選択は二箇所。頂上直下とその下。頂上直下から
滑れると思っていたいなかったので、スキーは下に置いて来た。
直下から何人が滑降していた。傾斜は下と変わらない。

次回はここから滑りたい。

つづく



5月28日(月)曇・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月28日(月)06時01分40秒

週末

土曜日は、乗鞍岳山岳スキーでした。
バスは、観光センター8:30発。天気は無風快晴。
バス発車が遅い訳は高高度故、まだ氷結したりで、
早く出せないという。

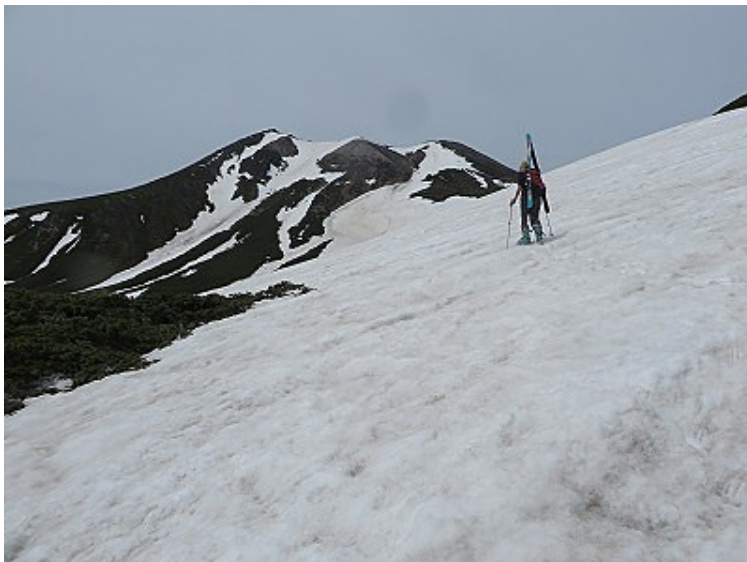
バスは位ヶ原山荘まで。上部の除雪がまだ終了していない。
料金は往復2500円、片道1450円。片道は変と思うかもしれないが、車掌に聞いたら、自転車等、畳めば無料で運搬してくれるそう。

バスは全部で5台出た。乗車は1台約40名だから、入山は200名ほどか。標高約2350mの山荘から歩く。頂上まで標高差約676m。

この時期、シールの方もいるが、背負った方が楽で早い。
2006年以来の乗鞍岳でルートを少し間違っただけでハイマツを漕いだ。上部を仰ぐと、多くの方がアリのように、雪渓に張り付いている。

雪はほどほど腐っているので歩き易い。しかし、雪面は遠目ではいい感じだったが、実際は深い雨ミゾで、滑降は難儀された。

つづく





5月24日(木)晴・11度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月24日(木)06時11分58秒

昨日は

伊豆ウォーキングが雨で中止だったので、映画「ピーター・ラビット」を観た。

マンガ的な映画だったが、面白かった。
良く出来た映画ですね。



5月23日(水)曇・14度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月23日(水)05時26分39秒

今日は、伊豆一周ウォーキングでしたが、雨中止でした。

熊野古道4日目

5月17日(木)晴

川湯温泉は、亀屋旅館に泊まった。亀屋は、創業150年、建物は築80年で県有形文化財になっている。建物は旧いが味いはある。眼前に川湯の大塔川が流れる。

亀屋は、ウォーキング会員のFさんの紹介。Fさんの奥方がこちらの

出身で亀屋のオカミと同級生だった。お蔭で料理はサイコーに良かった。皆さま、大いに満足でした。

朝、大塔川の露天風呂に入った。お湯は温からず熱からずでサイコー。川音を聞きながら、川風を受けての入浴は、言う事はなかった。ここは混浴。従って宿は水着を貸し出している。私はそれを知らなかったので水着なしで楽しんだ。ま、何方も来なかったですが。

朝食を済ませ今日の目玉の、熊野川川下りに向かった。川下りは熊野川と北山川がある。熊野川は普通の舟下り。北山川は筏に立って乗り荒瀬を下る。希望は北山川だったが、残念ながらこの時期の平日は営業してなかった。

この様子はネットで見られるが、絶対面白い。

<https://www.youtube.com/watch?v=kRpWQtB1vjg>

舟下りは1時間半。流れは穏やかで、やや退屈だった。価格は3500円でやや高め。以前乗った天竜川は、販売舟が来たりしたが、ここは無かった。川下りを終了し静岡の向かい、4日間の熊野古道は終了。小・中・大雲・小雲を完歩した。

コース的には、それぞれ特徴があり、一概に何処がイイとも言えない。小辺路

は、3日間で1000m級の山を3峰越える。中辺路は兎に角、距離が長い。大雲・小雲は、比較的楽。

ただ、熊野古道にしては人工林が多く、自然林が少ない。また。古道脇に林道が伸びる箇所が多かった。ま、これも現代では仕方が無いか。

宿・食事・人情はそれなりに良かった。やっぱり旅は行ってなんぼである。また、新しい旅を探したい。





5月22日(火)晴・12度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月22日(火)05時57分25秒

栗城氏がエベレストに逝った。やはりというべきか、何故というべきか。全く可能性が無い訳でもなかったが、残念無念であったろう。エベレストを無酸素で上ること自体相当のリスクを考えなければならない。お疲れ様とご冥福を祈ります。

熊野古道・3日目

5月16日(水)＝小雲取越え

7:05、小口自然の家からスタート。天気は良かった。

登山口の小和瀬橋を渡る。眼下の赤木川は素晴らしい清流だった。霧気のある民家の間を通り山に入る。

例によって石畳が続く。今回のコースは、昨日に比べると、やや楽のようだ。ただ、終了して歩数を見たら、大雲と同じだった。坂道の印象などで、感じ方が変わるのであろう。

標高466mの桜峠を越えると大きな上りはなくなる。この日も多くの外人さんと交流した。若い単独の女性も少なくない。イスラエルから来たという35歳の女性は美しい方だった。

百間ぐらは展望が良い所。外人さんが20名くらい休んでいた。ヨーロッパから来た日本語が堪能な男性は、明日以降、小辺路に向かうと言った。それにしても、多くの方が逆コース(?)は何故。感覚的には、熊野本宮に向かうが正コースと思うが。逆コースの場合は、本宮が出発地。先にお参りは、如何なものか。

松畑茶屋跡で昼食。午後は長い穏やかな下りで熊野川岸の請川バス停着。ここから熊野川に沿って40分歩き、熊野本宮着。これで今回の計画は終了。大斎原で記念写真を撮って、宿の川湯温泉に向かった。

つづく





5月21日(月)曇・7度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月20日(日)04時40分46秒

熊野古道・2日目

5月15日(火)晴＝大雲取越え

那智の宿は、「美滝山荘」。価格は観光地でやや高。料理は良かった。対応も良かった。部屋から那智滝が見える。トイレは、ウオシュレット。ただ、布団が羽根でなく重かった。

宿発7:28。まずは青岸渡寺に上り、境内の脇から大雲取りに入る。杉木立の石畳みが続く。右手に那智大滝の音がするが姿は見えない。その先に、かけぬけ道が分かれ、阿弥陀寺に続くが、時間がなく寄れなか

った。

依然として石畳は続く。一つひとつが大きい。こんな石を昔は何処から上げたのだろうか。色川辻から林道を下る。地蔵茶屋跡は前半の終了点。ウオシュレットのトイレ、自販機、東屋がある。20名程外人さんが昼食中だった。彼らは逆コースで小口からやって来た。

宿で作ったであろう、サンドイッチを食べている。国際色豊かでオーストラリア、シンガポール、アメリカと様々だった。日本人的な方がいたので聞いたら、香港の方だった。賑やかで愛想もイイ。そこにいるだけで楽しくなってしまう。

我々も昼食時間だったが、石倉峠まで頑張る。土砂崩れで巻き道を上る。巻き道は、本来15分だが40分も掛かってしまった。仙台から来た4人組に会った。休暇10日で高野山から来たという。越前峠手前の広場で昼食。日差しが強く暑い。冷えたビアが美味しかった。

越前峠を越えると小口まで長い長い下り。依然として石畳が続く。東の川が見えれば小口は近い。下り切ると右手に酒屋があった。今夜のビアを6本調達。店のババ様は愛想が良かった。宿の小口自然の家は学校跡を利用したものだった。管理人は感じが良かった。何故か私を「先生だったでしょう」といったので、「そうです」と答えておいた。

宿は安価で食事も良かった。夕食時、外人さんがいたので、一献差し上げ交流。オーストラリアの方だった。それにしても外人さんが多い。古道は人気があった。程良い疲れもあり、早々と寝てしまった。

つづく



5月14日(月)晴・10度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月14日(月)02時45分32秒

富士山で

實川さんに会った。
久しぶりだったが、元気そうだった。

今年、75歳で後期高齢者とのこと。
登山回数は、当日で「1967回」とのこと。
近々に「2000回」だろう。

ただ最近、太ももが痛いという。
聞けば、街を歩いていて急になったとのこと。
病院に行ったが、特に悪いところはなく、原因不明だという。
結局、「年齢か」と笑っていた。

私も今回、登山中に何故か左の腰が痛くて参った。
登山中に何処かが痛くなることは、今までなかったが・・・。
考えられたのは、先日のウオーキングの箱根越えの疲れ。

その時は、左大腿部も痛かった。
これも、やっぱり「年齢か」。
いずれにしても、「また一献やりましょう」で別れた。

まだまだ、お元気なようです。





5月13日(日)晴・10度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月13日(日)17時27分21秒

土曜日は、

恒例の富士山頂でした。
今年は、とにかく雪が少ない。
原因は、1～3月雨が少なかった。

私は畑をやっているので、雨には敏感。
富士山は、冬型が強いほど雪は少ない。
雨が南岸低気圧で降雪がある。

現地は思った通りだった。

六合小屋でやっと雪が出てきた。
それも砂で覆われた、汚い雪だった。

上部も雪が雪だなく、変におかしい氷のような雪だった。
昨年も多くはなかったが、今後もこのような状態が続くのか。
意外だったのが、この状態で多くの山岳スキーヤーが来ている
ことだった。

全盛期（??!!）なら、駐車場まで滑れた。遠路、来る方には
ベストの状態です。





5月11日(金)晴・7度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月11日(金)05時26分14秒

8日つづき

連休山岳スキーも最終回。選んだのは尾瀬・至仏山(2228m)。尾瀬スキーは、2000年に燧ヶ岳をやっている。至仏山は、困難度は低いが、初見なので選んだ。

静岡東部在住の場合は、山岳スキーはなかなか難しい。唯一、富士山が可能だが、最近は降雪が少なく楽しめなくなった。かつては12月宝永山で滑ったこともあるが・・・。

2001年2月3日の記録

表富士周遊道標高約1100m 発7:00—御殿場登山口二合目
—宝永山12:40—滑降—二合目—標高1100m 14:20

この山行は、大雪で周遊道が通行止めだった。御殿場・青年の家上から歩き宝永山に達した。標高差は、実に1600m。これは、今までの富士山山岳スキーで初体験だった。現在は、これ程の降雪は、なかなかないので実現は難しい。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page165-4.html

つづく



5月10日(木)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月10日(木)06時46分0秒

昨日は

5月度・伊豆巡礼でした。コースは、21番・龍澤寺～22番・宗福寺～十国峠・日金山墓地。天気は小雨～曇り～晴れ。単純標高差＝龍澤寺約50m～日金山約750m＝約700m（累計＝＋100m）。参加は24名。

小雨の中、龍澤寺7:31発。加茂団地を抜け、山田川を越えて、22番・宗福寺着。今回は唯一のお勤め寺。住職から、ご朱印をいただく。山門で記念撮影。

旧道を歩き、番外の松雲寺で休憩。好天なら富士を望めるが、雲中の愛鷹山のみ。急登の「こわめし坂」を上り、11:05山中城跡着。ここで1時間昼食。ソラマメ・グリーンピースが美味しかった。

午後は函南原生林から、県道R20に出る。ここの最後の上りも厳しかった。県道から十国峠レストハウスは長いが下りなので時間を掛ければ問題はない。富士山は相変わらず見えなかったが、田方平野の俯瞰が素晴らしかった。

計画通りレストハウス着。まだ15:00なので、最後の日金山墓地の急登をこなす。ここが箱根越えの最後の試練。でも、皆さんよく頑張って歩き切った。

今回は、伊豆巡礼で最高の試練だったが、無事15:30前、墓地着。ここを終了出来れば、四国お遍路も大丈夫です。皆様、一人前です。オメデトウ!!!



5月8日(火)雨・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月8日(火)06時48分0秒

つづき

月山スキーは、2000年に一度やっていた。
ただ、その時は天候が悪く、ホワイトアウトで頂上の社が
やっと判別できるくらいだった。

今回、晴天時にもう一度やりたいでやってきた。
天気はサイコーだった。
ただ、月山は南面なので、雪はよろしくない。

本当は、月山～肘折温泉をやりたかった。
しかし、低山故5月では遅くスキーは走らない。
また、リフト利用では遅くなるので、リフト分の標高差
＝約220m（約1時間）を歩くくらいの気合がないとダメだ。

何故なら、多くのパーティーが肘折到着時、日没で旅館の車に
迎えに来て貰うなどの珍事もある。時期は林道開通直後がイイ
だろう。

つづく





5月7日(月)雨・10度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月7日(月)05時45分42秒

昨日のつづき

鳥海山を下って、以前、十里木に住んでいた、象潟のKさん宅に寄った。象潟にきて10年以上経過するが、お元気そうだった。

象潟を辞し、次の目的地、月山に向かった。途中、酒田で温泉に入る。こちらの温泉は、どこも安価で嬉しい。酒田は大きな町で賑やか。好天の連休とあって車も多い。

酒田から山形自動車道に入れば、月山は近い。東も空に月山が

長々と横たわっていた。

つづく



5月6日(日)晴・11度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2018年5月6日(日)05時46分16秒

昨日のつづき

超快適な北面スキーを続けて行った。
鉾立登山口に帰るには、相当、右方向に下る必要がある。
しかし、手前に尾根があり、完全に鉾立コースには戻れない。

末端まで滑ると、何やら網が張ってあった。
左手からスキーヤーが2名、網に沿って歩いてきた。
網は、転落防止のものだった。

網の向こうは、鉾立に向かうスカイラインで、雪壁が3m
ほど落ちていた。天候が悪く転落したら大きな事故になりかなない。
断崖に沿って右に移動。この手のことが得意な相方が、ブッシュ
が垂れている場所を見つけ下りだした。

ところが、やっぱりかなりの壁で、なかなか難しい。
そこに丁度、若い衆が2名下からやってきた。
若い衆は、躊躇なく我々のサポートをしてくれた。

スキー・ザックをあらかじめ下して、ブッシュを掴み
降りる。下では足を支えてくれた。2人のお陰で無事
下降に成功。事なきを得た。

なんて気持ちの良い若い衆だろう。若い衆といっても
60前の2名だった。宮城から来たという。スキーと
ボードだった。今回は結果的に各地で人情の機微に触れる
ことが多かった。索漠とした世の中、まだまだ捨てたものではない。

先に歩いていた2名も最終壁で救済した。若い衆は、1日置いて
また祓川コースに来るといった。駐車場に帰り、お礼にビア2本
上げた。

つづく



5月5日(土)晴・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月5日(土)06時06分13秒

この時期としては、今朝は冷えている。ALPSは寒いね。

単独行は七五三掛を行かず、外輪山を目指した。
また、単独が上って来て抜かした。彼は夏道でなく
右手の雪渓をスキーを背負って来た。

ルートを知っていた。また、この時期、雪が締まっているので
歩いた方が速く楽だ。彼は七五三掛を進んだ。スキーは
テレマークだった。

七五三掛は、北面でカチカチに凍っていた。しかも、可成りの
急斜面で恐ろしい。ピッケルを車に置いて来た選択はマズかった。
我々、山々はストックは信頼がない。やっぱり、ピッケルなのだ。

千蛇谷降り口を見た。物凄い急斜面を5・60mトラバースして
谷に降りる。先行者のトレースは、10mほど歩き、途中でスキー
を履いたようだ。

こんな急斜面でテレマークは、スキーを履けるのだろうか。
先行者は、我々を嘲笑うように、既に千蛇谷を上っていた。
どうにも踏ん切りがつかない。時間は既に11時を回った。

いつもの習慣なら12時にピークを踏まなければならない。
頂上の新山まで、残りの標高差は約366m。今、千蛇谷
にいても、まだ1時間以上は掛かる。

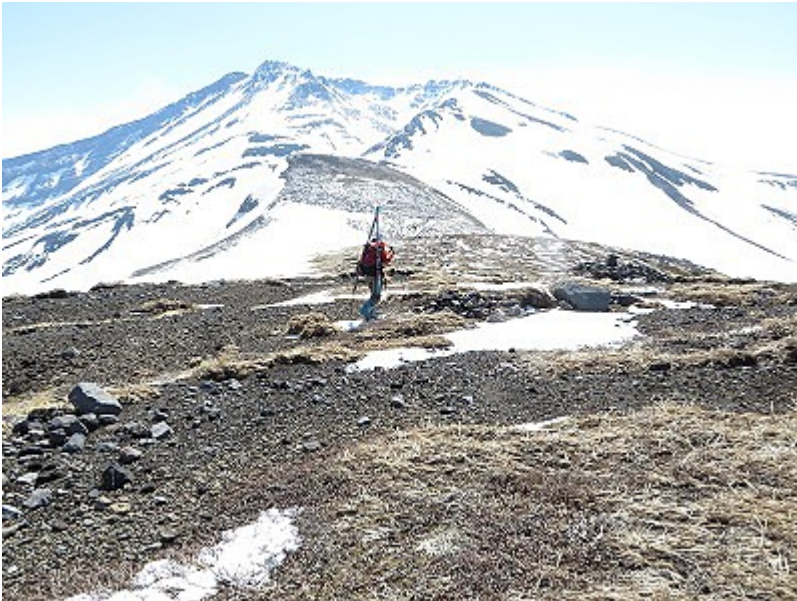
そもそも、ここまで標高差約720m・4時間は、時間が
掛かり過ぎではないか。その理由は、コースが未知だった。
岩尾根を歩いた、年齢、などが原因。

苦渋の決断だったが、今回はここで終わりにした。捲土重来
である。これが実力だった。しかし、再挑戦はあるだろうか。
登頂は出来なかったが。鉾立コースを選択した悔いはなかった。
新しい発見は多かった。山は常に新鮮な感動が必要なのだ。

下山は快適だった。御浜小屋までザラメを滑って昼食。
ラーメン・ビアが美味かった。

御浜小屋は多くのスキーヤー・登山者で溢れていた。多くの方はここまで往復の様だ。ここから周遊道まで、標高差約520mの滑降は、いままでの憂さを晴らすような、超素晴らしく、快適なスキーだった。やっぱり、北面のスキーはサイコーだ。

つづく



5月4日(金)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年5月4日(金)05時16分17秒

連休は

鳥海山、月山、尾瀬・至仏山で山岳スキーでした。
鳥海山まで、関越～日本海東北道経由で約617km。
天気は全山晴。

28日＝鳥海山・鉾立コース（標高差＝720m）
鳥海山の山岳スキーは、2000年以来2回目。その時は、
稜川コースだった。稜川は北面で雪質は良く、コースも
短いので人気があるが、同じコースをやっても経験が積めない
ので、今回は強いて難しいコースを選択。

天気は良かった。同行者はなし。吹浦コースに向かうパーティーはいた。
鉾立コースは所々、雪が切れスキーを背負った。新調したスキーは、
軽量なので、余り負担ではなかった。

広大な雪原を上り切ると、御浜小屋に出る。誰も居なかった。この
上も雪が切れているのでスキーを背負った。ただ、帰路北側は雪が
繋がって滑れた。

扇子森ピークから雄大な千蛇谷・新山を眺める。なかなか厳しそう。
この辺りで、歩きの単独行に抜かされた。彼は千蛇谷を行かず、
外輪山を上って行った。
写真は、上＝鳥海山、中＝月山、下＝至仏山

つづく



4月27日(金)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月26日(木)15時12分5秒

庭の

山シャクヤクが、今年は何故か、四つ花が咲きそうだ。
ここ何年も咲かなかった。

咲く、咲かないの違いは、何処からくるのだろうか。
ま、取りあえず、楽しみが増えました。





4月26日(木)晴・10度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月26日(木)05時53分50秒

昨日は

今期から始めた第一回・伊豆一周ウォーキングでした。コースは、汐吹岬～川奈港～城ヶ崎～蓮着寺～対馬の滝。天気は、午前豪雨、午後快晴。距離＝約18km。参加＝20名。

午前は豪雨、午後は晴れ。実施か否か難しい判断だったが、半日雨の中、頑張ろうで出発。今期、募集で初参加の方が10名。雨支度が十分でない方もいたが、腹をくくった。

豪雨の旧道を歩く。川奈～富戸付近は半端な雨でなかった。傘を差して歩くと、足元しか見えず心もとない。道路は流水で溢れ、その中をザブザブと進んで行く。皆さんはズックだったが、何故か私は長靴でした。

それでもさすがの豪雨も城ヶ崎海岸入り口到着の頃、小雨になり、青空が覗いて来た。ほら納屋で昼食。午後はカップ・傘・長靴をバスに置いた。

海岸を歩く。風が強く海は豪快な波風景。岩壁に打ち寄せるしぶきが感動的。このような景観は、なかなか味わうことは出来ない。ただ、波が強すぎて、期待のポット・ホール見学

は出来なかった。

対馬の滝も大水で豪快に滝を落としていた。展望台まで、しぶきがガンガン上がっていた。15:30になり今回はここでお終い。初参加の方も頑張ってよく歩きました。お疲れ様でした。



4月24日(火)曇・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月24日(火)06時35分47秒

春山スキー

第二ラウンドは、白馬乗鞍岳＝船越ノ頭・南尾根。
始発のイブで上る。平日なので、登山者は少ない。
ロープウェイを乗り継ぎ、柵の森着。

天気は風があり、気温が低かった。
白乗から船越がコースだが、昨日の疲れもあり、自然園経由とした。

柵池ヒュッテで、白馬観光のMさんと再会。元気に開館準備をしていた。同行者はなし。南尾根を目指す。昨日程、雪が重くなかった。気温が1～2度違うだけで、随分、感じが異なる。

尾根を上って行くと、右手から3名上って来た。ちょっとした平坦地で合流。若い衆が3名で全員、スプリット・ボードだった。しばし交流。

昨日、焼山をやったと言ったら、「それは、超・怪・異人だ」とからかわれた。

聞けば、これから船越ノ頭を越えて、白馬沢辺りを滑ると言った。滑降後は猿倉から二股まで、約5km歩くことになる。いやはや、若い衆は凄い、元気、驚異である。

つづく





4月23日(月)曇・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月23日(月)06時17分40秒

昨日のつづき

若い衆は、先行したらしい。雪上に新しい痕跡が続いていた。
ダラダラ上りが続き、高度は稼げない。

雪原に場違いなポールが立っていた。こんな山中に??と思ったが、
実はここ、夏は林道が伸びている。その標識だった。

上りの予定時間が迫っていた。目安は12時。標高は1750m。
すでに6H歩いている。頂上まで、まだ650m=2H以上掛かる。

こんなに高度を稼げない山も珍しい。大曲でルートを誤ったことも大きい。

11時35分終了し滑降に入る。雪は期待の完璧な「ザラメ」でなかった。やや、モナカっぽい感じだった。それでも滑降は楽しく嬉しい。あっという間に大曲着。概ね上りコースを下る。下り切ると難しい錯綜した林道下りになる。

GPSと睨めっこで下る。途中で今朝の若い衆に抜かれた。頂上に1時間滞在し、かつ我々を抜かずとは??!!年齢を感じますね。滑りにくい林道をこなし、笹倉温泉着。桜が満開だった。

つづく





[返信・引用](#)
[編集済](#)

4月22日(日)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月22日(日)05時44分56秒

焼山(2400m・糸魚川)は、遥かに遠かった

20日(金)は、糸魚川・焼山でした。
笹倉温泉から、頂上まで標高差は1950m。

温泉発5:30。天気は無風快晴高温。温泉上の橋から雪はあった。厳しい林道を上る。雪が硬く、トラバースが多く苦戦。

標高約1100mの大曲で若者に追いつかれる。若者は大曲でなく真っ直ぐ上っていった。25歳の彼は、結局、頂上に上り、1時間滞在し帰路、林道で我々を追い抜き、30分早く温泉着。

話せば、ヨーロッパオートルートに経費節減の為、テント泊で行きたいと言っていた。(テンとは多分、認められていないと思いますが)明日は、白馬だが、二股から猿倉に歩き(上り約5km)2号雪渓辺りを滑りたいの
弁には、驚くと同時に、若い方は凄いと思った。

大曲がりから、広大な焼山北面台地を進む。気温が上がり暑く大汗を掻く。シールが重く辛い上りとなる。焼山台地は、上れど上れど、なかなか高度稼げなかった。

つづく



4月18日(水)雨・8度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月18日(水)05時52分18秒

生け垣の

木香バラが花盛りです。
このバラは、中国産だそうです。

ただ、花はイイのですが、終わった後は、掃除が悲惨です。

ま、楽しんだ後は仕方がないでしょうか。





4月17日(火)曇・6度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月17日(火)06時06分40秒

富士山須山道

を下ってくると、オジサンが一人、荒れた須山道を重機で整備していた。

聞けば、須山在住のN上Y介さんだった。氏は67歳。

「富士山須山口登山歩道保存会」の代表で、3月の大雨で荒れた登山道を、ボラで整備をしているという。

仕事は農業で重機は不要だが、登山道保存のため、持っているそうだ。しかも、重機を運搬する、荷台がスライドするトラックも常備していた。

しかし、いくらボラとはいえ、ここまで入れ込むのは、なかなか大変である。氏を激励し、再会を約し分れた。



4月16日(月)晴・4度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月16日(月)07時22分43秒

土曜日は

富士山・宝永山でした。悪天候で気温が低かった。
道々、
いたるところで、土砂が押し出し、夏道は崩壊していた。

原因は3月の大雨。この時、須走・富士演習場内で作業をしていた作業員が2名、濁流被害にあい亡くなっている。

富士山の雨・雪代の威力はすさまじく、かつて御殿場口でも大きな被害があり、洞門が出来た。

結果、須走口道路は、連休の開通に間に合わないようです。





4月13日(金)晴・7度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月13日(金)06時37分28秒

昨日の

朝日新聞に新潟・浅草岳、破間川（はまがわ）ダムの流氷が掲載された。

私も昨年、浅草岳滑降の際、目撃した。
新聞より時期が早かったので、更に大きなものだった。

写真、上が新聞記事。中・下が昨年の写真。
一見の値はあるようですね。





4月12日(木)晴・12度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月12日(木)09時41分28秒

昨日は

4月度・伊豆巡礼でした。

コースは、15番・高岩院～20番・養徳院～16番・興聖寺～17番・泉福寺～18番・宗徳院～19番・蓮馨寺～21番・龍澤寺
参加は26名。天気は降ったり晴れたり。歩数＝約3万歩、距離＝約18.5km。

前回最終の高岩院から出発。今にも降りそうな天気。

20番手前でパラパラ。お勤め後、寺近くの天地神社の大クスを眺める。

雨が激しくなった。雨具をバスに置いて来た方は、ワラワラ。興聖寺で小降りになった。住職は若い方に変わったようだ。気温が低く、ストーブを点けてくれた。

泉福寺に向かう。風が強くなった。天気がコロコロ変わる。お勤め後、観音堂で昼食。ただ、本堂のトイレを借りようと思ったが、本堂・玄関とも鍵が掛かっていた。ブザーを押しても反応がない。これってあり??!!

午後が境川を遡り、宗徳院に到着。本堂は富士山をモチーフにした良形で音響が素晴らしく、お経が美しく聞こえた。住職の計らいで、観音堂を見学。三十三観音が鎮座していた。何回も来寺しているが、初めて見ました。

今度は源兵衛川を歩き広小路・蓮馨寺に向かう。富士山ウォーキング時の見事な桜はお終いだった。何故か2名、川にハマったのは、ご愛敬でした。

楽寿園脇から菰池を通過し、大場川を進み龍澤寺に上る。予定外だったが、皆さん、良く頑張った。最後のお勤めをし、ご朱印をいただき終了。今日は、山坂が少なかったですが、皆様、本当に良く歩きました。合掌。





4月10日(火)晴・5度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月10日(火)06時11分36秒

大菩薩嶺

みそぎ沢登山口で、丸川荘主人に会った。
久しぶりだった。主人は荷揚げだった。

大菩薩の上日川峠に至る林道は、まだゲートが
締め通行止め。

従って、この時期、大菩薩に上るには、丸川峠経由
しかない。夏の賑わいはないものの、玄人筋は、ある

程度訪れる。

その場合、山荘にも寄るだろうから、多少の荷揚げも必要になる。山荘は、オヤジさんが入れたコーヒーが美味しく有名。

カップもオヤジさん手製の木彫りのものを使っている。年齢は私より1歳若かった。今後も、ますます頑張って山荘を続けていただきたいですね。





4月8日(日)晴・1度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月8日(日)05時43分11秒

今朝は、結構、冷えまして。1度でした！！！！

今、山梨の丘陵地帯は桃源郷です。
主に桃花ですが、例年、5月初旬開花ですが、
今年は早い。

桜も同時に咲いている。
このような状況は珍しいのではないか。
ここ一週間が見頃ですね。





4月7日(土)晴・9度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月7日(土)06時25分29秒

昨日は

大菩薩嶺(2057m)登山でした。
コースは、みそぎ沢登山口～丸川峠～大菩薩嶺～唐松尾根
～みそぎ沢登山口。天気は晴・強風。参加は6名。

久しぶりの大菩薩嶺。そのためか、登山口の道を間違えた。
新入会員のMさんの歓迎登山。

8:20、みそぎ沢登山口から出発。上日川峠の林道は、まだ通行止め。
下から歩荷が来た。見れば丸川荘の主人だった。

歓談する。オヤジ曰く。この時期、雪の上に桃花が飛んで来ることがある。それを見つけた人は幸せになれる・・・。本当かな～！！しかし、実際は無かった。

また、上部は雪があるからアイゼンがないと厳しいよと助言。これは当たっていた。丸川荘まで看板には2時間20分になっていたが、2時間掛からず到着。オヤジさんはまだ来ないので、期待の「コーヒー」は、飲めなかった。

モーレツな風の中上る。今回は天気判断が難しかった。判断通り雨は全く降らなかったが、兎に角、風が半端でなかった。ゴーゴーと山が五月蠅い。イイ感じの山梨森林100選のコメツ?ガの原生林を上る。

道は段々、雪・氷が出て来る。アイゼンが無く苦勞する。私が計画書にアイゼンは不要と記したのはまずかった。それでも何とか上った。女性軍は男性軍より、スムーズに上ったのは驚いた。

頂上で記念写真を撮り下山。南面は全く雪はない。唐松尾根途中で昼食。ワラビ・タケノコ・ビアが美味かった。上日川峠に下る。誰も居ない。小屋もまだ開いていない。夏の馬鹿げた喧騒はない。

グングン下る。ここの登山道は、ブナ・ミズナラが素晴らしい。14:20、みそぎ沢着。予定通りだった。誰も居ない大菩薩。静かでイイ山だった。皆さんもよく歩きました。





4月5日(木)晴・8度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月5日(木)06時31分6秒

先日の

ワラビに続いて、昨日は、タケノコでした。
タケノコが出れば、本格的な春です。
美味しかったです。



4月4日(水)晴・8度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月4日(水)06時28分15秒

3月26日(月)

この時期、厳しいスキーだった

春スキー合宿3日目は、上越・東谷山。二居集落どん詰まりから出発。二居峠に上る。この林道は、旧三国街道だった。峠には簡単に着いた。

峠から真東に向かう。この辺りは、まだ上り易い。標高1150mに大きな鉄塔があった。

鉄塔上から尾根は細く急になった。スキーでは上れないので、背負って行く。背負った方が楽だ。上り切れば、なだらかで広い尾根に変わった。スキーには絶好だ。

展望は素晴らしく、平標山、仙ノ倉山、万太郎が大きかった。まだ、雪がベツタリ付いている。下方で声が響いた。人間の声はよく通るものだ。上から一人降りて来た。75歳、東京・雪稜会の男性Yさんだった。会は労山だった。

聞けば、昨夜は平標付近でテン泊し、早朝来たという。装備は年季が入っていた。それにしても元気な方だ。脱帽でした。握手して分かれた。

頂上に着いた。先ほどの、壺足の団体も上って来た。地元の方、東京の方とか混成のようだ。この先の、日白山(にっぽくやま)まで行くようだ。北面の沢を滑るといったら驚いていた。

北沢を覗く。真北上部は可なり急だった。ルートは、北西の沢。上部を滑ってみた。北側ゆえカリカリの雪だった。この日は、気温が少し低めだったこともある。急でカリカリなので、なかなかターンが思い切れない。必然的にトラバースが多くなる。後でGPSを見たら、凄い「斜滑降」の連続だった。加えて、山行3日目で疲れもあった。無理は出来ない。滑落は出来ない。兎に角、安全第一で下る。冬のパウダーが嘘の様だった。春スキーの難し

さ、試練だった。

それでも何とか高度を下げ、標高1000m付近から雪が緩んで来た。最後はスギ林を通過し、目標の鉄橋にバッチリ出た。

R17のトンネルを潜らず、直接道路に上がった。丁度、バスが来たが行ってしまった。

最近バス停以外停車しないらしい。

5分、貝掛温泉バス停まで歩き、12時38分で二居に帰って来た。バスは、南越後バス。

時間は10分程。料金は200-+スキー代100-。若い綺麗な女性が乗っていたので声を掛けた。

駐車させて貰った「株式会社・文明屋」で昼食。今日は厳しいスキーだったが、3日間よく頑張った。

疲れもピークで体はガタガタ。しかし今回は、内容のある充実したスキーと試練のスキーだった。

また、頑張ろう。

P S 帰って改めて地図を見て、北沢が難しかったので、沢の南の尾根を滑った方が良かったか。

その辺の臨機応変・状況把握が、まだまだと反省しきりでした。





4月3日(火)晴・8度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月3日(火)06時06分34秒
まさかと

思っていたが、お山は既に春爛漫でした。
例年、ワラビは5月連休前後に収穫だった。

しかし、今年は早い。早すぎる。
大きく成長したワラビが沢山出ていた。

早い収穫は嬉しいことだが、本当は、やっぱり例年
通りがイイだろう。



4月2日(月)晴)・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年4月2日(月)06時21分16秒

3月25日(日)

森姫・森太郎に会いに行く

春スキー合宿2日目は、以前から上りたかった鍋倉山。
温井(ぬくい)除雪最終地には、既に10数台の車があった。
今日も天気は、無風快晴高温。今回は当てたようだ。
道路わきに駐車し出発。先着の方は、既に出発した。
雪が融ければ田んぼであろう所をガシガシ上ると林道に出る。

しばらく林道を上ると、右手に田茂木池が見えた。灌漑用の池だろう。
この先で林道が終わると、広大な雪原が始まる。開放感がある気持ちの良い
雪原だった。

先行者に目を凝らすと、左手の尾根の急壁に取り付いている者、
その向こうの尾根に取り付く者、
西の沢を忠実に詰める者と様々だった。
我々は記録にあった西の沢を詰める。目的があった。西の沢には、
鍋割山を象徴する森姫・森太郎
と呼ばれる、ブナの巨木があるからだ。

ここも昨日同様、北面である故、雪はカリカリで緊張の上りだった。
サイコーにイイ感じの西の沢を詰める。森太郎は分かったが、森姫は分から
なかった。
情報では、森姫は既に枯れが始まっているようだ。

黒倉山と鍋倉山のコルに出た。
鍋倉山はすぐ到着。先行者が5名。途中で先行していた年配の男女はいなか
った。
何処に行ってしまったのだろうか。

頂上は広く樹木は無かった。さて、滑降だが上って来た西の沢か東尾根かだ。
西の沢は下部がやや平凡。東尾根を滑る。

昨日同様、上部のブナは素晴らしかった。
天気は良く暖かく、春スキー三昧だった。
ルートは、下部はやや分かり難い。しかも、雪がグズグズになって来た。
暖かいを通り過ぎて暑いになって来たからだろう。
それでも好天で視界がイイから、今朝のルートを思い出し下る。

朝あった左手の小屋に出て、程なく上りの林道に合流した。
この辺りで積雪量は2mほどだろうか。

林道を快適に飛ばし、温井集落着。
今日も時間が早かったので、BS（ブルーシート）で昼食。焼きそば・ビア
が美味かった。
この日も、帰路、福寿草が素晴らしかった。





3月30日(金)晴・12度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月30日(金)06時32分8秒

3月24日(土)

サイコーのブナ林を堪能

すっかり春めいて、山岳スキーシーズンが始まった。

久しぶりに妙高にやって来た。ここは2000年、火打山から笹倉温泉をやって以来。

ゴンドラで第5クワッドリフトに上がる。

ただ、料金は片道1800ー。だが、何と1日券は2000ー。

それは無いだろ～！！200ー足して1日券を購入し、午後から滑る方に1000ーで売る手もあった。(ちなみに半日券はない)

第五クワッド終点は標高約1500m。滑降点の前山は1932m。

上りの標高差は少ない。初日の山としては丁度イイ。サイコーのブナ林を上る。

ただ、上部は急で雪がカチカチ。トラバース(横断)は緊張を強いられる。

それでも比較的短時間で前山着。

天気は無風快晴高温。しかも土曜日なのに誰も居ない静かな山。

目の前に妙高山が大きく聳えていた。程なく滑降開始。上部は尾根が狭く緊張。

下るに従いイイ感じになって来た。雪も悪くなかった。

余りの快適滑降に思わず「快哉を叫んで」しまった。

しかし、尾根は案外複雑だった。GPSがあるから、概ねの方向は判別できるが、

実際の地形は細かい谷があり、なかなか難しい。この日は好天だったが、ガスっていたら苦労しそうだ。

一度、左に下り過ぎて、スキーを背負い7～8分、ツボ足で上り返した。その後は順調で、標高1000mの前山沢（仮称）を無事渡った。

雪が繋がっていた良かった。

沢には上流から幾本かのシュプールがあった。恐らく標高1000m以前に下ってしまい沢を滑ったと思われる。

スキーで上り切り、無事ゲレンデ着。

ゲレンデはスピードが出て、ちょっと怖い。

まだ、昼過ぎだったので、ブルーシートを広げ、ラーメンで空腹を満たした。ビアも美味しい。

妙高は自動車専用道路で来ることが出来、距離の割に樽池などより時間が掛からない。

それに1日＝2000円は安い!!! 実際、3時発で来た静岡市の75歳の方と話をした。

案外、穴場かもしれません。

移動の際、飯山付近の福寿草は美しかったです。





3月29日(木)晴・12度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月29日(木)07時51分53秒

昨日は

3月度・富士山一周ウォーキングでした。
コースは、沼津魚市場～狩野川・橋巡り～香貫大橋～
柿田川湧水～御殿川～白滝公園～三嶋大社。天気は、
無風快晴。参加は14名。距離＝約18km。

昨日は結願・完歩で最終回ウォーキング。丁度、一年で
富士山を一周した。
魚市場から港大橋を経て、狩野川堤防を歩く。普段、歩かない

ところで新鮮な風景を見る。

香貫大橋で堤防は終了し柿田川を経て、湧水地に入る。
第二展望台で、ナショナル・トラストの下川原さんに説明を受けた。お礼に、10000-のカンパ。

周辺の残りを取得するのに、あと4億円必要とのことでした。
子どもの頃、この地でよく遊んだことを思い出した。
国道北を歩き、源兵衛川を遡る。今回は桜が見事でした。

白滝公園まで歩き三嶋大社の鳥居を潜る。一年間、無事故で
終わったことを感謝。皆さんも結願・完歩で笑顔が弾ける。
記念写真を撮って終了。

その後、「湯郷」で打ち上げ。ビアが美味しかったです。





3月27日(火)晴・12度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月27日(火)05時39分7秒

週末は、山岳スキー三昧でした。

24日(土)＝妙高山・前山東尾根・・・上りは少ないが。北面はカリカリで無風快晴

緊張。滑降は素晴らしいブナ林。
バッチリ、標高1000mでゲレンデに戻る。

25日(日)＝鍋倉山・・・最終集落から出発。林道を詰めて、ブナ巨木帯を上る。無風快晴

この中に森太郎と呼ばれるブナがある。黒倉山・鍋倉山
コルに上がり、鍋倉山着。スキーヤーが数名。東尾根を滑る。サイコーのブナ林が続く、下部はグズグズの雪。下部は林道を飛ばし、出発地着。

26日(月)＝上越・東谷山・・・二居(ふたい)集落から出発。峠から東に向かう。無風快晴

厳しい上りで途中、スキーを背負う。上部は素晴らしい斜面が広がる。平標から来た、労山の東京・雪稜会の方に会った。年齢は75歳。最敬礼でした。ハイカーが10名程上って来た。北面の沢を滑る。カリカリの雪でスキーにならない。春スキーの難しさ。試練だった。最下部はまあまあ良かった。バスで二居に戻った。

充実・試練のスキー三昧の3日間だった。しばらく、スキーはイイですね。



3月22日(木)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月22日(木)07時12分50秒
過日

石川県加賀市の「深田久弥・山の文化館」に寄った。
今まで深田は、福井県出身かと思っていた。

理由は、百名山の荒島岳が福井で、福井出身の深田が
選んだと思っていたからだ。

ところが全くの思い違いで、深田は石川県加賀市大聖寺出身
だった。文化館の近くに生家もあり、現在でも印刷業を営
んでいるそうだ。

文化館は町の絹工場跡家屋にあった。立派な門構えの家屋。
庭も大きい。多くの蔵書・様々な資料・遺品が並べられて
いた。ビデオで深田の生い立ち・功績が流されていた。

遠い所ですが、近くに行ったら寄って見たいところです。





3月20日(火)雨・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月20日(火)06時39分6秒

この冬は雨が少なかった。野菜に嬉しい
イイ雨です。

巡礼で伊豆長岡・長温寺に寄ったら、本堂入り口に
しめ縄があった。

このようなしめ縄は、それ程珍しいものではないが、
各寺でやっている訳でもない。

丁度住職が居て聞いたら、特に変わったことでもない

とのこと。各寺の判断ですといった。

習慣・慣習・伝統・因習・風習などは、結局、人間が作ったものだから、各様でも問題はないですね。



3月19日(月)雨・12度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月19日(月)08時06分31秒
土曜日は

清里・飯盛山でした。
飯盛山は、名の通り、飯を盛った様な山容。

高山ではないが、何処から見ても、特徴的な山です。

雪は南面はないが、北面にかなり残り、ガジガジの氷混じりで要注意。

八ヶ岳の展望台で素晴らしい景観が広がる。

何処かの大会パーティーが頂上下で宴会でした。

ハイキングにはいい山です。





3月17日(土)晴・8度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月17日(土)06時31分41秒

伊豆十三番札所

伊豆江間・北條寺でW住職の話聞いた。
住職は、現在76歳。耳がやや遠いが至って元気。

今回は仏像の話聞いた。
北條寺には、運慶作といわれる、阿弥陀如来像がある。
この像は、「玉眼」と呼ばれる、水晶の眼が入っている。

この「玉眼」入りの仏像は、東日本では多くなく、極めて貴重なものとのこと。寺には他に、北條政子が寄進したといわれる「繡帳(しゅうちょう)」がある。

<https://kotobank.jp/word/%E7%B9%8D%E5%B8%B3-527282>

寺には先日、JRのさわやかウオークで1000人訪れたという。
寺が賑やかなのはイイが1000人は、いささか驚き。
W住職には、ますます、元気にやって貰いたいですね。



3月16日(金)雨・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月16日(金)06時38分45秒
巡礼で

伊豆は春爛漫でした。

写真は、上=モクレン・・・韮山地先
中=ハナモモ・・・長源寺
下=ツクシ・・・狩野川堤防





3月15日(木)晴・10度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月15日(木)06時59分28秒

昨日は

3月度・伊豆八十八札所巡礼でした。

コースは、9番・澄楽寺(大仁)～10番・蔵春院～11番・長源寺～12番・長温寺～13番・北條寺～14番・慈光院～15番・高岩院。天気は無風・高温。参加は28名。距離＝約18.5km

前回最終の大仁・澄楽寺発。天気は良く高温。旧東洋醸造では、朝のラジオ体操をやっていた。田京駅から山に向かい、10番・蔵春院でお参り。

ここは立派なお寺。田舎道を進み、11番・長源寺着。参加者が野良人に野菜を貰った。

長源寺では、住職が寺の歴史を話してくれた。今まで知らなかった寺の「カラクリ」が分かった。住職父の、先代の住職は、「シヤレ」が利いた方だったようだ。住職に入って貰い記念撮影。

山を下り狩野川を渡り長岡温泉着。温泉街の長温寺でお勤め。ご婦人が、御詠歌

の練習をしていた。昼食時間だが頑張って、13番・北條寺着。昼食後、渡邊住職が

仏像の話をしてくれた。「玉眼」がポイントだった。話後、般若心経を一

緒に唱えた
て頂いた。やはり本物のお経は素晴らしい。

午後は高温で暑い中、葦山の14番・慈光院着。おババさまが対応。裏通
りを進み、
15番・高岩院着。住職は不在でお札をいただいた。山門に「山門不幸」
が掲げら
れていたが、これは普通、住職が亡くなると行うことだが、調べたら引退
した先代の
住職が亡くなられたそう。

今回は、ここで終了。暑く長い一日でした。帰路、「函南桜」（河津桜）
が、柿沢川
沿いに満開でした。





3月13日(火)晴・7度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月13日(火)06時31分2秒

昨日のつづき

薄日が射せば気温は上昇し、温かくなった。
それまで手の指は、冷え切ってギンギンに痛かった。

滑る木道を慎重に下り、石棚山稜に入った。
こちらの道は、つつじ新道に比べ、あまり荒れていなかった。
行程が長いので登山者が少ないからだ。

下り切ると、同角山稜でユーシン分岐。
数基のテーブル・ベンチがある。
ここから、標高1491m峰まで50mの上り返し。

上り切れば、下山する標高1450m峰。
ところが、ここにシカ柵が二重に張られ、乗越用の脚立が
無いので、乗越が大変だった。

しかも柵の先端が金網を切り放しになっていて、危険極まりない。
柵もそれ程頑強でなく、乗るとグラグラし、どうにもならない。
二回、何とか越えたが、スパッツの一部を破ってしまった。

登山者が自由に山を歩けないのは、何処かおかしい。
当局は、せめて脚立を置くべきだ。

丹沢・ブナ党のK氏にメールをしたが改善は無理とのこと。

つづく





3月12日(月)晴、暖・10度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月12日(月)10時50分5秒

昨日は

丹沢＝檜洞丸・小笄（ここうげ）南西尾根～檜洞丸～石棚山稜1450m峰北西尾根でした。累計標高差＝1100m、8Hの苦行でした。

ハッキリしない天気の中、自然教室7:20発。
つつじ新道の道を30分上り、南西尾根に取り付く。
最初から物凄い急登。

ただ、尾根は延々と見事なブナが続く。
登るに従い西風が強くなり、木々に「霧氷」が育って
いく。尾根は次第に厳しくなり、上部は切り立った岩場が続く。

この尾根は、下部はブナ天国、上部は地獄だった。
10:10、ようやく犬越路からの縦走路に飛び出る。
物凄い風が吹きまくり、木々の樹氷がバラバラと飛んで
来る。

11:10、頂上着。モーレツな寒さの中、簡単な昼食。
余りに寒いので早々と下山。途中から石棚山稜に入る。
天気は次第に好転し、薄日が差すようになった。
つづく

写真・中＝小笄南西尾根を俯瞰



3月10日(土)雨・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月10日(土)07時04分40秒
過日

能登半島・千里(ちり)浜で遊んだ。
ここの白浜は半端でない。

本当に千里あるかも。
圧巻は、「なぎさドライブウェイ」と呼ばれる、
浜道ががあり、大型観光バスが走っていた。

このような環境は世界的に見ても珍しいとのこと。
それにしても、凄い景観でした。





3月9日(金)雨・10度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月9日(金)06時37分53秒
過日

永平寺を訪ねました。
曹洞宗の大本山。
大きく立派な寺でした。

雪の永平寺は、なかなかでした。





3月6日(火)晴・10度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月6日(火)05時41分10秒
先週

土曜日は、八ツ・天狗岳(2646m)でした。
コースは、澁御殿から往復。天気は快晴・強風。
参加は3名。

澁御殿から出発。相変わらず、ここの駐車係の女将は
五月蠅い。雪はここの晴天続きで少ない。

グングン上る。黒百合ヒュッテに着くと、風が出てきた。

登山者は多い。森林限界から、完全装備で行く。
西天狗岳には3Hで着いた。

すぐ下山し、黒百合ヒュッテで昼食。青空が眩しい。
ここでアイゼンは脱いだ。スイスイ下る。
西尾根をやった方に会った。唐沢鉱泉まで車は入った
そうだ。我々もやりたかった。残念。

途中で懐かしいババ様に会った。私と同年の
この方のパワーには脱帽。ただ、歩は超鈍行。

下山し明治湯に入った。鉄分の湯でなかなか良かった。
料金は1000ー。ただ、支配人は不愛想。
今回は風は冷たかったが、春を感じさせるイイ山でした。





3月5日(月)雨・8度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月5日(月)05時34分14秒

昨日は

藤枝市・サン・ライフ藤枝で10:00~16:00
まで県連総会でした。

昨年の総括、来期の方針が検討・確認がされました。
高齢化等の会員減・活動不活発化、など改善急務です。





3月2日(金)晴・8度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月2日(金)06時43分18秒

富士山

ウォーキングで沼津・沼川を歩いた。
この川は、R1バイパス沿いに流れている。
平野部の川で、傾斜が少なく、流れはよどみ
綺麗と言い難い。

それでも野鳥が多く、エサは豊富なのだろうか。
堤防には、ソメイヨシノが延々と植えられているが、
中に何本か、カワヅザクラ風のものがあり、今、

見ごろだった。

サクラはイイですね。チョットですが、春を感じました。



3月1日(木)晴・8度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年3月1日(木)09時08分41秒

久しぶりの雨。イイ、雨でした。
樹木も野菜も生き返りました。

昨日は、3月度富士山一周ウォーキングでした。
コースは、富士マリンプール～駿河湾堤防～松陰寺～沼川・河津桜
～千本公園～牛伏山海岸～御用邸記念公園。天気は無風・快晴・高温。
参加は14名。距離約20km。

前回最終の富士マリンプールから出発。天気はイイ。
ベタ凧の駿河湾を見て堤防を歩く。
散歩する方が多い。後ろ向きで延々と歩く方がいた。

2時間後、松陰寺着。ここで記念撮影。
沼川に向かいR1に沿って堤防に行く。
綺麗な川でないが、野鳥は多い。

途中から再び駿河湾堤防に乗って千本公園着。
計画では、途中で魚市場に向かい、昼食予定だったが、
頑張っって歩く。魚市場着は、11時31分だった。
ここで昼食。

前はウナギを食べたが、今回は、「磯はる食堂」で
イワシ刺身定食(1100円)をいただいた。美味しかった。
ほか、友人が頼んだ、マグロのハラミも逸品でした。

午後は我入道の魚屋で干物を購入。期待の「花月」ケセットは
予約注文多数で全て販売済みで入手出来なかった。残念。
八幡神社に上り、牛伏山海岸を歩いた。

ここは潮が上がると歩けない特別コース。去年は駄目だったが、
今年はギリギリ、セーフだった。皆さん、怖いような楽しいような
ワクワク・ドキドキだったが、無事渡ることが出来た。

御用邸記念公園に着いて終了。今回は長いウォーキングでしたが、
皆様よく頑張っって歩きました。



2月28日(水)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月28日(水)04時56分42秒

旧聞で

恐縮ですが、先日の伊豆巡礼で益山寺を巡った。
その日は、珍しく住職がいた。

ここは外にトイレがない。
女性参加者が多く、中を使わせて貰う。

・・・すみません、お手洗いを貸せていただけますか・・・
「お手洗い」って何に。手を洗うなら、そこに水道がある」
・・・???!!!・・・
・・・お手洗いって、トイレです・・・
「トイレは有料」
・・・えええ～、寺のトイレが有料なんてはじめてだ～!!!・・・
「どう、何か」
・・・分かりました。使わせて下さい・・・

が、概ねのやり取り。
確かに益山寺は山中で、水をポンプアップしているらしく、
汲み取りなら大変かも。

だが、約25名ご朱印をやっている。7500ーのお金は落ちる。
それでも、有料だろうか??!!

次の大仁の同じ真言宗の寺でその話をしたら、
「×○▼△□→●××△!!」だった。

現在、某団体が随分伊豆巡礼を宣伝しているが、今後は
憂慮しますね。



2月27日(火)晴・8度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月27日(火)06時37分40秒

先週

22日は、乗鞍高原・一ノ瀬公園でした。
天気は、快晴無風。参加は7名。

この時期としては、朝から奇跡的な無風・快晴。
宿はゲレンデが目の前で、早朝、すでに滑降していた。
国民宿舎から出発。

トレースはあった。雪は約1m。トレースを外すと
ズッポリ潜ってしまう。
美しい自然林と雪景色を楽しんで「雪山徘徊」。

平日だが何人か歩いていた。最低部のあざみ池まで
下って上り返す。国民宿舎まで標高差約150m。

この時期、雪山ウオーキングは楽しいものです。





2月26日(月)曇・5度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月26日(月)06時42分39秒
先週

土曜日は、フジテンでゲレンデ・スキーでした。
久しぶりのゲレンデ・スキーでしたが、それなりに
楽しめました。

土曜日でチビッ子が多く、ゲレンデは賑やかでした。
一日は飽きるので半日で終わりでしたが、山岳スキーに
向けて、イイ調整が出来たと思います。

待望の山岳スキーは、3月から本格的になります。





2月21日(水)曇・3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月21日(水)05時49分42秒

先日

伊豆巡礼時、伊豆の国市・掘切で「シイタケ菌・打ち込み作業」を見た。

相当、大掛かりの作業の感じ。

総勢男子大人5～6名。

全山、クヌギ林でクヌギを定寸に切断し、菌を打ち込む。

伊豆のこの辺りは、シイタケの大産地。

収穫は、早くて秋～翌年春とのこと。
クヌギ林は全山買い取るそうだ。
また、クヌギは株をのこして置けば、何回も芽吹き
成長も早く、10山位を回すそうです。

生ドンコ・シイタケ（ドンコは、実際は乾燥させたものらしい）
サイコーの味。業者には頑張って貰いたいですね。





2月20日(火)晴・5度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月20日(火)06時17分55秒
先週

土・日曜日は、府中コンチネンタルホテルで労山
全国連盟総会がありました。静岡から3名の出席。

府中は電車より車が便利で、約1Hで到着しました。
土曜日は、午後から19:30まで報告・提案・討議。
夕食は飲み会を兼ねて、全国の仲間と交流。

日曜は8:30開始。予算・人事など決めて12:30
終了。長い2日間でしたが、会員減など大きな課題を
再認識しました。





2月19日(月)晴・5度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月19日(月)07時09分43秒
先週

金曜日は、富士山宝永山・2352mでした。
天気は、珍しく無風・晴。

重い腐れ雪で、ラッセルに汗を掻きました。
雪山訓練としては、イイ山でした。



2月15日(木)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月15日(木)06時57分0秒

昨日は

2月度・伊豆巡礼でした。

コースは、大仁橋～8番・益山寺（ましやまてら）～7番・泉龍寺～6番・金剛寺～9番・澄楽寺（ちょうらくじ）。天気は午前・無風快晴、午後・強風。参加は24名。

前回最終の大仁橋から出発。天気は良く風はない。狩野川堤防を狩野川公園まで歩く。城山が美しい。益山寺に向かう。寺入り口で散歩中の地元のパバさまと歓談。駐車場から急坂を上り寺着。この日は珍しく住職がいた。

ちょっと問題があったが無事下山。熊坂の泉龍寺に進む。11時半近かったなので、お勤め後、ここで昼食。住職は温かい方だ。昼食後、一緒に写真に収まった。

午後は狩野川に下り、城山下を歩き神島橋から大仁の9番・澄楽寺着。住職に真言宗のお勤めのノウハウを教授していただく。今回はここで終了。距離は約20km。皆さん、よく歩きました。





2月13日(火)晴・0度

[返信・引用](#)

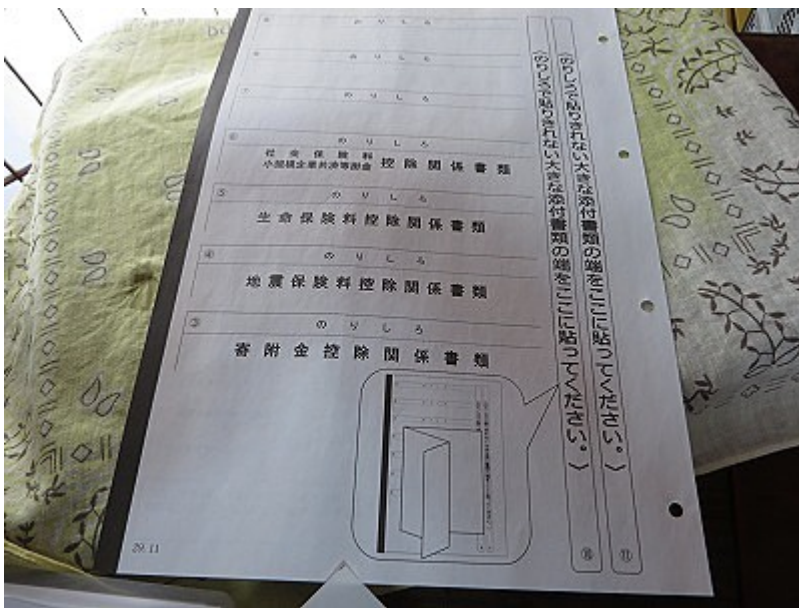
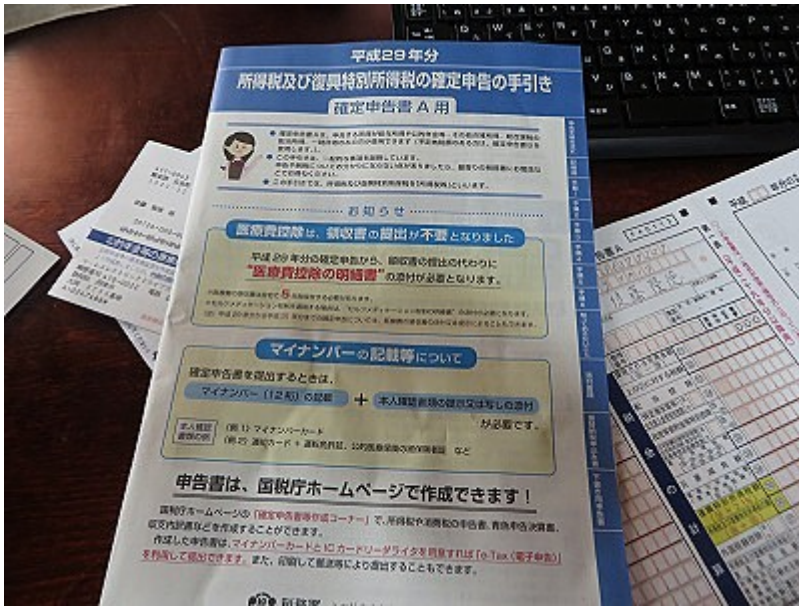
投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月13日(火)09時28分9秒

今日は

確定申告書を作ります。

ま、

ちょっと面倒ですが、少し返って来ますので、
頑張りましょう。



2月12日(月)曇・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月11日(日)06時58分12秒

先週

金曜日は、富士山山スキーでした。
洞門から出発。雪はマズマズ。平日だが、駐車場は満杯。
藤沢の若者が一名やって来た。

ニッ塚上塚コルに上り、幕岩に向けて一本。
モナカに苦戦。雪が柔らかくエッジを立てると
砂を噛んだ。それでも楽しい。

コルに上り返して再び滑降。
こちらモナカで苦戦だが、部分的にイイ雪はあった。

二合目駐車場までマアマアの滑りだった。
今まではここから林間を滑ったが、今回は発想の転換で
洞門まで車道を滑った。

これは見事に当たった。面倒な樹木はなく快適に滑降。
今後はこのコースを採用したいと思いました。





2月8日(木)晴・1度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月8日(木)06時21分28秒

越前岳

頂上の拙会ブナ植樹場は、雪の中でヒっそリ、春を待っていました。

特に変わった様子はなかったです。
雪の重みでロープが少したるんでいたかな。

しかし、ここの浸食は著しい。
三角点柱が半分露出している。

そのうち倒れるのでは。

今年の冬は厳しい。
早く春が来ると嬉しいですね。



2月7日(水)晴・ー2度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月7日(水)06時27分37秒

先週

土曜日は、富士山を下山し越前岳に向かった。
当日の富士山は「笠雲」だった。

笠雲は結構種類が多い。吊し雲もある。これは少し離れたところに出る雲の様だ。

翌日の雨の確率は平均70%程度。翌日、雨でなかった。

今回の雲は、リング状で強いていえば「指輪雲」でしょうか。
火星の輪みたいな、ドーナツ状の雲が八合目辺りに巻き付いていた。

資料を見たら、このような形の記述はなく、かなり珍しいようだ。イイものを見せて貰いました。

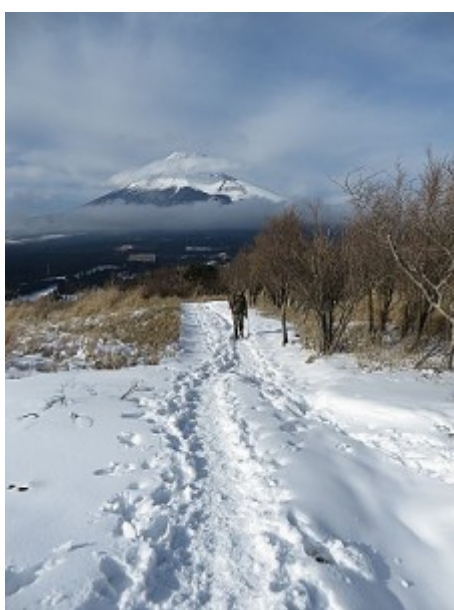
http://info-graphic.me/wp-content/uploads/2014/09/fuji_kumo1.jpg

<https://search.yahoo.co.jp/image/search?rkf=2&ei=UTF-8&gdr=1&p=%E5%AF%8C%E5%A3%AB%E5%B1%B1%E3%81%AE%E7%AC%A0%E9%9B%B2%E3%81%AE%E7%A8%AE%E9%A1%9E#mode%3Ddetail%26index%3D6%26st%3D187>

<https://search.yahoo.co.jp/image/search?rkf=2&ei=UTF-8&gdr=1&p=%E5%AF%8C%E5%A3%AB%E5%B1%B1%E3%81%AE%E7%AC%A0%E9%9B%B2%E3%81%AE%E7%A8%AE%E9%A1%9E#mode%3Ddetail%26index%3D6%26st%3D187>

笠雲の種類（ネット情報）





2月6日(火)晴・-3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月6日(火)06時41分5秒

昨年末

何年かぶりにスキーを新調した。

この場合のスキーは、山スキー（山岳スキー）をいう。

ゲレンデスキー道具と山スキー道具の大きな違いはビンディング。

ゲレンデの場合は、上りはリフトだから、自身で上る必要はない。

山スキーは、自身の足で上る。その場合、板に滑り止めのシールを張る。

ビンディングは、踵が上がる機構になっている。それで板を引っ張る様な

感じで上っていく。上り終えて、滑るときは踵を固定し、シールを外して滑降する。

スキーを新調する理由は、経年するとビンディングが軽くて扱いやすいものになる。厳しい自然の中のスキーは、簡単・軽量が命。古い装備は事故やトラブルの元凶になりかねない。

勿論、新調には投資が必要。出費は痛いですが装備を惜しんでいたら、イイ山は出来ませんね。





2月5日(月)晴・3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月5日(月)08時38分17秒

土曜日は

富士山でスキーでした。
今年は雪が多く、楽しめそうです。

ただ、道路除雪で駐車場入り口が塞がれ、上る前にまず
駐車場入り口を除雪します。

この仕事が小1時間掛かる。
今回は軟雪で問題なかったが、カチカチになると
金属スコップでも歯が立たない。

スキーは、上ってしばらくするとガスが湧き
ホワイトアウト。

這う這うの体で下って来ました。
また、行きます。



2月2日(金)曇・3度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月2日(金)06時35分38秒

日本は

火山列島かつ海洋国。

地震・噴火・津波・台風・大雪・雪崩等々、自然災害は甚大。
我々登山家は、自然の中の活動が多い故、自然災害に遭う機会
は多い。

先日も阿弥陀岳に上った日、白馬・小蓮華岳で雪崩事故が
あり1名の方が亡くなった。

雪山の脅威は雪崩。雪崩は勿論、自然発生が多いが、人間
の外的ストレスでの発生は無視できない。

従って雪崩は、そこに立ち入らなければ回避出来るが、
先日の本白根山噴火など、予知が難しいだけに回避は
難しい。

昨年秋、焼岳に上ったが、頂上でノンビリ長々食事を
している人が多く驚いた。少しでもリスクを回避する
なら、休憩は下部にして、速やかに下山が望ましい。

その時は、3～4日後、山腹から火山性の蒸気が発生
した報道があり、その後何もなかったが驚いた。
自然災害から如何に身を守るか、大きな課題です。





2月1日(木)晴・-3度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年2月1日(木)06時31分15秒

2月か～。早いね～。今朝も寒いです。

先日、富士山ウオーキングで、富士市・潤井川堤防を歩いた。この潤井川、富士山ウオーキングでは、富士宮・富士養鱒所から付き合っている。

潤井川の源流は、富士山大沢崩れ。ただ、それだけでは水が枯れるので、富士養鱒所を源流とする、芝川から横手沢地区で取水をしている。

湧水で豊富な水量を集めている。従って、川面には沢山の野鳥が群れている。昨年はカワセミを観察したが、今回は見られなかったのは残念。

身近に川の流れがあるとイイですね。



1月31日(水)晴—3度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月31日(水)06時51分35秒

巢雲山

で、何処かのおじさんが、スケッチをしていました。
最近はあまり見ない光景です。
落ち着いた感じの初老の方でした。

あまり覗くのは失礼でしたので、遠目でチラリでしたが、
富士山を描いていました。

邪魔は拙いので、写真だけ撮らせて貰った。
この方そのものが、なかなか絵になるシーン。

その後、昼食でワイワイしていたら、いつの間にか
いなくなっていました。どんな方だったか、話を
したかったですね。一度、作品を見たいものですね。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

1月30日(火)晴・3度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月30日(火)06時11分51秒

巢雲山

から下山し、宇佐美駅で河津のTさんと分かれ、温泉を探した。

当初、伊東マリンパークを予定だったが、駅前に温泉民宿「鈴幸」があった。

普通、このような宿は湯船が小さく、男女別でない場合が多い。風呂が二つないと人数が多い場合、時間が掛かる。

女将に聞けば、風呂は二つあり、3名は入れるという。それでは問題ない。しかも、料金は500円で休憩場もありという。それではということはない。

入った温泉は熱からず温からずで丁度良かった。サラサラ系で気持ち良い。ユックリ温まった。やっぱり冬は温泉がサイコー。

主人が自身の山から、ダイダイを収穫して軽トラで帰って来た。ダイダイはあまり食べたことがないが、美味しいらしい。やや小粒だが500円という。

皆さん購入。中には10個買った方も。ミカンが大好き
といった。雪山もイイが伊豆の里山も楽しいですね。



1月29日(月)晴・3度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月29日(月)06時33分9秒

先週

土曜日は、雪見ハイキングで宇佐美・巢雲山でした。
コースは、宇佐美海水浴場～宇佐美駅～阿原田～林道～どっこい処～大丸山下～峠～巢雲山～生仏の墓～別荘地～宇佐美駅～海水浴場。
天気は無風快晴。参加は9名。

宇佐美海水浴場から出発。阿原田から上りが始まる。ミカン畑の中
を行く。ミカンを少し頂く。昔なかったと思う新しい林道を上る。
終点に「どっこい処」休憩場があった。

小休憩。見晴らしが良い。三浦半島・大島が見えた。周りは植林
があった。小さくて樹種は不明。モミジの様な感じだったが・・・。
わざわざこんな高所に植林をする理由は分からない。

先日の雪が多かった。ただ、気温が低く硬いので問題はない。
大丸山に行かず峠に向かう。やっぱり以前の道と違うようだ。
峠から巢雲山まで結構長い。反対コースを若い男性が上って
来た。

頂上は素晴らしい。一面の雪でいつもの感じと違う。富士山が
大きい。何処かの方がスケッチをしていた。なかなか絵になる。
巨大な展望台脇で昼食。ショウガ入りのトン汁が美味しかった。

下山は生仏の墓経由で下る。こちらは急な所がなく楽だった。
やがて林道に出て、別荘地を通過する。かなりの山中で大変
そう。下りきって、花岳院という曹洞宗の寺に寄った。

今回は楽しい雪見ハイキングでした。ゲストの方もよく
歩きました。



1月26日(金)晴・-4度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月26日(金)05時49分21秒

富士山

ウォーキングで、岩本山に上ったら
ロウバイが見事だった。

何処かのオジサンが、ロウバイと富士山をセットで
写真を撮っていた。

岩本山は同時に梅が有名だが、こちらは1~2株
チラホラ咲いていました。

岩本山は、いい所ですね。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月25日(水)晴・-5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月25日(木)10時49分20秒

今朝は、メダカ水槽が凍っていました。

昨日は、1月度・富士山一周ウォーキングでした。
コースは、岩本山公園～実相寺～潤井川～富士中央公園
(昼食)～田子の浦港～富士塚～駿河湾堤防～毘沙門天
～富士マリンプール。天気は、強風・快晴。参加は15名。

前回最終の岩本山公園発。ここは風が無かった。実相寺の鐘を皆で突く。下れば実相寺。潤井川に向かう。堤防は風がモーレツに強い。

堤防を進む。風は強いが清冽な水面が気持ちよい。野鳥が数多く遊んでいた。去年は、カワセミを見たが、今回はいなかった。過度に護岸をすると営巣出来ず、数は減ってしまう。

富士山は、雪煙はポンポン上げていた。富士中央公園で昼食予定だったが、寒くて野外は無理。バスで7イレブンに移動し駐車場でいただいた。

午後は、再び潤井川を下り田子の浦港着。以前、あった港からの紙原料運搬のコンベアは見当たらなかった。原料はあるから、今の運搬方法は??仲間が風で飛ばされた、チップのカスが鬱陶しいと

言っていた。私は今回、強風に備え、山用のゴーグルを持参したので全く問題なかった。（笑い）

富士塚を見学して、駿河湾堤防を進み、毘沙門天に着いた。記念写真を撮った。祭りは月末のようだ。本堂で護摩焚きをやっていた。富士マリンプールまで下校の小学生に案内して貰い終了。強風でしたが充実したウオークでした。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月23日(火)晴・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月23日(火)05時05分58秒

先週末は

八ヶ岳・赤岳山荘～赤岳鉱泉（箱）～行者小屋～文三郎道
～赤岳～中岳～阿弥陀岳～御小屋尾根～最低コル～赤岳山荘
でした。

冬の赤岳は毎年、誕生月の2月に上っている。今年は約1ヶ月早かった。また、今までは日帰りが多かったが、今回から前泊に変更した。理由は大台を越え、早朝発は寝不足があり厳しくなったからだ。

ユックリ出かけて、午前中は富士見スキー場で今季初スキーを楽しんだ。昨年新調した板も試した。昼食後、赤岳山荘から出発。天気は良く高温で暖かい。平日だが登山者は少ない。

先日の雨で氷がガジガジの北沢を上る。余りに厳しいので途中で無理せずアイゼンを履いた。帰りに転倒者がいて顔が血だらけだった。氷道は油断すると非常に危険。

つづく



1月18日(木)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月18日(木)06時16分7秒

先日

巡礼時、中伊豆・姫之湯地先で「どんど焼き」
(どんどん焼き)のやぐらを見ました。

「どんど焼きは14日」という歌があるように
昔は小正月前後に燃やしたようである。

今年は14日が日曜日だったから、丁度、良かった
だろう。

各集落でやぐらを作った。子供たちは、他の集落の
人間に、やぐらを荒らされないように、やぐらに寝泊まりした。
その中で、モチを焼いたりして楽しんだ。

今、街では殆ど見られなくなった光景だが、田舎は、まだまだ
続いているようだ。まだ、子供たちは寝泊まりしているのでしょうか??





1月17日(水)雨・10度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月17日(水)06時06分46秒

牛ヶ峰で

久しぶりに「シモバシラ」を見た。

シモバシラ（霜柱、学名：*Keiskea japonica*）はシソ科の多年草であり、枯れた茎に霜柱が出来ることで知られる。属名は植物学者の伊藤圭介にちなむ。

宿根性の多年草である。茎は断面が四角形をしており、やや木質化する。高さ40-70cmほど、先端に向けてやや水平向きに曲がる。葉は茎の節ごと

に

対生に出て、長さ 8-20cm の楕円形、薄くて柔らかくてつやがなく、縁に軽い鋸歯がある。

花は 9-10 月頃に咲く。茎の先端側半分くらいの葉腋から総状花序を出す。花序の軸は真上に伸び、花はその軸に茎の先端側に偏ってつく。従って、水平になった茎から花序だけが立ち上がったおもしろい姿となる。花はほぼ真横を向いて咲く。花冠は白く、釣り鐘状で、雄蕊はそこから突き出す。

シモバシラが生えていたところには、冬になると氷柱ができる。シモバシラの茎は冬になると枯れてしまうが、根はその後長い間活動を続けるため、枯れた茎の道管に水が吸い上げられ続ける。そして、外気温が氷点下になると、道管内の水が凍って、茎から氷柱ができる。この現象は、地中の根が凍るまで続く。・・・ネットから

なかなか、ユニークな植物ですね。



1 月 16 日(火)晴・4 度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018 年 1 月 16 日(火)06 時 28 分 47 秒

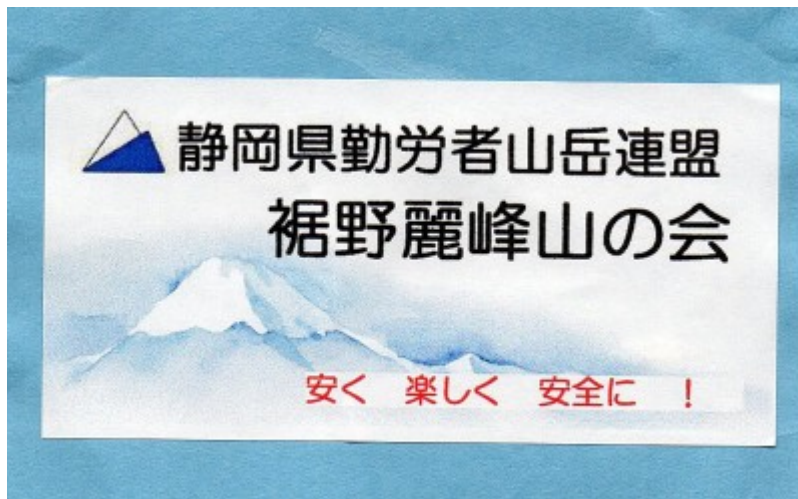
今期

県連で組織部長を担当している。
山に行って沢山の方に会うが、何処の誰だか
分からない。

それを解消するのと労山の知名度を上げる
意味で、会のNP（ネームプレート）を私の
提案で作った。

去年は日向山で埼玉の労山の方に声を掛けられた。
早くも効果があった訳だが、各会が工夫を凝らして
様々でユニークなNPは、見るだけでも楽しいですね。





1月15日(月)晴・5度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月15日(月)06時42分40秒

昨日は

県連交流ハイクで、静岡の牛ヶ峰（高山・717m）でした。コースは、谷沢～牛ヶ峰～八十岡。天気は、無風・快晴。参加は、東部＝73、中部＝47、西部＝12。合計＝132でした。

東部は大型バスで参加。乗り切れない会員24名は、マイカーで参加。新静岡ICで降りて谷沢に向かう。ICから結構長い。

谷沢バス停から出発。林道を進み山道に入る。頂上まで寒く暗い人工林が続く。ゆっくり上って約2Hで頂上。

頂上は素晴らしかった。広大な頂上の展望は、恐らく他に例を見ないくらいの展望だった。加えて、無風快晴。

50分、ゆっくり昼食後交流会。理事長挨拶、各会の紹介、山の歌を唄って新年を祝い、会員拡大・安全登山・自然保護を誓いました。



1月13日(土)晴・-1度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月13日(土)06時10分56秒

巡礼

途中、姫之湯近くで、ヤギ飼育場を見ました。
昔は、あちこちで見たが、
最近では、ヤギは珍しくなった。

どのような目的で飼育しているかは不明ですが、
案外、人懐っこく、近寄るとヤギもゾロゾロやって
きました。

子供ヤギも多く、長く飼っていることが伺えました。
可愛いものですね。





[返信・引用](#)

[編集済](#)

1月12日(金)晴--2度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月12日(金)06時20分34秒

今朝、初氷でした。

修善寺・牧之郷

五番札所・玉洞院で吉岡住職の話聞いた。
話は、法遠不去（ほうおんさらず）だった。

この一語は、浮山法遠という禅師の逸話として伝えられているものだ。

法遠は、厳令枯淡な人物として知られていた葉県禅師の弟子なのだが、弟子になるまでの修行は、それはそれは人情のかけらもないほど容赦ない仕打ちの連続だったという。

僧侶が寺の玄関先で入門を請うことはよくあることで、一度や二度、追い払われたくらいですごすご帰っていくようでは話にならない。

法遠は、雨の日も風の日も通り詰めた挙げ句、現れた葉県和尚に頭から水をかけられるのだが、他の僧侶たちのように逃げ去ることなく踏みとどまって入門を許される。

しかし、料理係りを務めていたとき、和尚の不在中、飢えに苦しむ仲間のために馳走をつくったことが和尚に知れ、代金の請求と30回の棒打ち、さらには寺から追い出されてしまう。

代金を稼ごうと法遠は町で托鉢をするのだが、せめて近くにと居住していた
寺の敷地内での家賃も求められ、それでもめげずにひたすら托鉢をするのだ。

風雨に耐えながら立ち続ける法遠を目にした葉県禅師は、法遠こそ真の参禅者
だと言って自らの後継者にしたという話。
あきらめることなく、やめることなく、去ることをしない。
それが「法遠去らず」。

何かを成すこと、道を極めることは言うに及ばず、生きるとは
「法遠去らず」に他ならない。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月11日(木)晴・3度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月11日(木)06時51分10秒

昨日は

2018年・伊豆初巡礼でした。
コースは、中伊豆・ワサビ所「たか惣」～貴僧坊～タマゴ店
「あいらんど」～三番・最勝院～四番・城富院（昼食）～五番・
玉洞院～大仁橋。天気は強風・快晴。参加は28名。約20km。

12月最終から出発。穏やかな下りでラクチン。途中、ワサビ
収穫の農家の方に、一株頂いた。春から縁起がイイ。

三番札所・最勝院で初お勤め。凜とした冷気の中、気持ち
が良い。強風の中、四番・城富院に向かう。お勤め後、昼食。
ここでの昼食は初めてだが、ミカンのお接待やらで、厚遇
でした。

午後は約8km歩き、五番札所・玉洞院着。住職に話を
いただいた。「法遠不去」（ほうおんさらず）のお話だった。
狩野川堤防を歩く。丁度、午後の陽光で美しい景観だった。

大仁橋まで歩き終了。初巡礼は充実したものでした。



1月10日(水)晴・5度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月10日(水)05時34分37秒

今日は

2018年・初巡礼です。

ワサビ所・たか惣～3番・最勝院～4番・城富院～5番・玉洞院です。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月9日(火)雨・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月9日(火)05時59分53秒

今回の

横岳登山の体調は、かつてないほど絶好調だった。
理由は、ハッキリしていた。
人間の体は、条件で相当の差が出ると感じた。

我々が登山口を出たのは、8:35。
2時間後、森林限界で、7:30に出た若い衆、2名
に追いつき抜かした。

稜線の三叉峰まで約3時間。頂上まで3時間18分。
標高差=1142mを考えれば、いいペースだった。
歴代の記録で、サイコーのタイムだった。

下山し三叉峰で森林限界で抜かした1名に会った。
やっと上って来たが、頂上まで行くか行かないか迷っていた。
この下で、もう1名の若い衆も抜かした。

三叉峰まで上ったが、頂上は諦めたと言った。相当、悔しがっていた。
仮に我々のペースで歩けたら、連れていくことは可能だが、インスタント・
パーティーほど怖いものはない。同情はするが、同行は出来ない。

森林限界まで下って、テント跡地で下山の2名の男女に会った。

この方々も7：30に出たと言った。軽く食べて再下山。
30分後、この2名を抜いた。

頂上から2時間で駐車場着。結局、この日の日帰りトップ
で下山した。ただ、6：30に出た群馬の方は抜けなかった。
ま、2時間の差は、やや厳しい。

私は来年が6回目の年男。工夫と研鑽、精進を重ね更に
「美しい登山」を続けたいものですね。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月8日(月)雨・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月8日(月)06時32分48秒

昨日は

八ヶ岳横岳・杣添尾根でした。
天気は強風・快晴。参加は2名。

1968年、初めて冬の甲斐駒に上った。
今年は、その冬山登山から丁度、50年目。
今回の登山が50年記念最初の冬山。

8時35発。
天気は良かったが風が強かった。
ゴーゴーと梢が唸っていた。
下部樹林帯は例年より雪が多かった。
従って上りやすい。

森林限界まで約2時間。
絶好調で快適に飛ばす。
上部の雪は少なかった。
下部が多く、上部が少ないのは、今季、風が
強かったのだろう。

三叉峰をパスし、横岳頂上着11時53分。
結局、トータルで3時間18分。今までで最短時間だった。

50周年をいい形で上げて良かったです。



1月5日(金)曇・5度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月5日(金)07時20分27秒
つづき

冬の仙塩尾根記録を山レコなど、ネット検索したが、

やはりなかった。もっとも、全ての方が記録をネットする訳ではないので、皆無とは断言できない。

ただ、少ないことは確かだろう。この尾根は突っ込んだら退却が難しい。エスケープルートも少ない。入山には、相当の確信と覚悟がなければ、安易には出来ない。

尾根のポイントは、三峰岳（みつみねだけ。みぶだけは誤りと言われる）の上り。我々も雪崩に恐怖し、ザイルを使った。しかし、既に42年前の出来事。印象的なことは、断片的に記憶があるが、詳細は殆ど覚えていない。

ただ、今でもハッキリ覚えているのは、熊ノ平から塩見に向かう途中、富士山の右手に駿河湾を望み、朝の逆光に淡島が見えた・・・。

記憶違いかと思って地図を確認したが、確かに位置・方向・高度的に見えると思った。この山行は、その後、私がM労山に入会するキッカケになっただけに、忘れられないものになっています。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月4日(木)晴・5度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2018年1月4日(木)06時44分2秒
しかし、寒いですね～。

つづき

北沢峠は、数々の思い出がある。
冬、最初に訪れたのは、前述の1968年年末。
(1969年は間違いだった)

1970年年末も訪れていた。
この時は、単独で仙丈岳に上った。

1975年年末にも訪れていた。

この時は、4名で仙丈岳に上って、私と相棒は、最終的には、いわゆる、仙塩尾根と呼ばれる尾根を塩見岳まで縦走した。

1日目＝戸台～北沢峠

2日目＝北沢峠～仙丈岳～高望池付近

3日目＝高望池～野呂川越～三峰岳～熊ノ平小屋付近

4日目＝熊ノ平～塩見岳～本谷山付近

5日目＝本谷山～三伏峠～鹿塩集落

この記録は、今でもあまり行われていないものですね。





[返信・引用](#)
[編集済](#)

1月3日(水)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月3日(水)07時07分35秒

つづき

戸台川河原を歩く。八丁坂取り付きまで、約3H掛かる。昨年は雨が多く、渡渉があった。我々は靴を脱がず何とか渡ったが、他パーティーの中には素足で渡った方がいた。

この時期、素足は辛いものがある。今回も、帰りに行き詰まった方が、強引に突破し、膝まで入っていた。昔は雪が多く、そんなことは考えられなかったが・・・。

戸台川を初めて歩いたのは1969年。角兵衛沢から甲斐駒の2年後だった。その時は、甲斐駒・摩利支天峰、水晶沢、仙丈岳（当時は、「ヶ」が入っていなかった）、甲斐駒に上った。

初めての冬山が岩壁登攀だった。当時は、カラビナが鉄製、ヤッケ・テント・オーバーシューズ（この装備は現在、ヒマラヤなどでは使用するが、国内では全く見なくなった）は、ビニロンで兎に角、装備が重かった。

記録を見たら、ザック重量は36kgだった。それで八丁坂を上りバテバテで北沢峠着は、既に夕方だった。

つづく



1月2日(火)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年1月2日(火)06時48分31秒

年末は、27日～30日、戸台～北沢峠～
駒津峰(2752m)でした。参加は3名。

1967年11月、戸台～角兵衛沢～鋸岳～甲斐駒
～黒戸尾根をやった。私は20歳だった。

昨年11月は、その甲斐駒登頂から丁度50年。
今回の山は、「甲斐駒ヶ岳登頂50周年記念」
だった。

12月25日、小屋から電話。戸台手前が道路工事で
8:30～12:00まで通行止めとのこと。
今まで長泉を4:00発で戸台は9:00だった。

9:00では、間に合わなく、4:00前の出発は厳しいので、
結局、前日発となった。翌日、戸台まで行くので、車の回送
を会員のMさんに頼んだ。

27日は、竹宇・駒神社駐車場でテント泊。5:00戸台に
向かった。戸台駐車場は、まだ車は数台だった。下界の天気は
快晴だが、上界はガスリ強風だった。

つづく





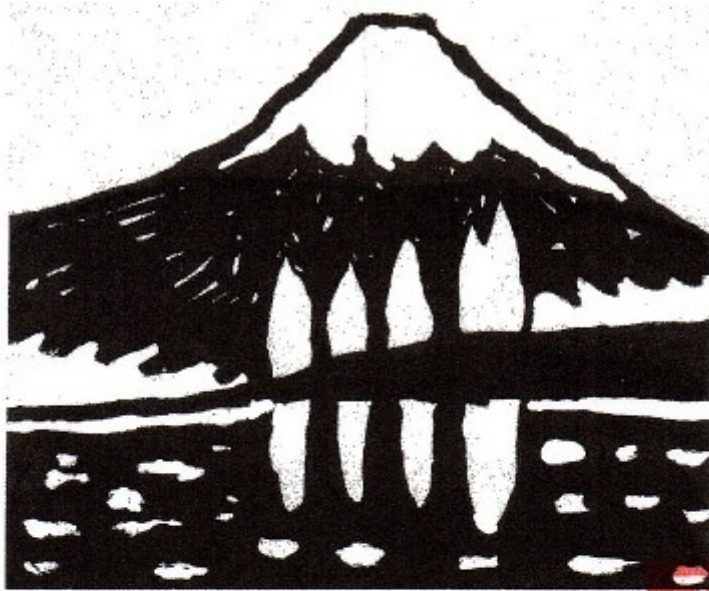
01月01日(月)晴・10度

[返信・引用](#)
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2018年 1月 1日(月)06時32分16秒
2018年 元旦

あけまして おめでとう ございます。
本年も よろしく お願い致します。

ごとう



田貫湖から富士山（3776m）



あけまして おめでとう ございます

昨年の登山は49回。27年振りに北海道に行き、4峰上りました。また、熊野古道の小辺路・中辺路を歩きました。伊豆巡礼は11年目に入りました。秋は秩父札所を巡りました。ほか、富士山一周ウォーキングは、4周目です。本年も宜しく願い致します。

2018・元旦

〒411-0943 長泉町下土狩 1541-12 後藤隆徳・あい子